

平成24年度 消防年報



四日市市消防本部

はじめに

この年報は、四日市市及び受託する三重郡朝日町、川越町にかかるとる主な消防業務を平成 24 年中又は平成 24 年度を中心て収録し、将来の参考に資すると共に、広く消防事象を紹介するためにとりまとめたものです。

住民のみなさん及び関係者の方に広く活用され、本市消防行政に対する認識を一層深めていただければ幸いと存じます。

平成 2 5 年 6 月

四日市市消防本部

目 次

四日市市の位置	1
四日市市の沿革・消防概要	2
四日市市の地勢	3
四日市市消防の沿革	4~7
歴代消防長	7
四日市市消防機構図	8
総 務	
一 目 統 計（総務）	9
平成24年度・25年度消防費歳出予算	10
消防費に対する人口世帯当たり額/過去10年間の消防費の推移	11
消防職員の推移	12
消防職員特殊技能資格取得状況	12
階級別・所属別消防職員配置状況	13
消防職員年令別分布	14
消防職員勤続年数別分布	15
消防車両配置状況	16
消防用資機材配置状況	17
職員研修実施状況	18
プリセプターシッププログラム	19~21
平成24年度主要記録	22・23
平成25年度消防重点事業	24
相互応援協定	25
警 防	
一 目 統 計（火災）	26
平成24年中の火災概要	27
火災概要	28
火災発生状況比較	29
出火率比較	29
地区別火災発生状況	30
月別・時間別火災発生状況	31
出火原因別火災発生状況	32
過去10年間年別主な火災原因	33
過去10年間の火災発生状況	34
海上・沿岸防災等（IBK委託状況）	35
火災・救助以外の消防車の出動	36
消防水利状況	37
開発行為に関する事前協議等	38
緊急消防援助隊の派遣体制	39
四日市市消防支援隊の活動状況	40
防災教育センター利用状況	41
四日市市防災指導員制度（指導状況）	42
防火・防災教室の経緯と現状	43
救助・救急	
一 目 統 計（救助）	44
救出・救助活動状況	45
水難救助隊の災害出動概要	46
一 目 統 計（救急）	47
平成24年中の救急業務の概要	48・49
救急概要	50
救急事故発生状況比較	51
過去10年間の救急事故発生状況	51
地区別救急出場状況	52
月別救急出場状況	53
応急手当の普及計画	54
応急手当普及啓発活動の状況	54
心肺機能停止傷病者の救命率	55

通信・気象

一 目 統 計 (通信・気象)	56
指令事務の共同運用・消防通信施設の概要	57
119番通報受付取扱状況	58
通信施設保有状況	59
無線配置状況	59
気象予報・警報発表状況	60
気象状況(風速・温度・湿度・風向・降雨量)	61

予 防

一 目 統 計 (予 防)	62
広報活動状況	63
広報用印刷物	63
年別建築同意状況及び防火対象物の推移	64
建築同意件数	64
消防用設備等届出状況	64
危険物仮貯蔵・仮取扱申請承認状況	64
年別危険物施設・設置許可数及び危険物施設数の推移	65
危険物許可事務処理状況	65
火災予防条例等に基づく届出事務処理状況	66
防火対象物状況(階層別)	67
防火対象物状況(消防用設備別)	68
防火対象物状況(地区別)	69
数量・類別危険物施設設置状況	70
地区別危険物施設設置状況	71
事業所等別危険物施設状況	72
コンビナート概要	73
特定防災施設	73
コンビナート防災体制	74・75
四日市臨海地区事業所配置図	76・77

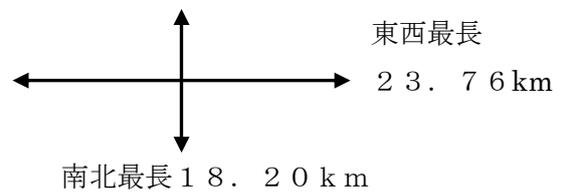
消 防 団

四日市市消防団の沿革	78・79
歴代消防団長	79
消防団の概況	80
消防団員の状況	81
消防団員出動状況	82
消防団訓練・研修実施状況	82
さるびあ分団活動状況	83
消防団防災支援隊の登録状況	83

四日市市の位置



北緯 34° 57'
 東経 136° 38'
 面積 205.58km²



四日市市の沿革

四日市市は三重県の北部に位置し、西は鈴鹿山系、東は伊勢湾に面した温暖な地域です。すでに旧石器時代から人々が住み、市内には縄文から弥生時代の遺跡も数多く存在しています。市内各所に古墳が築かれ、なかでも志氏神社古墳は市内唯一の前方後円墳として知られています。8～10世紀には智積廃寺や上品寺の釈迦如来座像など四日市地域への仏教文化の広がりが認められ、また、多度神宮寺伽藍縁起并資財帳によれば条理が整備されていた様子がうかがえ、平安から鎌倉時代には伊勢平氏の活躍の舞台でありました。それだけに鎌倉、南北朝、室町時代には時の指導者がその被官を北伊勢に配置しました。

1473年の外宮庁宣に「四ヶ市庭浦」の地名が出てきます。この頃すでに定期市「四日市」が立っていたことがうかがえます。江戸時代、市場町・湊町の四日市に「宿場町」「陣屋・代官所の町」が加わり、北勢の行政・商業の中心地として知られるようになりました。幕末から明治にかけ、菜種油・肥料の生産や取り引きの盛んな町として栄え、四日市港の修築を機に、生糸、紡績を中心とした繊維工業へ、さらに機械工業や化学工業の進出が相次ぎ、日本の近代工業化への歩みを模したかのような形で四日市地域が商工業の都市に進展しました。明治30年に市制を施行し、昭和5年に塩浜、海蔵の両村を合併して以来、周辺町村を併合し平成17年2月の楠町との合併で現在の市域になりました。昭和30年代以降石油化学工場等の進出は、大気汚染等の公害をもたらしましたが、今では環境浄化に努力し、自然との調和を目指した街づくりにまい進しています。

消防概要

本市消防体制は、消防本部に総務課・消防救急課・予防保安課・情報指令課・救急救命室・防災教育センターを設置し、市街地に中消防署・北消防署・南消防署の3消防署を置くとともに、海上・沿岸地域に港分署、市西部に西分署、市中央部に中央分署（消防活動支援センター）、北西出張所及び西南出張所を、受託地域の三重郡朝日町に北消防署朝日川越分署をそれぞれ配置して有事即応体制の確立を図っています。

これに対応する消防力として、消防職員320名、消防車両77台のほか、1消防団及び市内各地区に26分団・団員620名・29分団車両を配備しています。

一方、大規模な災害に対応するため、緊急消防援助隊の三重県代表消防本部としても広域応援訓練に参加すると共に、耐震性貯水槽の設置をはじめ、住民による自主防災組織の活性化を図り、住民と一体で安心・安全なまちづくりを目指しています。

四日市市の地勢と消防機関の配置

(平成25年4月1日)

署別・地区別	面積 (km ²)	世帯数	人 口	人口密度(1km ² あたり)	
合 計	220.28	139,573	337,400	1,532	
中 消 防 署 管 内	小 計	68.09	57,297	135,427	1,989
	共 同	1.10	3,787	7,527	6,843
	同 和	0.12	353	761	6,342
	中 央	0.52	1,049	2,249	4,325
	港	1.80	947	1,853	1,029
	浜 田	3.00	5,909	11,349	3,783
	橋 北	2.62	2,640	5,744	2,192
	海 蔵	3.65	5,522	13,645	3,738
	常 磐	4.89	12,401	27,832	5,692
	川 島	7.89	4,518	12,352	1,566
	神 前	7.40	2,726	6,961	941
	桜	12.02	5,809	15,723	1,308
	県	11.25	2,446	6,828	607
	三 重	11.83	9,190	22,603	1,911
北 消 防 署 管 内	小 計	65.95	44,764	111,269	1,687
	羽 津	8.80	7,146	17,234	1,958
	富 田	4.88	5,253	12,103	2,480
	富洲原	2.04	3,769	9,132	4,476
	大矢知	6.89	8,074	19,483	2,828
	八 郷	10.21	4,902	12,925	1,266
	下 野	7.57	3,450	8,544	1,129
	保 々	10.86	2,609	7,304	673
	朝日町	5.99	3,661	9,992	1,668
	川越町	8.71	5,900	14,552	1,671
南 消 防 署 管 内	小 計	86.24	37,512	90,704	1,052
	塩 浜	7.44	3,006	6,524	877
	日 永	7.23	8,019	18,281	2,528
	四 郷	8.40	10,333	24,088	2,868
	内 部	12.31	6,854	17,898	1,454
	河原田	5.12	1,878	4,614	901
	小山田	18.35	1,878	4,816	262
	水 沢	19.63	1,144	3,361	171
	楠 町	7.76	4,400	11,122	1,433
四日市市	205.58	130,012	312,856	1,522	
受託2町	14.70	9,561	24,544	1,670	

四日市市消防の沿革

明治19年	四日市に初めて火防組1組が組織される 消防夫59人
明治20年	火防組12組 消防夫864人となる
明治24年	火防組が消防組と改名される
明治25年	消防組23組 消防夫1,396人となる
明治27年2月	勅令をもって消防規則が公布される
明治28年12月26日	各町自警消防組を統合し、新たに四日市町消防組として発足 四日市町消防組 第1番組 川原町、末永、浜一色(橋北地区) 第2番組 西町、久六町、比丘尻町、堅町、南町、北町、上新町 (共同地区) 第3番組 中町、境町、八幡町、中新町、四ツ谷新町、南新町 (同和地区) 第4番組 浜町、北条町、下新町、新町(同盟地区) 第5番組 蔵町、北納屋町、中納屋町、桶ノ町、袋町、高砂町、 稲葉町、南納屋町(港地区) 第6番組 浜田、赤堀(浜田地区) 配置人員 組頭1人 小頭6人 消防手193人 合計200人 配備器具 ポンプ6 大水桶12 小水桶64 梯子6 鳶口31 刺又6 釣瓶13 斧6 大縄6 纏6 旗6 高張提灯6 弓張提灯62 消口札6
明治30年	市制実施とともに四日市町消防組も市に引き継がれる
大正6年10月	第5番組(港地区)に初めてガソリンポンプを配置
大正12年1月	総ての組にガソリンポンプを配置
大正15年	初めて自動車ポンプを購入し、組頭直属のもとに自動車隊が登場
昭和5年	市域の拡大に伴って第7番組(海蔵地区) 第8番組(塩浜地区)が本市消防組に編入
昭和7年	本市上水道工事が完成し、消火栓355基を設置
昭和14年1月	政府は準戦時体制から戦時体制に切替え、警防団令を発令した
昭和14年4月1日	昭和6年頃に結成され、防空活動を行っていた防護団と消防組を合体一本化し、四日市警防団を設置した 警防団は消防組と同一区画の8分団とした 定員 622人(うち本部消防部16人) 分団に警防、消防、救護の3部を置く 初代警防団長 九鬼紋七氏
昭和15年1月16日	分団とは別に常備の本部消防部が組織され、部員が任命され事務所を市役所に置く 本部消防部定員16人(部長1副部長1警防員14) 警防団の装備 自動車ポンプ 5台(うち本部所属1台) 三輪自動車ポンプ1台 ガソリンポンプ2台 サイドカー1台(本部所属1台) 初代部長 東 平三氏
昭和15年4月16日	本部消防部の勤務体制を2部制24時間勤務とし、望楼見張勤務を始める
昭和15年6月4日	本部消防部にポンプ自動車配置 日産ポンプ自動車 29AT式KMC2段タービン26馬力 (警防団長 九鬼紋七氏の寄付)
昭和16年8月28日	本部消防部詰所に火災報知専用電話を設置(警察署より移転)
昭和16年	本市が富田町等2町3村を併合
昭和22年4月8日	千歳町に常備消防港出張所を開所 ポンプ自動車2台配備 本部員7人(本部と輪転勤務)
昭和23年3月7日	消防組織法が施行され、消防団は大正6年から続いていた警察行政から分離し、自治体消防に形を変える
昭和24年3月29日	四日市市常備消防部を廃止し、四日市市消防本部を設置 消防職員55人 消防自動車4台(速消車1・普通消防車3) 初代消防長に吉田千九郎氏(四日市市長兼務) 就任
昭和26年6月20日	消防本部富田出張所を建設・開所 消防職員定員 70名
昭和29年5月8日	機構改革により消防本部を分離して四日市消防署を設置し、港、富田出張所をその傘下に統一した
昭和29年11月15日	吉田千九郎氏消防長を退任
昭和29年11月16日	2代目消防長に中村松次郎氏就任
昭和29年12月1日	消防本部の機構改革により総務・整備・消防・予防の4係を置く
昭和32年4月1日	消防職員定員 90名
昭和32年11月1日	消防と警察の特別援助協力協定を締結
昭和34年2月24日	消防本部、消防署合同庁舎を新築し移転
昭和35年4月1日	消防職員定員 91名
昭和35年12月15日	救急業務を開始
昭和36年3月31日	中村松次郎氏消防長を退任
昭和36年4月1日	消防職員定員 106名
昭和36年4月15日	3代目消防長に竹内鉄雄氏就任
昭和36年5月1日	機構改革により消防本部に次長を設け、総務・消防の2課、総務・整備・消防・予防の4係を置き、消防署に 総務・消防・予防の3係を置く 富田出張所を北出張所と改称
昭和37年1月20日	南出張所を開所
昭和38年4月1日	消防職員定員 125名
昭和38年5月24日	消防と海上保安部の船舶消防に関する業務協定締結
昭和39年4月1日	消防職員定員 139名
昭和39年10月1日	機構改革により四日市消防署を中消防署と改称、北出張所・南出張所をそれぞれ消防署に昇格

昭和40年10月1日	桜、保々分遣所を開所
昭和41年4月1日	消防職員定員 159名
昭和42年4月1日	消防職員定員 166名
昭和43年3月31日	竹内鉄雄氏消防長を退任
昭和43年4月1日	4代目消防長に富山光三氏就任 消防職員定員 171名
昭和43年7月1日	四日市市と楠町、川越町、朝日町の救急業務に関する応援協定を締結
昭和44年3月31日	一斉指令装置を設置
昭和44年4月1日	消防職員定員 176名
昭和45年4月1日	機構改革により、本部の2課4係にあらたに予防課を設け、総務・消防・予防の3課、庶務・装備・消防・通信・救急・予防・危険物の6係とした 中消防署港出張所を同署港分署に昇格 消防職員定員 185名
昭和45年5月21日	中消防署港分署に双胴型消防艇「あさかぜ」を配備
昭和46年4月1日	消防職員定員 190名
昭和46年4月6日	北消防署庁舎改築(鉄筋コンクリート造2階建、建築延面積760.31㎡、監視用テレビカメラ装置付)
昭和46年5月22日	消防と海上保安部の船舶消防に関する業務協定を改定締結
昭和47年3月31日	富山光三氏消防長を退任
昭和47年4月1日	5代目消防長に倉谷徳助氏就任
昭和49年4月1日	消防職員定員 191名
昭和49年6月4日	南消防署庁舎改築(鉄筋コンクリート造2階建、建築延面積759.9㎡)
昭和50年3月31日	倉谷徳助氏消防長を退任
昭和50年4月4日	6代目消防長に松村佳美氏就任 消防職員定員 193名
昭和50年10月1日	小山田分遣所を開所
昭和50年10月22日	四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市及び長島町の高速道路における消防相互応援協定を締結
昭和51年4月1日	消防職員定員 194名
昭和51年4月16日	機構改革により、本部予防課に指導査察係を置く
昭和52年3月25日	石油コンビナート等災害防止法に基づき、高所放水車・大型化学車・泡原液搬送車の3点セットを 中消防署に配備
昭和52年4月1日	消防職員定員 197名
昭和52年7月1日	機構改革により、本部に警防技監・主幹・主任を、消防署に副署長・主任の設置制度及び中消防署に 消防第3係を設け、本部通信救急係を通信指令室に改めた
昭和53年3月31日	通信指令室に防災指令装置を設置 松村佳美氏消防長を退任
昭和53年4月1日	消防職員定員 200名
昭和53年4月5日	7代目消防長に渡邊靖三氏就任
昭和53年12月23日	四日市市と楠町、川越町、朝日町の救急業務に関する応援協定を改定締結
昭和54年4月1日	消防職員定員 207名
昭和55年4月1日	機構改革により、本部の主幹を課長補佐に改め主任を廃止し、総務課に企画係を、消防課に防災指導係 を置き、通信指令室を指令第1及び第2係に改めた 消防署の副署長を署長補佐に改め、主任を廃止した 消防職員定員 215名
昭和56年2月26日	中消防署に救助工作車を配備
昭和56年4月1日	消防職員定員 222名
昭和57年4月1日	消防職員定員 227名
昭和57年12月1日	三重県救急医療情報システム地域救急医療情報センターを開設し、運用開始
昭和58年4月1日	消防職員定員 232名
昭和58年9月30日	渡邊靖三氏消防長を退任
昭和58年10月1日	8代目消防長に山口博氏就任
昭和59年4月1日	機構改革により、各消防署の庶務係を予防係に統合し、北・南消防署に消防第3係を置き、 総務課庶務係を総務係に、装備係を施設装備係に、消防課消防係を警防係に、防災指導係を防災係に、 予防課予防係を建築物係にそれぞれ改めるとともに主幹・主査及び副主査制度を設けた 消防職員定員 236名
昭和59年10月31日	消防本部・中消防署合同庁舎改築(本館棟、鉄骨鉄筋コンクリート造5階一部6階建、建築延面積3,829.09㎡)
昭和60年4月1日	消防職員定員 235名
昭和60年10月18日	桜分遣所改築
昭和62年4月1日	機構改革により消防本部に副参事を設け、研修所及び総務課企画係を統合し企画研修室とした 消防課指令係に第3係を増設し、3係制とした 消防職員定員 240名
昭和62年11月30日	中消防署港分署に配備の消防艇「あさかぜ」を単胴船に更新
昭和63年3月31日	桜分遣所を廃止した
昭和63年4月1日	中消防署西分署を開設(鉄筋コンクリート造平屋建 延べ面積390.85㎡)、4月8日から業務開始、 4月18日竣工式を挙行 機構改革により、西分署に消防第1係、消防第2係、消防第3係を設置し 港分署水上係を水上第1係、水上第2係、水上第3係に改めた 海上分団に普通ポンプ自動車(旧第4号車)を配備した
平成元年10月2日	消防業務のOAシステム(予防)の運用を開始した
平成2年3月31日	山口博氏消防長を退任
平成2年4月2日	9代目消防長に島村隆氏就任
平成2年10月1日	「一人暮らしの老人に対する緊急通報事業」の運用を開始した
平成2年12月6日	中消防署にはしご付消防自動車(45m)を配備
平成3年1月21日	消防業務のOAシステム(指令管制)の運用を開始した
平成3年2月28日	三重郡楠町、朝日町及び川越町と四日市市との間において消防事務委託に関する付属協定書・ 同覚書の調印を行った

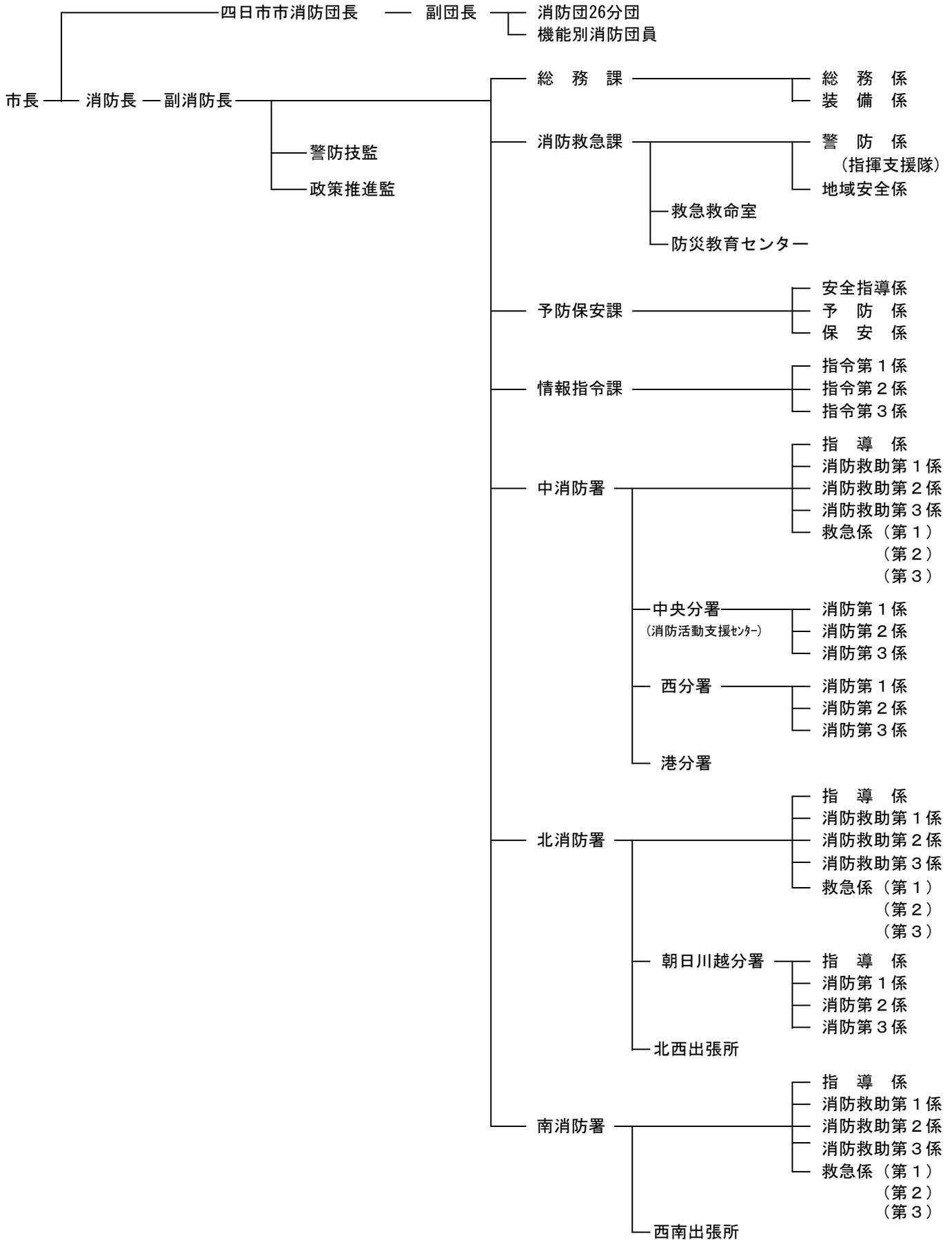
平成3年4月1日	中消防署港分署庁舎移転・新築(鉄筋コンクリート造一部2階建延べ面積208.75㎡) 消防職員定員 245名
平成4年4月1日	三重郡楠町、朝日町及び川越町の消防事務受託に伴い消防職員を増員 消防職員定員 274名 県下初の女性消防吏員3名を採用
平成4年4月15日	消防本部次長を2人制とし、消防課に救急救助係を設けた
平成4年6月23日	救急救命中央研修所及び大阪市消防学校において各1名が研修を終了し、4月19日第1回 救急救命士国家試験に合格 県下初の救急救命士 2名誕生
平成5年2月10日	三重郡楠町の消防事務受託に際し、南消防署を一部増築(事務所部分135.18㎡)
平成5年2月26日	三重郡朝日町、川越町の消防事務受託に際し、北消防署朝日川越分署を建設(鉄筋 コンクリート造一部2階建、延べ面積560㎡)竣工式を挙行
平成5年3月1日	三重郡楠町、朝日町、川越町の消防事務を受託し業務開始 水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、広報車・軽トラック各1台を配備、予防係、消防第1係、 消防第2係、消防第3係、を設置し分署長以下18名で業務を開始した
平成5年4月1日	機構改革により、消防本部に通信指令室を設け消防課の所管とし消防署に副参事を設けた 中消防署に特別救急隊を設置し、高規格救急車の運用を開始した 消防音楽隊を再結成し、練習・訓練を開始した 消防職員定員 284名
平成6年4月1日	機構改革により、中消防署港分署の水上第3係を廃止した 消防職員定員 286名
平成7年3月 3日	四日市市消防本部・四日市市消防団連名で、消防庁長官表彰・表彰旗を受章
平成7年4月1日	消防職員定員 290名
平成8年3月31日	島村隆氏消防長を退任
平成8年4月1日	10代目消防長に小山佳志氏就任 消防職員定員 294名
平成8年7月12日	消防緊急通信指令システム運用開始
平成9年4月1日	機構改革により、消防本部に防災教育センター、中消防署に特別救急救助第1、第2、第3係を設けた
平成9年4月10日	北消防署、防災教育センター竣工
平成10年2月1日	予防システムのOA機器更新
平成10年4月1日	機構改革により、消防本部総務課の所管として情報指令室を置き、同課施設整備係を装備係に、 消防課を消防救急課に、同課の防災係及び救急救助係を統合し地域安全係とし、予防課を 予防保安課に、同課の建築物係を予防係に、危険物係を保安係に、指導査察係を安全指導係に、 各消防署及び朝日川越分署の予防係を指導係に、中消防署の消防第1～3係及び特別救急救助 第1～3係を消防救助第1～3係及び救急係に改称し、北消防署及び南消防署に救急係を設置した 消防職員定員 293名
平成10年10月5日	北勢地域携帯電話119番通報運用開始
平成11年3月31日	小山佳志氏消防長を退任
平成11年4月1日	消防職員定員 292名
平成11年4月3日	11代目消防長に星合隆毅氏就任
平成12年10月1日	北消防署保々分遣所を廃止し、新たに北消防署北西救急分駐所(職員3名、救急車1台)を開設
平成14年2月27日	中消防署に救助工作車(Ⅲ型)を増強配備した
平成14年3月31日	小山田分遣所を廃止
平成14年4月1日	機構改革により北消防署消防係を消防救助係に改め、救助工作車の運用を開始した
平成14年10月1日	小山田地区市民センター内に、新たに南消防署西南救急分駐所(職員3名、救急車1台)を開設
平成15年3月31日	星合隆毅氏消防長を退任 消防音楽隊活動休止
平成15年4月1日	12代目消防長に鈴木史郎氏就任 四日市市消防本部水難救助隊発足
平成15年4月13日	四日市市消防本部水難救助隊発足式
平成16年4月1日	四日市市消防団防災支援者制度発足
平成16年8月20日	四日市市消防支援隊発足
平成17年1月1日	消防情報支援システムの運用開始
平成17年2月7日	四日市市と楠町が合併し新たな四日市市が誕生
平成17年4月1日	機構改革により消防本部総務課情報指令室を消防本部情報指令課に改組した 消防音楽隊を再編し、活動再開
平成17年8月9日	北勢地域携帯電話からの119番通報がブロック代表受信方式から直接受信方式に切替
平成18年3月31日	鈴木史郎氏消防長を退任
平成18年4月1日	13代目消防長に北川保之氏就任 消防職員定員310名
平成18年7月10日	四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会の設置
平成19年4月1日	消防職員定員320名 四日市市、桑名市消防本部が、桑名市消防本部内で消防指令センターの共同運用を開始 機構改革により消防本部消防救急課の指揮支援隊の24時間体制を開始、南消防署消防係を 消防救助係に改め救助工作機能付消防ポンプ自動車の運用を開始した
平成20年4月1日	消防職員定数320名 特別救助隊に替えて高度救助隊を導入
平成20年11月1日	中消防署中央分署(消防活動支援センター)を開署(鉄筋コンクリート造3階建 敷地面積 5,227㎡) 11月10日から業務開始 11月16日開署式を挙行

平成22年3月31日	北川保之氏消防長を退任 楠町消防団解団
平成22年4月1日	14代目消防長に川北悟司氏就任 四日市市消防団の1元化を図るとともに機能別消防団員の 신설および各分団定数増を図り定数620名とする 職員6名を国際消防救助隊(IRT)へ登録 西南および北西救急分駐所へ消防ポンプ自動車を配備し、西南及び北西出張所に名称変更した
平成23年4月1日	機構改革により消防次長制を改め副消防長を設置した
平成24年4月1日	機構改革により消防本部消防救急課に救急救命室を設置した
平成25年1月15日	救急ワークステーション試行運用開始

歴 代 消 防 長

代	氏名	在 職 期 間
初	吉田千九郎	昭和24年3月29日～昭和29年11月15日
2	中村松次郎	昭和29年11月16日～昭和36年3月31日
3	竹内鉄雄	昭和36年4月15日～昭和43年3月31日
4	富山光三	昭和43年4月1日～昭和47年3月31日
5	倉谷徳助	昭和47年4月1日～昭和50年3月31日
6	松村佳美	昭和50年4月4日～昭和53年3月31日
7	渡邊靖三	昭和53年4月5日～昭和58年9月30日
8	山口博	昭和58年10月1日～平成2年3月31日
9	島村隆	平成2年4月2日～平成8年3月31日
10	小山佳志	平成8年4月1日～平成11年3月31日
11	星合隆毅	平成11年4月3日～平成15年3月31日
12	鈴木史郎	平成15年4月1日～平成18年3月31日
13	北川保之	平成18年4月1日～平成22年3月31日
14	川北悟司	平成22年4月1日～現在

四日市市消防機構図



総務

一 目 統 計

(2町消防事務受託分含む)

消 防 予 算	3,327,122,000 円 (市予算 3.2%)
一 般 会 計 総 予 算	102,697,438,000 円
消 防 職 員 定 数	320 人 以 内
市 職 員 定 数	2,959 人 以 内
人 口 (委 託 2 町 含 む)	337,400 人
人口の最も多い地区 (四日市市)常磐地区	27,832 人
人口の少ない地区 (四日市市)水沢地区	3,361 人
消 防 車 両 等	
(常 備) はしご自動車	2 台
化学消防自動車	2 台
水槽付ポンプ自動車	8 台
消防ポンプ自動車	6 台 (救助工作機能付1台含む)
小型動力消防ポンプ付水槽車	1 台
大型化学高所放水車	1 台
はしご機能付高所放水車	1 台
泡原液搬送車	2 台
救助工作車	2 台
高規格救急自動車	12 台
その他車両	40 台
(非常備) 消防ポンプ自動車	25 台
水槽付ポンプ自動車	1 台
可搬式ポンプ積載車	1 台
資機材搬送車	2 台
参 考 (受 託 2 町 非 常 備)	
(朝日町) 消防ポンプ自動車	1 台
可搬式ポンプ積載車	4 台
小型動力ポンプ	1 台
救助資機材搭載型車両	1 台
(小型動力消防ポンプ積載車)	
(川越町) 消防ポンプ自動車	1 台
可搬式ポンプ積載車	11 台
救助資機材搭載型車両	1 台
(小型動力消防ポンプ積載車)	

平成24年度・25年度消防費歳出予算(当初額)

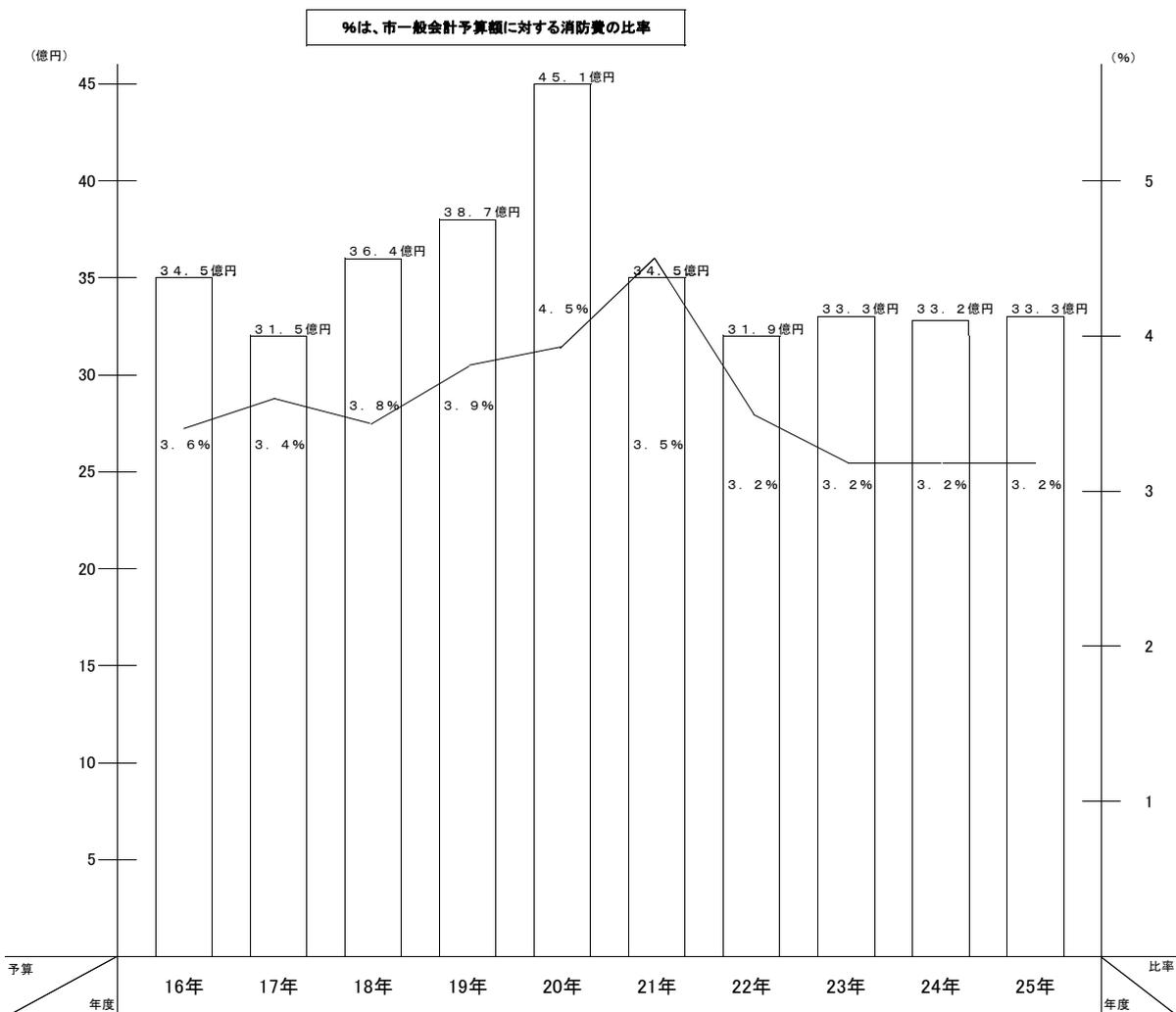
(千円)

款 項 目	節	平成24年度	平成25年度	比較増△減
消 防 費		3,315,899	3,327,122	11,223
消 防 費		3,315,899	3,327,122	11,223
常備消防費		2,981,659	3,032,713	51,054
	給 料	1,195,227	1,208,244	13,017
	職 員 手 当	1,062,355	1,088,081	25,726
	共 濟 費	408,866	415,073	6,207
	賃 金	1,284	1,299	15
	報 償 費	21,875	19,175	△ 2,700
	旅 費	5,871	5,853	△ 18
	交 際 費	0	0	0
	需 用 費	93,091	99,306	6,215
	役 務 費	9,550	8,736	△ 814
	委 託 料	72,780	92,609	19,829
	使用料及び賃借料	5,592	6,834	1,242
	工 事 請 負 費	400	300	△ 100
	原 材 料 費	133	100	△ 33
	備 品 購 入 費	4,146	1,905	△ 2,241
	負担金補助及び交付金	82,944	67,707	△ 15,237
	補償補填及び賠償金	17,500	17,455	△ 45
	公 課 金	45	36	△ 9
非常備消防費		133,320	139,808	6,488
	報 酬	17,495	17,442	△ 53
	共 濟 費	1,178	1,178	0
	災 害 補 償 費	2,000	2,000	0
	報 償 費	7,557	12,071	4,514
	旅 費	71,173	70,944	△ 229
	交 際 費	0	0	0
	需 用 費	10,880	12,189	1,309
	役 務 費	4	4	0
	委 託 料	1,699	1,651	△ 48
	使用料及び賃借料	497	461	△ 36
	工 事 費	162	0	△ 162
	備 品 購 入 費	63	1,292	1,229
	負担金補助及び交付金	20,612	20,576	△ 36
	補償補填及び賠償金	0	0	0
消防施設費		195,843	153,400	△ 42,443
	需 用 費	76	0	△ 76
	役 務 費	471	470	△ 1
	委 託 料	990	8,465	7,475
	使用料及び賃借料	0	0	0
	工 事 請 負 費	42,231	31,918	△ 10,313
	原 材 料 費	0	0	0
	備 品 購 入 費	152,075	112,547	△ 39,528
	負担金補助及び交付金	0	0	0
水 防 費		5,077	1,201	△ 3,876
	報 償 費			0
	旅 費			0
	需 用 費	250	550	300
	委 託 料	3,003	0	△ 3,003
	工 事 請 負 費	1,067	0	△ 1,067
	原 材 料 費	757	651	△ 106
	備 品 購 入 費			0
	負担金補助及び交付金			0

消防費に対する人口世帯当り額

	消防費（千円）	人口（人）	世帯	1人当り額（円）	1世帯当り額（円）
平成21年度	3,446,055	336,930	135,071	10,228	25,513
平成22年度	3,190,271	337,451	136,199	9,454	23,424
平成23年度	3,326,125	338,041	137,504	9,839	24,189
平成24年度	3,315,899	337,976	138,537	9,811	23,935
平成25年度	3,327,122	337,400	139,573	9,861	23,838

過去10年間の消防費の推移



消 防 職 員 の 推 移

(平成25年4月1日現在)

年 度 別	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
定 員	320	320	320	320	320	
実 員	消防吏員	315	315	315	314	316
	その他の職員	1	1	1		
	合 計	316	316	316	314	316
消防職員定員増減	0	0	0	0	0	

消 防 職 員 特 殊 技 能 資 格 取 得 状 況

(平成25年4月1日現在)

階 級 別 資格種別		合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
			自 動 車 免 許	大 型	226		3	11	28	73
免 許	けん引	9				1	6	1		1
	大 型 特 殊	9				1	4	4		
自動車整備士		5					3	2		
海技士（航海）		1				1				
海技士（機関）		1			1					
小型船舶操縦士1級		13			1	4	4	3		1
小型船舶操縦士2級		36		1	3	5	8	14		5
小型移動式クレーン		240		3	7	19	47	95		69
玉掛資格		297		4	13	31	73	107		69
ガス溶接資格		264		1	8	26	69	105		55
無 線 技 師	第2級海上特殊無線技士	8				2	2	3		1
	レーダー級海上特殊無線技士	6				2	2	2		
	第2級陸上特殊無線技士	314		7	17	32	79	111		68
救 急	救急Ⅰ課程	161		7	17	33	64	40		
	救急Ⅱ課程（標準課程含む）	289		2	10	26	76	107		68
	救急救命士	59		1	4	8	13	31		2
応急手当指導員		315		7	17	33	79	111		68
衛生管理者		21		2	8	5	5	1		
第2種酸素欠乏危険作業主任者		45			4	15	19	6		1
潜水士		36				1	8	20		7
予 防 技 術 資 格 者	防火査察	38		4	8	11	9	6		
	消防用設備	20			3	6	7	4		
	危険物	31		5	5	8	9	4		
危 険 物 取 扱 者	甲種	10		2	2		1	4		1
	乙種	220		2	6	12	30	95		75
消 防 設 備 士	甲種	5			2			3		
	乙種	23		1	3	1	3	15		
防火対象物点検資格者		4		1		1	1	1		
非破壊検査技術者		3			1		1	1		

階級別・所属別消防職員配置状況

(平成25年4月1日)

階級別		合	消	消	消	消	消	消	消	消	事務
所属別		計	防	防	防	防	防	防	防	防	吏員
合計		321 ⁽³⁾ (8) <13> ②	1	7	17 ^[3]	33 ⁽²⁾	79<1>	111(1)<7>④		73(5)<4>	①<1>
消	消防長	1	1								
	副消防長	1		1							
	警防技監	1		1							
	政策推進監兼同和行政推進監	1									
	小計	16 ^[1] (8)②<1>			1 ^[1]	3 ⁽²⁾	5	2(1)①		5(5)	①<1>
	課長	1			1						
	課長補佐	[1]			[1]						
	総務課	8(8)				2(2)		1(1)		5(5)	
	総務係	4				1	2	1			
	装備係	3					3				
課員	②<1>						①			①<1>	
防	小計	22②			3	3	9	7<1>①			
	課長	1			1						
	課長補佐	1			1						
	警防係	15				1	7	7			
	地域安全係	2①				1	1				
	救急救命室	3①			1	1	1<1>①				
	センター	1③			[1]						
	防災教育	[1]			[1]						
	所長	③									
	所員	③									
本	小計	16②			2	2	4	7②		1	
	課長	1			1						
	課長補佐	1			1						
	予防係	3				1		2			
	保安係	5					2	3			
	安全指導係	6②				1	2	2②		1	
	情報	15			3	2	7	3			
	課長	1			1						
	課長補佐	3			2	1					
	指令係	11				1	7	3			
中	小計	110 ^[1] (5)①		1	4 ^[1]	8	27<1>	37<2>		33<2>	
	計	61 ^[1] (3)①		1	[1]	6	11<1>	22		21<2>	
	署長	1		1							
	副署長	[1]			[1]						
	指導係	4<1>				1	1			1<1>	
	消防救助係	44<1>				3	9<1>	14		18	
	救急係	12<1>				2	1	7		2<1>	
	防災指導員(現地要員)	①									
	中央分署	31<2>			2	1	9	10<2>		9	
	分署長	1			1						
防	副署長	1			1						
	分署員	29<2>				1	9	10<2>		9	
	西分署	16			1	1	7	4		3	
	分署長	1			1						
	分署員	15				1	7	4		3	
	港分署	2			1			1			
	分署長	1			1						
	分署員	1						1			
	小計	76(5)①		1	2	8	15	32<3>		18<2>	
	計	57(4)①		1	1	6	9	25<2>		15<2>	
北	署長	1		1							
	副署長	1			1						
	指導係	4<1>				1		2		1<1>	
	消防救助係	39<3>				3	8	18<2>		10<1>	
	救急係	12				2	1	5		4	
	防災指導員(現地要員)	①									
	朝川分署	19<1>			1	2	6	7<1>		3	
	分署長	1			1						
	指導係	2<1>				1		1<1>			
	消防係	16				1	6	6		3	
南	小計	57<1>①		1	1	6	12	21<1>		16	
	署長	1		1							
	副署長	1			1						
	指導係	3<1>				1		1<1>		1	
	消防救助係	40				3	10	12		15	
	救急係	12				2	2	8			
	防災指導員(現地要員)	①									
	市長部局へ出向	5		2		1	1	1			

()は派遣職員および消防学校入校予定職員、<>は女性消防吏員をそれぞれ内数で表し、[]は兼務である。
○数字は再任用職員及び嘱託職員数

消 防 職 員 年 令 別 分 布

(平成25年4月1日現在)

階級別 年令	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合 計	321	1	7	17	33	79	111	0	73	0
18	1								1	
19	1								1	
20	2								2	
21	2								2	
22	3								3	
23	5								5	
24	3								3	
25	7								7	
26	8						2		6	
27	7						3		4	
28	17						7		10	
29	15						7		8	
30	17						7		10	
31	18						11		7	
32	8						4		4	
33	10					1	9			
34	9						9			
35	5					2	3			
36	10					6	4			
37	11					3	8			
38	8					4	4			
39	7				1	5	1			
40	8					5	3			
41	11				3	5	3			
42	12				1	7	4			
43	8				1	3	4			
44	11					3	8			
45	12				2	3	7			
46	4					2	2			
47	5				3	2				
48	8			2	4	2				
49	5			1	1	3				
50	3			1		1	1			
51	8				5	3				
52	7			3	2	2				
53	2					2				
54	9			4	3	2				
55	5		1	3		1				
56	12		1	3	3	5				
57	4		2		1	1				
58	8		1		3	4				
59	4		2			2				
60	0									
61	0									
62	1	1								

(出向職員含む)

平均年齢

38.9 歳

消 防 職 員 勤 続 年 数 別 分 布

(平成25年4月1日現在)

階級別 勤続年数	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合 計	321	1	7	17	33	79	111	0	73	0
0～1	5								5	
1～2	6								6	
2～3	4								4	
3～4	6	1							5	
4～5	18								18	
5～6	28						5		23	
6～7	20						11		9	
7～8	13						12		1	
8～9	13						12		1	
9～10	8						8			
10～11	7						7			
11～12	9					1	7		1	
12～13	7					2	5			
13～14	7					4	3			
14～15	4					4				
15～16	14					5	9			
16～17	4					2	2			
17～18	11				1	4	6			
18～19	7					5	2			
19～20	6				1	3	2			
20～21	12				1	8	3			
21～22	26				5	10	11			
22～23	5				1	1	3			
23～24	4				1	2	1			
24～25	3					3				
25～26	0									
26～27	8			2	2	3	1			
27～28	2			1			1			
28～29	0									
29～30	3			1	2					
30～31	7			3	2	2				
31～32	10		1	2	3	4				
32～33	10			2	5	3				
33～34	13		2	1	5	5				
34～35	8		2	2	3	1				
35～36	4					4				
36～37	4			2	1	1				
37～38	2		1	1						
38～39	1						1			
39～40	0									
40～41	1						1			
41～42	1		1							

(出向職員含む)

平均勤続年数

16.1 年

消 防 車 両 配 置 状 況

(平成25年4月1日現在)

区分		所 属 別											合計	消防団
		消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	朝日川越分署	北西出張所	南消防署	西南出張所	防災教育センター		
消 防 車	消防ポンプ自動車	-	1	1	-	-	1	-	1	-	1	-	5	25
	救助機能付消防ポンプ自動車	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	
	水槽付ポンプ自動車	-	2	1	2	-	1	1	-	1	-	-	8	1
	化学消防ポンプ自動車	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	2	
	小型動力消防ポンプ付水槽車	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	はしご自動車	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	
	はしご機能付高所放水車	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	
	大型化学高所放水車	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	泡原液搬送車	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	
	救助工作車	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	
消防ポンプ積載車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	1	
高規格救急自動車		-	3	1	1	-	2	1	1	2	1	-	12	
そ の 他 の 車 両	指揮車	2	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	5	
	支援車	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	水難救助車	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
	泡原液運搬車	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	資機材搬送車	1	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	4	2
	火災原因調査車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	立入検査車	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	広報車	6	1	1	1	1	1	1	-	1	-	-	13	
	防災指導車	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	
	救急普及啓発車	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
	軽四トラック	-	1	-	1	-	1	1	-	1	-	-	5	
	乗用車	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
その他	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2		
合計		16	14	7	5	2	12	4	2	12	2	1	77	29

消防用資機材配置状況

(平成25年4月1日現在)

区分 / 所属	消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	朝川分署	南消防署	合計
空気呼吸器		35	15	15		37	16	29	147
酸素呼吸器		5				5			10
エンジンカッター		3	1	2		2	1	2	11
高発泡器		2				2			4
大容量泡放射砲(1S)		1				1		1	3
可搬式放水銃		4	1	2		3	1	2	13
耐熱服		6				4		6	16
ガス測定器	1	8	1	1		5	1	3	20
各種測定器	4	11				10		1	26
救命ボート		3	1			1		1	6
油圧切断機		2				2		1	5
チェーンソー		2				2	1	1	6
ボートパワー		1				1			2
救命索発射銃		1				1		1	3
ガス溶断器		1				1	1	1	4
発動発電機		8	5	3	2	14	2	3	37
排送風機		3	1	2	1	3	1	1	12
エアソー		2	1	1		2		1	7
救助幕		1							1
油圧スプレッター		2				1		1	4
マット型空気ジャッキ		6				5		2	13
削岩機		1				2		0	3
耐電衣		5				5		3	13
防毒衣		9				9		7	25
マンホール救助器具		1				1			2

高度救助用資機材

画像探索機 1型		1				0			1
画像探索機 2型		1				2			3
熱画像直視装置		1	1			1		1	4
地中音響探知機		1							1
夜間用暗視装置		2							2
エアラインマスク		1							1
地震警報器		1				1			2
オイルフェンス	10								10
潜水器具					29				29
高圧空気充てん機		1			1				2

救急用資機材配置状況

(平成25年4月1日現在)

区分 / 所属	消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	朝川分署	南消防署	合計
AED	1	7	3	4	1	6	3	7	32
AEDトレーナー	4	7	3	2		6	5	6	33
指導用訓練人形 成人	7	12	5	9		13	12	17	75
小児	5	5	5	6		5	5	6	37
乳児	5	5	5	5		5	5	5	35
救急隊員教育訓練人形		1	1			1	1	1	5

平成24年度職員研修実施状況

研修別	研修名	研修日	計(人)
派遣研修	1 消防大学校		
	幹部科	9/5-10/23	1
	指揮隊長コース	10/22-10/30	1
	火災調査科	10/24-12/12	1
	高度救助・特別高度救助コース	2/5-2/19	1
	NBCコース	2/25-3/8	1
	2 三重県消防学校		
	初任科 (49期)	4/9-11/30	6
	救急科救急課程 (15期)	9/26-11/19	6
	救助科水難救助課程 (12期)	5/21-6/1	1
救助科救助課程 (22期)	10/1-31	3	
危険物科危険物課程 (13期)	12/3-7	3	
中級幹部科 (21期)	12/5-13	3	
はしご自動車講習	12/11-14	3	
初級幹部科 (34期)	1/21-2/1	3	
予防査察科予防査察課程 (5期)	2/18-3/1	4	
警防科警防課程 (24期)	2/25-3/8	6	
現場指揮研修	4/18-20	4	
気管挿管フォローアップ研修	12/21	1	
水難救助課程指導者養成講習	6/21, 7/13, 8/20, 9/10-12	1	
救急救命士ブラッシュアップ指導者養成講習	12/20-21	1	
救急救命士ブラッシュアップ講習①	1/21-25	4	
救急救命士ブラッシュアップ講習②	2/4-8	3	
気管挿管追加講習 (ビデオ喉頭鏡)	3/13-14	1	
3 救急救命士養成所			
救急救命東京研修所 (前期) 新規養成	4/5-10/5	2	
救急救命東京研修所 (後期) 新規養成	9/10-3/18	1	
名古屋市救急救命養成所 新規養成	9/4-3/22	2	
4 全国市町村アカデミー			
自治体職員に必要とされる交渉力～コミュニケーション能力の向上～	9/18-26	1	
情報公開と個人情報保護	9/18-26	1	
大災害と自治体～東日本大震災からの教訓と実践～	10/1-5	1	
防災と危機管理～減災と災害対応力の向上～	2/12-20	2	
5 国際文化研修所			
地域防災力の向上	5/14-16	2	
消防職員コース	5/23-6/8	1	
職場におけるメンタルヘルス～職場復帰への支援～	10/9-11	1	
災害直後の市町村の対応	1/16-18	1	
緊急時における情報発信のあり方	2/27-3/1	2	
6 市職員研修所が企画する研修			
新任係長級職員研修	4/13, 4/24, 5/23, 5/30	8	
新任課長補佐級職員研修	4/17, 4/25, 5/24, 5/30	5	
新任課長級職員研修	4/19, 4/26, 5/10, 5/17, 5/24	1	
準管理職候補者研修	5/8, 7/9, 7/30	7	
管理職候補者研修	7/11, 20, 23, 8/1, 2, 10/17, 18	4	
ステージ①39歳研修	7/3, 7/24, 10/24	1	
ステージ②49歳・ステージ③54歳合同研修	7/6, 7/26, 8/24	5	
市町総合事務組合「情報処理研修」	7/27	1	
〃「リーダー研修Ⅲ」	1/31	1	
〃「プレゼンテーションスキル研修」	1/24	1	
〃「地図情報活用研修」	3/14	1	
先進地視察 (大阪府大阪市)	9/11-14	1	
先進地視察 (東京都調布市)	9/27-28	1	
7 全国消防長会/消防協会東海支部が主催する講習会			
火災調査研究発表会	10/15	4	
総務関係実務研修会	7/27	1	
消防長研修会	8/24	1	
違反是正事例発表会	11/20	5	
企業防災対策指導者研修会	2/14	1	
救急コ・メディカルセミナー	10/17	4	
鉄道災害事故救助講習会	10/21	2	
8 三重県消防長会が関係する研修			
違反是正研修会	8/24	4	
違反是正に関する事例演習会	2/6	2	
J P T E C プロバイダー更新コース	11/2	2	
スタティックロープレスキューセミナー	11/6, 7	3	
消防長研修会	8/17	4	
9 危険物セミナー			
事故防止対策セミナー	11/22	1	
保安技術講習会	7/26-27	1	
事故事例セミナー	3/1	2	
屋外タンク実務担当者講習会	11/21	1	
10 その他派遣研修			
日本救急医学会中部学術集会 (第15回)	10/13	1	
調査技術会議	7/25	5	
新規採用職員研修	4/2-6, 9, 5/1, 9/10	6	
救急救命士就業前病院研修	5/7-7/9	5	
救急救命士気管挿管病院実習	1/9-	1	
救急科救急課程修了後病院研修	12/3	6	
資格取得研修			
11 資格取得など			
大型自動車運転免許 (新規)	5/31-取得まで	6	
潜水士免許 (新規)	5/21-22, 6/21	1	
第2種衛生管理者	6/13-14, 7/2	2	
2級小型船舶操縦士免許 (更新及び失効講習)	12/1, 12/15	7	
危険物取扱者保安講習	7/4, 1/18	2	
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	2/13-2/15	3	
予防技術資格者 (新規)	3/17	7	
視察研修			
12 総務省消防庁主催 国際消防救助隊の実践的訓練	10/28-21	2	
先進地視察 (徳島県美馬市)	8/20	1	
先進地視察 (山梨県甲府市・南アルプス市)	3/11-12	2	
先進地視察 (神奈川県横浜・大和市)	3/25-26	2	
総務省消防庁主催 国際消防救助隊の連携訓練	11/1-2	1	
JICA主催 国際緊急援助隊救助チーム総合訓練	11/27-12/1	1	
総務省消防庁主催 IRTセミナー	2/27-3/1	1	

消防プリセプターシッププログラム

プリセプター研修について

四日市市消防本部では、新人消防職員の育成と能力開発を図り、住民に質の高い消防行政サービスの維持・向上を図るため、プリセプターシッププログラムによる新人教育を実践しています。

他の業種では、看護職場が1990年初期から質の高いサービスを安定的に提供するため、新人をバックアップする体制としてプリセプターシップを取り入れています。

プリセプターシップとは、新人職員の業務遂行に必要な能力開発を効果的に効率よく達成するための、組織内教育制度です。「努力と根性」を長い間ポリシーとしてきた日本のスポーツ界でも、辛い練習を延々と続けることを強いる時代から「科学的な個別の練習メニュー」を尊重する時代になり成果を上げています。プリセプターシップに求めていることも同様です。仕事の特性と人材の特徴を捉えて、無理なく効果的に、そして達成感を味わいながら、新人職員が成長を続けていける人材教育システムがプリセプターシップです。

さらに、プリセプターシップは、新人職員だけでなく、先輩職員のキャリアアップの一環としても機能するものです。先輩がプリセプターとして後輩を教育指導することにより、対人関係能力や指導能力の成長が図られ、その役割遂行を通じて、準備や能力開発の努力をして、消防観の確立を図る効果があります。

消防本部では、消防行政サービスの維持・向上を図るため、平成20年度から「消防プリセプターシッププログラム」を策定し、新人教育体制の確立を図りました。

消防プリセプターシッププログラム策定の目的

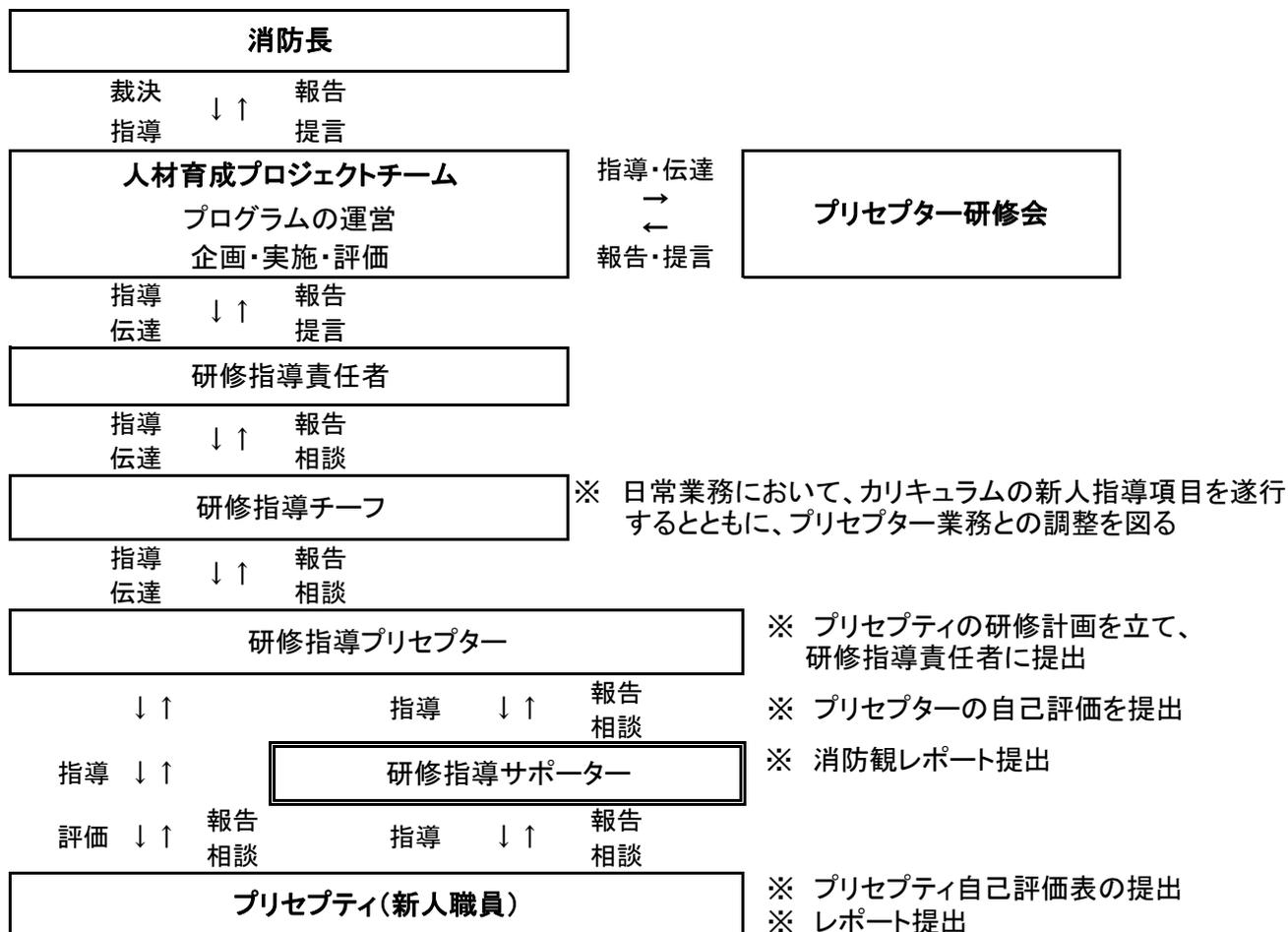
- 1 消防学校を卒業した新人消防士(プリセプティ)に対して、リアリティショックを緩和し、早く職場に適応することができるよう促す。
- 2 消防士長以上の階級職員を新人研修指導者とし、その役割遂行を通して、指導能力の育成および消防観の確立を図る。
- 3 警防・救急業務に関して、消防実践能力を習得し、消防実務者としての役割が取れるようにサポートシステムを形成する。

消防プリセプターシッププログラム運営の方法

- 1 目的の1、2については、プリセプターシップ研修プログラムを用いて、目的の達成を図る。
- 2 目的の3については、分野別指導カリキュラムを用いて、職場全体で取り組む。

プログラムの管理運営

- 1 プログラムの管理責任 消防長
- 2 プログラムの管理運営体制



3 プログラムの運営

「人材育成プロジェクトチーム」

1) 構成

責任者 総務課長
委員長 政策推進監

2) 機能

- ① 研修プログラムの運営(企画・実施・評価)を行う。
- ② 消防長に対して、プリセプターシップ研修プログラムに関する報告・提言を行う。
- ③ 研修部署の指導責任者およびプリセプター研修会に対して、指導・伝達を行う。
- ④ プリセプター研究会(隔月1回)が、自主的・効果的に運営されるよう指導する。
- ⑤ 研修部署から提出されたプリセプター評価表および指導観レポート等に基づき研修目標に対する達成度を評価する。
- ⑥ 研修プログラムの総合評価を行い、消防長に報告する。

4 各部署の指導体制

「新人職員人材育成体制」のとおり。

消防プリセプターシップ 新人職員人材育成体制

区分	役割・機能	備考
人材育成の責任者	消防長	
人材育成の運営	人材育成プロジェクトチーム	
人材育成計画・実施・評価		
研修指導責任者	所属長	
研修指導チーフ	係長	プリセプターの相談に対し、助言・指導する。
	新人職員が属する係の係長	
研修指導プリセプター	新人職員が属する係の消防士長以上で、所属長が指名する。	プリセプティーに対する研修指導担当者で、プリセプティー1人に対し、プリセプター1人の体制を原則とする。
研修指導サポーター	新人職員が属する係の採用2年目以上の職員	プリセプティーに対する研修支援・補助者
受講者	採用1年目の職員	
研修指導期間	消防学校卒業後、各所属に配属された12月から翌年の11月までの1年間	
研修指導内容	新人職員指導カリキュラム	
プリセプター養成研修	消防士長以上受講	プリセプターは必ずプリセプター養成研修を受講
プリセプターフォローアップ研修	12月から毎月実施、4月以降3ヶ月に1回実施	プリセプター・プリセプティー・チーフ・所属長

平成24年度主要記録

年	月	日	主な記事	日	その他の記事
24	4	9	初任科生入校 於：三重県消防学校 第49期生 6名が入校、11月30日卒業	13	三重県消防職員意見発表会 於：志摩市
	5	22.23	防火管理講習 甲種防火管理新規講習117名、乙種防火管理講習32名が受講		
	24		防災管理講習 24 防災管理新規講習30名が受講		
	28		防火協会総会 優良防火管理事業所として6事業所を表彰		
	30		優良危険物事業所表彰 優良危険物事業所として4事業所を表彰	21	三重県内高速道路消防連絡協議会(全員協議会)
	6	1～30	危険物安全管理強調月間 月間中にコンビナート事業所を対象に本部で「防災診断」及び危険物保有事業所等を対象に各署で立入検査及び消防訓練を実施	11	消防安全衛生委員会
				14	第1回三重県図上訓練 於：三重県庁
		27.28.29	防火管理講習 甲種防火管理再講習23名、甲種防火管理新規講習100名が受講		
	7	4	安全講演会 『自然災害における活動隊員の安全管理・健康管理について』 講師：陸上自衛隊 第33普通科連隊 第3科長 竹内 啓佳		
		15	第49回消防団消防操法競技大会及び防災フェスタ 於：中央緑地公園 25分団が出場し競技を実施 第1位：塩浜分団 第2位：大矢知分団 第3位：八郷分団	30	愛知県消防通信連絡協議会総会 於：名古屋市市役所
	8			17	消防長研修会 『2つの災害(東日本大震災・紀伊半島大水害)を踏まえた三重県の今後の防災対策』 於：津市 グリーンパーク津
				10	第2回三重県図上訓練 於：三重県庁
				11	第41回消防救助技術東海地区指導会 於：三重県消防学校 第41回全国消防救助技術大会 於：東京都江東区
		26	市民総ぐるみ総合防災訓練 於：下野小学校		
		31	石油コンビナート・海上防災訓練 於：東ソー(株)四日市事業所及び周辺海域	27	消防職員委員会
	9			2	三重県総合防災訓練 於：鈴鹿市 三重県消防学校
				25	安濃SA Drへり離着陸訓練

10			4	第9回三重県警防技術交換会 於：三重県消防学校
	17.18	防火管理講習 甲種防火管理新規講習113名、乙種防火管理講習25名が受講	12	三重県内高速道路消防連絡協議会(研修会) 於：三重県消防学校
	31	安全衛生講演会 『惨事ストレスの早期発見・早期介入について』 講師：兵庫県こころのケアセンター	27,28	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練 於：兵庫県神戸市
11	3	防火ポスター・防火習字の入選者の表彰 管内の園児及び小・中学生を対象に防火ポスター・防火習字を募集し、入選者の表彰式を実施。	6.20.21	警防救助技術発表会
	5	特別消防訓練 於：ポートビル	8	三重県国民保護実動訓練 於：伊勢市サンアリーナ
	9～15	秋の火災予防運動	9,10	緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練 於：福井県坂井市
	12	29～30 年末特別警戒	27	指揮活動研修会
25	1	13 平成25年消防出初式 於：四日市ドーム 市民に対し消防力を披露し防火防災意識の普及啓発を図るため実施	6	朝日町・川越町合同出初式 於：朝日町
	26	第59回文化財防火デー 文化財愛護思想と防火防災思想の高揚と貴重な文化遺産を後世に継承するため管内一円で消防訓練や立入検査等を実施	24.25	指揮活動訓練
	2	19.20.21 防火管理講習 甲種防火管理再講習22名、甲種防火管理新規講習108名、乙種防火管理講習15名が受講	22	湾岸長島PA Drヘリ離着陸訓練
	25	特別消防訓練 於：ララスクエア四日市	8	第3回三重県図上訓練 於：三重県庁
	3	1～7 春の火災予防運動	12	三重県内高速道路消防連絡協議会(訓練) 於：紀勢道 紀伊長島インター

平成25年度消防重点事業

安全で安心なまちづくりに向け、消防力の強化・消防救急体制の充実をはじめ、総合的な災害対応力の向上を図ります。

特に、各種災害に迅速かつ的確に対応するため、初動体制の強化、救命率の向上、火災の予防及び延焼防止対策を重点的に実施します。

このことから、消防救急無線のデジタル化をさらに推進するとともに、新たな消防指令センターの整備に取り組みます。また、平成25年1月に試行運用を開始した救急ワークステーションの本格稼働に向けた整備や救急救命士の計画的な養成など、救急業務の高度化を推進します。

さらに、火災等の災害を未然に防止するため、火災予防業務体制の強化を図るとともに、市民や事業者に対する防火防災指導を推進します。

加えて、災害時における消防活動の機動力や対応力の強化するため、年次計画に基づく消防車両の更新、消防分団車庫の改修及び耐震性貯水槽の整備を行うとともに、消防署所の配置や出動範囲の適正化を図るため、消防力の適正配置調査を実施します。

1. 消防救急無線デジタル化整備事業について

平成28年5月末の消防救急無線アナログ周波数の使用期限に向け、デジタル方式へと更新する必要があり、平成25年度は共通波(全国の消防車と通信可能)の整備を引き続き行うとともに、活動波(各消防本部の専用波)の設計を実施します。

また、消防救急無線デジタル化の整備に併せて、四日市市、桑名市及び菰野町の3消防本部で共同運用が予定されている新消防指令センターの設計を行います。

2. 救急ワークステーション整備事業について

救急救命士をはじめとする救急隊員の研修及び救急出動の拠点として、市立四日市病院において試行運用している救急ワークステーションの本格稼働に向けた施設整備を行います。

3. 救急業務の高度化事業について

全ての救急車に救急救命士が1名以上乗車する体制と救急管理部門の強化を図るため、新たに4名の救急救命士を養成します。

4. 火災予防対策事業について

予防要員の配置見直しによる業務執行体制の強化を図るとともに、コンビナートの防災診断や防火対象物等の立入検査並びに火災予防運動などの啓発活動を実施します。

5. 消防車両配備・更新事業について

更新計画に基づき、老朽化した消防車両の更新を行います。平成25年度は中消防署の原液搬送車、西南出張所の消防ポンプ自動車及び富田・八郷分団の消防分団車を更新するとともに、北西出張所に配備されている高規格救急自動車を更新します。

6. 消防分団等整備事業について

地域における消防活動拠点を整備するため、老朽化した消防分団車庫の改修を行うとともに、消防分団車に消火栓等の情報を搭載したカーナビゲーションを設置します

7. 耐震性貯水槽整備事業について

大規模災害時における消防水利を確保するため、地下式耐震性貯水槽を整備します。平成25年度は大宮町及び下さざらい町地内に60トン型の耐震性貯水槽を設置します。

8. 消防力の適正配置調査事業について

消防車・救急車の現場到着時間の短縮を目指して、消防署所の配置や出動範囲の適正を図ります。平成25年度は専門機関の協力を得て全市的な消防力の適正配置調査を行います。

相 互 応 援 協 定

当該市町村だけでは対処し得ない大規模広域災害や市町村境界付近で発生した災害等に対し、応援協定を締結して、円滑有効な防ぎよ活動を実施し、災害による被害を最小限にとどめるため、本消防本部においては下記に示すとおり各市町村と応援協定を締結し、消防力の効率的な運用を図っている。

(1) 消防相互応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
三重県内消防相互応援協定	平成19年3月1日 締結	四日市市長以下県内29市町長、5消防組合管理者及び三重県知事

(2) 船舶消防に関する応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
船舶に関する業務協定	昭和46年5月24日締結	四日市市消防本部、四日市海上保安部

(3) 高速道路における消防応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
高速自動車国道近畿自動車道名古屋亀山線、名古屋神戸線、伊勢線及び尾鷲多気線にかかる消防相互応援協定	平成25年3月19日締結	四日市市・津市・伊勢市・松阪市・桑名市・鈴鹿市・亀山市・木曾岬町・朝日町・川越町・多気町・玉城町・大台町・大紀町・紀北町・松阪地区広域消防組合・紀勢地区広域消防組合・三重紀北消防組合

警

防

一 目 統 計

平成 2 4 年 中

火 災 件 数 1 3 6 件

損 害 額 1 3 5, 2 0 2 千円

出 火 率 4. 0
【平成 2 4 年 1 月 1 日 現 在 で 川 越 ・ 朝 日 を 含 む 3 3 7, 9 7 6 人 で 算 出】

建 物 焼 損 床 面 積 1, 1 2 9 m²

建 物 焼 損 表 面 積 1 9 3 m²

最 も 多 か っ た 火 災 原 因 放 火 (疑 い 含 む) 3 4 件

火 災 種 別 件 数

建 物 火 災 6 2 件

林 野 火 災 5 件

車 両 火 災 1 8 件

船 舶 火 災 2 件

そ の 他 火 災 4 9 件
(4 9 件 中 枯 草 火 災 2 0 件)

火 災 多 い 少 な い

火 災 の 多 か っ た 月 1 2 月 1 8 件

火 災 の 少 な か っ た 月 9 月 5 件

火 災 の 多 か っ た 時 間 帯 1 0 時 ~ 1 1 時、1 7 時 ~ 1 8 時、1 8 時 ~ 1 9 時 1 0 件

火 災 の 少 な か っ た 時 間 帯 7 時 ~ 8 時 0 件

火 災 の 一 番 多 か っ た 日 3 月 1 5 日、3 月 3 0 日、1 2 月 2 日 3 件

平成24年中の火災概要

1 火災の概要

平成24年中の火災は、136件で昨年の124件と比較して12件増加しました。

火災種別では、建物火災が62件と全火災の45.6%を占め、車両火災が18件で13.2%、林野火災が5件で3.7%、船舶火災が2件で1.5%、その他火災が49件で36.0%となっています。その他火災の内、枯草火災は20件でした。

火災の損害は、焼損床面積が1,129㎡、焼損棟数が73棟、損害額が約1億3,520万円、死者が2人、負傷者が24人となっています。

損害額は、前年の2億2,049万円と比較して8,529万円の減少となりました。また、焼損床面積も、前年の1,926㎡と比較して797㎡の減少となっています。

出火率（人口1万人当たりの出火件数をいう。）は、4.0で、前年より0.3の増加となりました。

月別発生状況は、12月が18件と最も多く、次いで3月が16件となっています。一方、9月が5件と最も少ない月でした。

2 出火原因

出火原因は、放火（放火の疑いを含む。以下同じ。）が34件と全体の25.0%を占め、昨年に引き続き出火原因の第1位でした。続いて、たばこが16件で11.8%、たき火が14件で10.3%、こんろが10件で7.4%となっています。

3 火災による死者

火災による死者は、2件の火災で2人発生し、前年より3人の減少となりました。

死者の発生した経過別では、逃げ遅れによるものが1人、放火自殺が1人となっています。

また、年齢別では、40歳代が1人、80歳代が1人となっています。

4 火災による負傷者

火災による負傷者は、14件の火災で24人発生し、前年より14人の増加となりました。

また、年齢別では、10歳未満が5人、10歳代が1人、20歳代が2人、30歳代が3人、40歳代が3人、50歳代が2人、60歳代が6人、70歳代が1人、80歳代が1人となっています。

負傷者の発生した経過別では、初期消火中が7人、避難中が6人、就寝中が4人、炊事中が2人、作業中が1人、救助中が1人、その他が3人となっています。

5 初期消火の実施

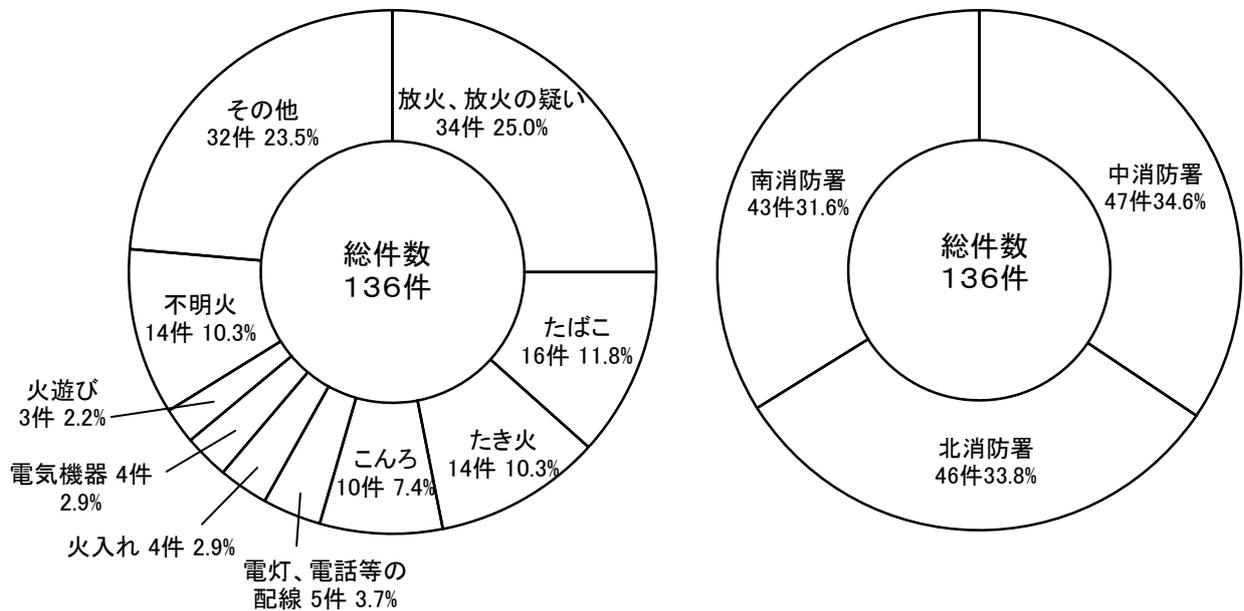
136件の火災において87件の初期消火が実施され、成功かつ効果ありは58件となっており、昨年より16件の増加となりました。

初期消火器具	消火器	水道ホース等	濡れタオル等	屋外消火栓	その他
実施件数	23	40	5	1	18
成功・効果あり	15	28	2	1	12

火 災 概 要

(平成24年中)

火 災 件 数	136 件
建 物 火 災 件 数	62 件
建 物 以 外 火 災 件 数	74 件
建 物 焼 損 床 面 積	1,129 m ²
建 物 焼 損 表 面 積	193 m ²
林 野 焼 損 面 積	14 a
損 害 額	135,202 千円
死 者	2 人
30 日 死 者	1 人
負 傷 者	24 人



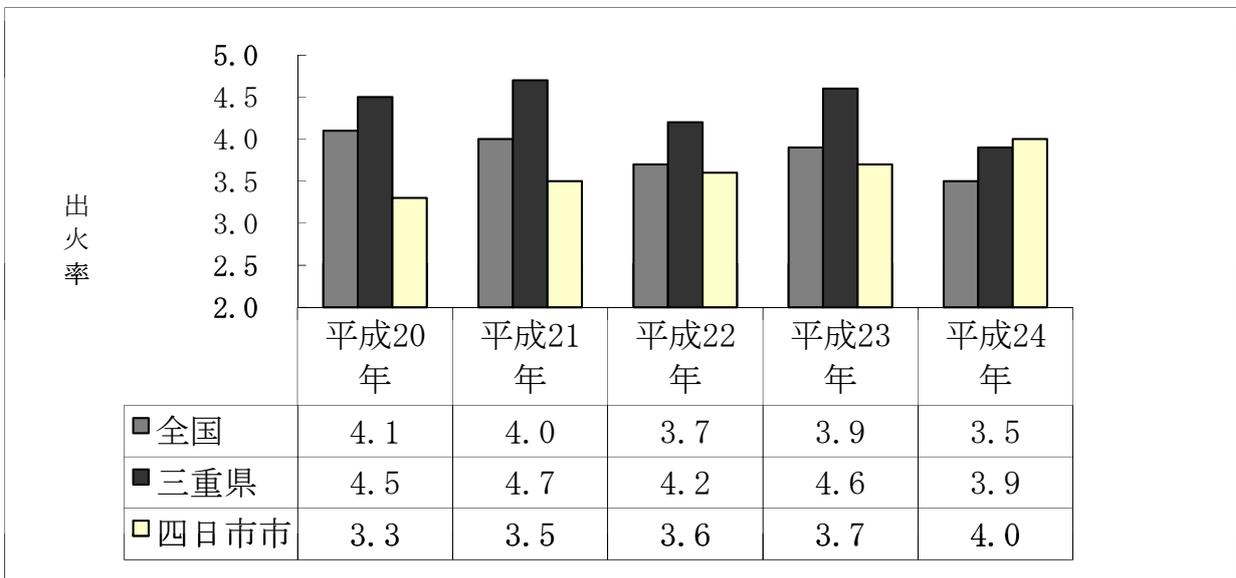
※小数点第2位を四捨五入

火 災 発 生 状 況 比 較

区 分	年 別	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
	全 国	火 災 件 数	52,394	51,139	46,620	50,006
出 火 率		4.1	4.0	3.7	3.9	3.5
一件当たり損害額 (千円)		2,069	1,821	2,183	2,256	2,030
三 重 県	火 災 件 数	829	863	771	847	714
	出 火 率	4.5	4.7	4.2	4.6	3.9
	一件当たり損害額 (千円)	2,741	1,643	1,692	2,041	2,590
四日市市 (朝日、 川越町含)	火 災 件 数	111	119	122	124	136
	出 火 率	3.3	3.5	3.6	3.7	4.0
	一件当たり損害額 (千円)	2,081	1,620	1,351	1,778	994

$$\text{出火率} = \frac{\text{出火件数}}{\text{人口}} \times 10,000$$

出 火 率 比 較



月別・曜日別・時間帯別火災発生状況

(平成24年中)

火災状況 月・曜日		出火件数							焼損棟数				焼損面積			死者負傷者		り災世帯数				り災 人員	損害額(千円)								
		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 床面積(m ²)	建物 表面積(m ²)	林野 面積(a)	死者	負傷者	計	全損	半損		小損	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
合計		136	62	5	18	2	49	73	14	3	20	36	1,129	193	14	2	24	35	6		29	89	135,202	123,744		5,957	3,934		1,008	559	
月別	1月	10	4		1		5	4			1	3	1	3			3			3	7	487	134		320				33		
	2月	14	7			2	5	11	3		2	6	90	72			2	5	1	4	9	10,534	6,031			3,934		10	559		
	3月	16	8	2	2		4	9	2	2	2	3	449	65	5	1	2	5	2	3	9	50,239	48,741		1,405			93			
	4月	12	4	1			7	6	1		2	3	44	32	1	1	9	2	1	1	4	1,522	1,502					20			
	5月	11	5		1		5	5			3	2		7			2	2		2	4	1,003	988		15						
	6月	14	5	1	2		6	5			3	2	53	2	8			3		3	8	8,729	7,416		1,302			11			
	7月	7	3		2		2	3				3					1	2		2	7	285	131		130			24			
	8月	8	2		2		4	2			1	1	8				1	1		1	4	2,421	736		1,035			650			
	9月	5	3		2			3	1			2	43				1	1	1		1	4,634	4,388		246						
	10月	9	5		2		2	5			2	3	18	11			4	5		5	19	6,899	6,376		522			1			
	11月	12	8		1		3	10	2		3	5	55				2	2		2	8	18,559	17,723		679			157			
	12月	18	8	1	3		6	10	5	1	1	3	368	1			4	1		3	9	29,890	29,578		303			9			
不明																															
合計		136	62	5	18	2	49	73	14	3	20	36	1,129	193	14	2	24	35	6		29	89	135,202	123,744		5,957	3,934		1,008	559	
曜日別	日曜日	21	7	1	2		11	8	1	1	2	4	139	2		1	4	7	1	6	13	11,539	11,068		471						
	月曜日	18	9	1	3		5	9			3	6	5	7	1		2	5		5	11	3,021	283		2,700			38			
	火曜日	10	2		1		7	2			1	1		2								1,221	943		276			2			
	水曜日	22	10		3		9	14	3	1	2	8	91	3			2	4	1	3	9	6,777	5,814		330			74	559		
	木曜日	17	7	1	4		5	7	1		1	5	47		8			2		2	6	16,847	15,997		757			93			
	金曜日	20	10	2	1	1	6	14	4		5	5	427	40	5	1	6	9	3	6	25	47,025	43,241		127	3,648		9			
	土曜日	23	14		4	1	4	16	4		6	6	317	138			10	8	1	7	25	34,185	31,811		1,296	286		792			
不明	5	3				2	3	1	1		1	103	1									14,587	14,587								
合計		136	62	5	18	2	49	73	14	3	20	36	1,129	193	14	2	24	35	6		29	89	135,202	123,744		5,957	3,934		1,008	559	
時間帯別	0~1時	3		1			2								4																
	1~2時	4	1		1		2	1			1		13				8	1		1	3	1,380	1,045		300			35			
	2~3時	2	1				1	1				1											1,851	1,840					11		
	3~4時	2	2				2	1			1		180	57									22,176	22,176							
	4~5時	5	1		2		2	1				1				1							1,207	101		1,106					
	5~6時	6	3		1		2	5	3		1	1	110	72			2	1		1	4	4,576	4,197		379						
	6~7時	1	1				1				1			2			1			1	2		9	9							
	7~8時																														
	8~9時	5	3		1		1	3			1	2	18	1			3	3		3	11	6,332	6,245		87						
	9~10時	5	2		1	1	1	2	1		1		213				2	2	1	1	5	28,130	22,608		656	3,648		659	559		
	10~11時	10	5		2		3	5			1	4	28				2	3		3	6	4,121	3,772		319			30			
	11~12時	5	2			1	2	2			1	1	5					1		1	1	335	46			286		3			
	12~13時	8	4	1			3	6	2		1	3	181		8	1		3	1	2	4	13,491	12,988		379			124			
	13~14時	9	5				4	5			1	4	1	9		1		3		3	10	214	214								
	14~15時	6	1		2		3	2			1	1	34	1			2	2	1	1	3	3,819	2,517		1,302						
	15~16時	5	4	1				6			2	4	23	31			1	3	1	2	6	388	388								
	16~17時	5	2		1		2	2	1		1		21				1					1,106	939		149			18			
	17~18時	10	3				7	3			1	2		2				2		2	9	959	959								
	18~19時	10	4		4		2	4	1		1	2	38					2		2	3	4,862	4,114		645			103			
	19~20時	7	2		1		4	2			1	1	25					2		2	9	4,328	4,027		300			1			
	20~21時	3	2				1	2			1	1		11			2	1		1	4	157	133					24			
	21~22時	5	3		2			3	1		1	1	43	5			1	2	1	1	5	4,538	4,203		335						
	22~23時	2		1			1									1															
	23~0時	2	2					2	1		1		51	1									1,136	1,136							
不明	16	9	1			6	13	3	2	1	7	145	1	1		1	2		2	4	30,087	30,087									

出火原因別火災発生概況

(平成24年中)

原因別	出火件数							焼損棟数				焼損面積			死者負傷者		り災世帯数				り災 人員	損害額(千円)										
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物	建物	林野	死者	負傷者	計	全損	半損		小損	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発		
													床面積(m ²)	表面積(m ²)	面積(a)																	
合計	136	62	5	18	2		49	73	14	3	20	36	1,129	193	14	2	24	35	6		29	89	135,202	123,744		5,957	3,934		1,008	559		
たばこ	16	5		3			8	6	1	1	1	3	77	5				4	2		2	5	7,621	7,030		458			133			
こんろ	10	9					1	9			3	6	29	21				8			8	25	3,723	3,723								
かまど																																
風呂かまど																																
炉																																
焼却炉																																
ストーブ	1	1						1				1						1			1	2	2	2								
こたつ																																
ボイラー																																
煙突・煙道																																
排気管	2			2																			1,515			1,515						
電気機器	4	3		1				3			1	2	25				2			2	5	5,427	4,121		656				650			
電気装置	2			2																			498			498						
電灯・電話等の配線	5	4					1	6	2		4		93	75			3	1		2	7	7,475	7,451						24			
内燃機関	1			1																			320			320						
配線器具	1			1																			379			379						
火あそび	3	1					2	1			1		18				2			2	9	6,243	6,243									
マッチ・ライター	1	1						1			1		13				1			1	3	1,045	1,045									
たき火	14	2	1				11	2	2				26		8								427	389		17			21			
溶接機・切断機	2	2						2				2											70	70								
灯火	2	2						2				2					1	2		2	2	129	129									
衝突の火花																																
取灰																																
火入れ	4	1					3	3	1			2	15				1			1	1	53	53									
放火	6	1					5	1				1				1	2															
放火の疑い	28	12	3	3			10	14	6		4	4	344	56	6			2		2	7	30,605	28,649		1,785			171				
その他	20	9	1	4	1		5	11	1		1	9	224	32			2	4	2	2	11	24,582	23,496		232	286		9	559			
不明	14	9		1	1		3	11	1	2	4	4	265	4		1	2	5	1	4	12	45,088	41,343		97	3,648						

過去10年間 年別主な火災原因

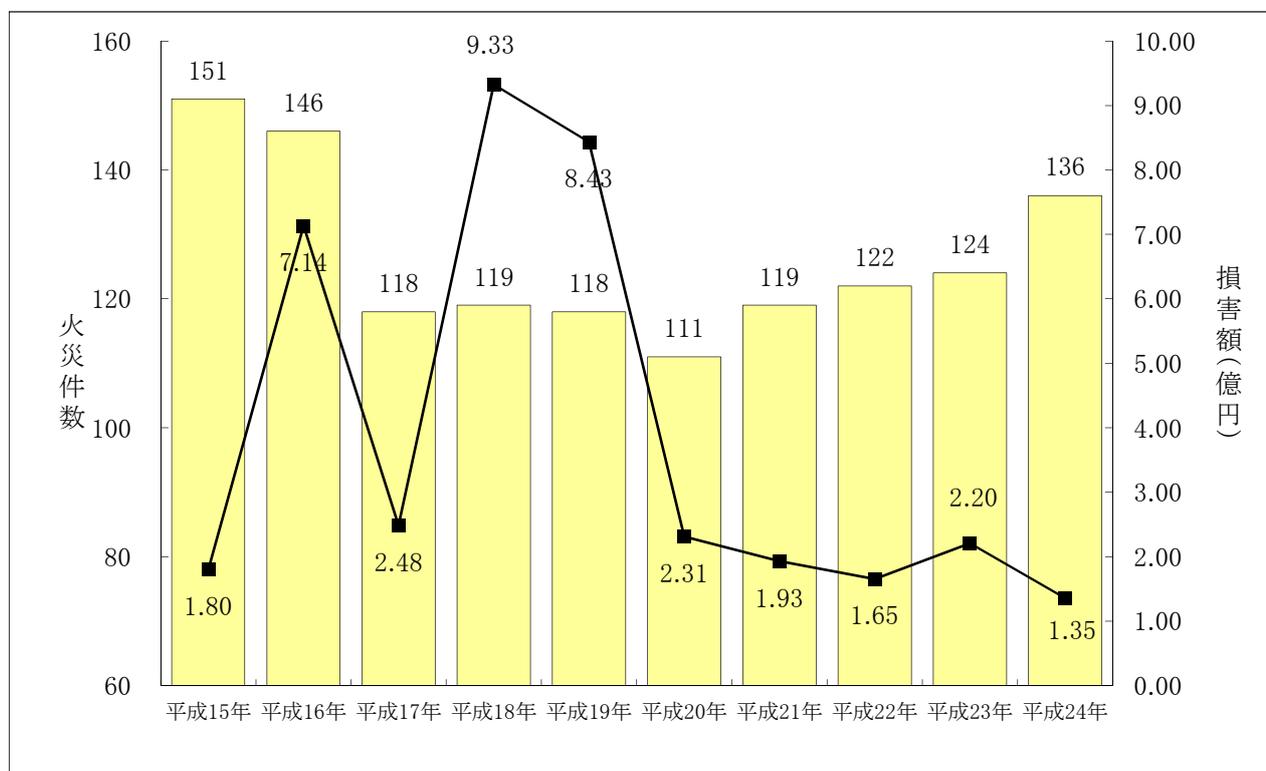
年 別	火災件数	主 な 火 災 原 因		
平成15年	151件	放 火 (放火の疑い含む) 47件	た き 火 19件	た ば こ 13件
平成16年	146件	放 火 (放火の疑い含む) 42件	た き 火 17件	た ば こ 17件
平成17年	118件	放 火 (放火の疑い含む) 34件	電 気 機 器 9件	た ば こ 9件
平成18年	119件	放 火 (放火の疑い含む) 32件	こ ん ろ 10件	た ば こ 10件
平成19年	118件	放 火 (放火の疑い含む) 24件	た ば こ 15件	こ ん ろ 11件
平成20年	111件	放 火 (放火の疑い含む) 25件	こ ん ろ 12件	た ば こ 10件
平成21年	119件	放 火 (放火の疑い含む) 29件	こ ん ろ 13件	た ば こ 8件
平成22年	122件	放 火 (放火の疑い含む) 21件	こ ん ろ 12件	た ば こ 12件
平成23年	124件	放 火 (放火の疑い含む) 43件	こ ん ろ 8件	た ば こ 8件
平成24年	136件	放 火 (放火の疑い含む) 34件	た ば こ 16件	た き 火 14件

過去10年間の火災発生状況

区分 年別	火災件数						損害額 (千円)	損害面積		死傷者	
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他		建物焼損 表面積(m ²)	林野 (a)	死者	負傷者
平成15年	151	74	9	28	0	40	179,937	1,835 <757>	341	8	22
平成16年	146	68	6	28	0	44	713,516	6,823 <396>	60	8	19
平成17年	118	61	1	19	0	37	248,221	2,186 <265>	1	6	26
平成18年	119	77	2	13	0	27	932,595	4,534 <270>	71	8	23
平成19年	118	76	2	19	0	21	843,475	4,280 <608>	6	6	16
平成20年	111	67	0	17	1	26	231,055	1,598 <147>	0	13	15
平成21年	119	63	5	15	0	36	192,819	2,287 <451>	21	7	15
平成22年	122	75	5	13	0	29	164,908	2,265 <272>	10	8	23
平成23年	124	61	3	16	0	44	220,489	1,926 <706>	70	5	10
平成24年	136	62	5	18	2	49	135,202	1,129 <193>	14	2	24
平均	126	68	4	19	0	35	386,222	2,886 <407>	59	7	19

平均の小数点以下は四捨五入

※< >は建物焼損表面積



海上・沿岸防災等（IBK委託状況）

（平成24年中）

種 別		月 別	合 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
災 害 出 動	火 災		0												
	水難救助		0												
	流出油		0												
	その他		0												
警 防	警 備		1								1				
	警 戒		0												
	警防調査		0												
	その他		0												
予 防	広 報		0												
	予防調査		0												
	その他		0												
訓 練	災害防御		0												
	航 海		0												
	操 船		0												
	水難救助訓練		12	1	1				3				3	3	1
	その他		1	1											
合 計			14	2	1	0	0	0	3	0	1	0	3	3	1

火災・救助以外の消防車両の出動

平成24年中

分類	件数	説明
交通支援	187	国道1号、23号等通行量の多い道路における救急支援のための出動
救急支援	1053	消防隊・救助隊による上記以外の救急の支援出動
たき火	47	たき火等の怪煙による調査警戒のための出動
交通油漏れ	49	交通事故等により、人的損害を生じ、又はそのまま放置すれば爆発、火災若しくは人的被害を生じる恐れがある危険物が、道路上に漏れ出たものによる出動
その他油漏	17	人的損害を生じ、又はそのまま放置すれば爆発、火災若しくは人的被害を生じる恐れがある危険物が、池、湖、河川、海等に流れ出たものによる出動
ガス漏れ	3	人的損害を生じ、又はそのまま放置すれば爆発、火災若しくは人的被害を生じる恐れがあるガス又は毒劇物等の漏洩による出動
機器発報	76	直接通報、火災通報、即時通報及び自動火災報知設備の発報等による出動で非火災であったもの
虚報	3	出動した結果、いたずら等であったもの
誤報	27	出動した結果、誤報、誤認であったもの
非火災事故	55	火災調査の結果、火災に至らないもの
捜索	0	山岳遭難、水難事故に伴う捜索等による出動
その他	62	「警戒」から「捜索」までに掲げる種別以外による出動
総計	1579	

消 防 水 利 状 況

(平成25年4月1日)

	合 計	消 火 栓						防 火 水 槽						そ の 他						
		小計	工業用水		上水道		小計	100	60	40	100	40	40	小計	井戸	プールの	池沼	河川	海運河	
			双口	単口	双口	単口		m3耐震	m3耐震	m3耐震	m3以上	m3以上	m3未満							
合 計	7419	6586	90	98	63	6335	599	39	39	177	8	226	110	234	52	74	14	76	18	
中消防署管内	共 同	152	138	0	1	4	133	9	4	0	0	0	4	1	5	3	2	0	0	0
	同 和	14	12	0	0	1	11	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	中 央	60	52	0	0	1	51	4	2	0	0	0	0	2	4	4	0	0	0	0
	港	130	116	5	4	2	105	6	2	0	0	1	1	2	8	0	0	0	0	8
	浜 田	268	246	4	1	6	235	16	5	1	4	1	3	2	6	3	2	0	1	0
	橋 北	148	127	1	5	4	117	12	3	0	2	0	4	3	9	3	3	0	3	0
	海 蔵	215	200	1	0	0	199	10	1	1	3	0	4	1	5	0	2	0	3	0
	常 磐	304	274	12	5	2	255	18	0	3	4	0	10	1	12	2	3	0	7	0
	川 島	204	183	0	0	2	181	18	0	2	1	0	13	2	3	0	1	1	1	0
	神 前	210	190	0	0	1	189	17	0	2	4	1	6	4	3	0	3	0	0	0
	桜	289	263	0	0	0	263	18	0	1	6	0	11	0	8	0	3	0	5	0
	県	255	206	0	0	1	205	41	0	2	17	0	16	6	8	0	2	0	6	0
	三 重	429	372	6	5	6	355	45	0	0	25	0	13	7	12	0	6	0	6	0
小 計	2678	2379	29	21	30	2299	216	17	12	66	3	87	31	83	15	27	1	32	8	
北消防署管内	羽 津	300	280	4	17	9	250	12	2	1	2	0	4	3	8	2	3	1	1	1
	富 田	245	218	4	2	0	212	10	2	1	4	1	1	1	17	9	3	0	3	2
	富洲原	246	215	6	1	0	208	15	3	0	8	0	3	1	16	7	2	0	0	7
	大矢知	299	276	0	1	3	272	17	0	2	8	0	3	4	6	3	2	1	0	0
	八 郷	297	256	3	3	0	250	38	0	1	12	0	18	7	3	0	3	0	0	0
	下 野	210	188	1	0	0	187	19	0	1	10	0	3	5	3	0	2	0	1	0
	保 々	258	220	0	0	0	220	34	0	0	5	1	18	10	4	0	2	1	1	0
	朝 日	284	232	0	13	7	212	49	0	0	7	0	22	20	3	0	3	0	0	0
	川 越	532	498	2	6	1	489	22	0	0	18	0	4	0	12	2	4	0	6	0
	小 計	2671	2383	20	43	20	2300	216	7	6	74	2	76	51	72	23	24	3	12	10
南消防署管内	塩 浜	245	215	9	14	3	189	16	6	1	3	1	4	1	14	8	3	0	3	0
	日 永	300	269	16	5	7	241	14	3	0	3	1	5	2	17	5	3	1	8	0
	四 郷	355	327	0	4	2	321	16	2	1	2	0	7	4	12	0	6	0	6	0
	内 部	333	299	0	2	1	296	24	0	3	4	0	10	7	10	1	3	1	5	0
	河原田	154	129	5	5	0	119	18	1	0	6	0	10	1	7	0	3	0	4	0
	小山田	218	180	0	0	0	180	27	0	0	5	0	15	7	11	0	2	5	4	0
	水 沢	163	142	0	0	0	142	15	0	0	4	1	6	4	6	0	1	3	2	0
	楠	302	263	11	4	0	248	37	3	16	10	0	6	2	2	0	2	0	0	0
	小 計	2070	1824	41	34	13	1736	167	15	21	37	3	63	28	79	14	23	10	32	0

開発行為に関する事前協議等について

概要

本市では、地域の計画的な発展と良好な市街地の形成を図るため、都市計画法（昭和43年法律第100号）の規定に基づき、良質な開発行為等を誘導し、もって住みよいまちづくりの実現と地域住民の健全な生活環境を保全することを目的として、開発許可等に関し必要な事項について四日市市開発許可等に関する条例を定めています。

消防本部としては、四日市市開発許可等に関する条例に基づき、万一の災害が発生しても、安全かつ円滑な災害防ぎょ活動が実施できるよう、消防活動上必要な施設の設置等、宅地開発行為に関し必要な事項の同意、協議について審査、指導をしています。

\		平成23年度	平成24年度
審査件数		72件	105件
指導 内容	水利関係	4件	10件
	消防活動用空地	0件	3件
	その他	0件	0件
	指導件数合計	4件	13件

緊急消防援助隊の派遣体制

緊急消防援助隊は、平成7年1月に発生した兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）の教訓を踏まえて、平成7年6月に創設されています。各地で大規模災害が発生した場合に、その被災都道府県内の消防力だけでは対応できないときに、緊急消防援助隊に登録している他の都道府県の市町村消防本部から、被災地に応援出動します。三重県隊のうち本市の派遣体制は次のとおりです。

		隊 名 等	人員	派遣車両等	
派 遣 隊	県隊長		1	本部51号	
	指揮隊	指揮隊長	1		
		指揮隊員	3		
	消火隊（タンク）1台目		4	北6号	
	消火隊（タンク）2台目		4	南15号	
	消火隊（タンク）3台目		4	西14号	
	救助隊（Ⅲ型）		5	中41号	
	特殊災害 部隊	大規模 危険物	大型高所放水車	2	南34号
			大型化学車	4	南10号
			原液搬送車	2	中74号
		毒劇物対応		※4	※南10号
	救急隊（高規格救急車）1台目		3	救急1号	
	救急隊（高規格救急車）2台目		3	救急4号	
	後方支援隊		2	中央支援車	

※登録隊数等 12車両42名（重複除く 11車両38名） 平成25年4月1日現在

四日市市消防支援隊の活動状況

四日市市消防支援隊とは、大規模災害の発生時に迅速な市民対応と安全な市民生活を確保するため、四日市市消防本部の退職者が有する消防及び防災の知識、技術、経験を活かし、消防本部及び消防署等が行なう消防、防災活動を支援する制度です。

【 活動内容 】

- (1) 消防本部、消防署及び消防分署の広報活動
 - ア 庁舎、資機材等の管理
 - イ 市民への機材貸出し（のこぎり、パール等の軽量機材）
 - ウ 避難者の応急手当
 - エ 避難者の広域避難地への案内
 - オ 支援物資の管理
- (2) 情報収集
 - ア 自宅周辺の被害状況の報告
 - イ 参集途上の道路、危険箇所及び建築物等の被害状況に係る報告
 - ウ 消防署等における住民からの情報収集
- (3) 消防本部、消防署及び消防分署が行なう災害活動の支援
 - ア 広域応援隊の誘導
 - イ 活動中の消防署員等の食糧及び飲料水等の供給
- (4) 地域防災活動の支援
 - ア 地域の防災リーダーとしての地元自治会が実施する地域防災活動等の支援

【 四日市市消防支援隊登録状況 】

平成25年4月1日現在 96名

防災教育センター利用状況

【概要】

平成9年4月に四日市市北消防署に併設された防災教育センターは、市民の皆様方に防災に関する知識や技術を高め、その行動を楽しみながら体験学習をして頂くことを目的として開設しました。

1階の防災展示体験室には、種々な体験資材を揃え楽しんで学習ができる施設が備えてあり、2階の防災センターには、視聴覚設備を利用して防火・防災に関する種々なDVDやビデオテープを活用し、防災意識を高めて頂いたり、また、消防防災に関する会議等に利用して頂いております。今後も、多くの市民の方々に防災意識を高めて頂くよう利用の促進に努めていきたいと考えております。

24年度		防災展示体験室												防災センター		
月別	区分	消防施設見学		自主防 災隊	消防関係	自治会	会社 関係	官公庁	他都市 視察	家族		個別		計	計	累計
		保・幼稚園	小中学校							子供	大人	子供	大人			
		4月	件数						6			1				7
	人員						35			3	3			41	107	107
5月	件数	2					1			6				9	7	14
	人員	120					9			5	11			145	129	236
6月	件数		4				1			3				8	15	29
	人員		19				11			3	4			37	147	383
7月	件数					3	3			1		2		9	8	37
	人員					54	26			2	1	7	2	92	127	510
8月	件数						5					2		7	5	42
	人員						32					48	10	90	95	605
9月	件数	1	2				2			1				6	10	52
	人員	61	37				16			1	1			116	85	690
10月	件数	2	1				3							6	16	68
	人員	123	11				32							166	426	1,116
11月	件数	6	5				2			3				16	22	90
	人員	260	114				23			6	6			409	####	3,244
12月	件数	5	1				2			17		4		29	13	103
	人員	342	116				26			31	15		8	538	####	7,702
1月	件数		1				1			1				3	6	109
	人員		4				11			2	2			19	105	7,807
2月	件数	2			1							2		5	7	116
	人員	118			19								3	140	287	8,094
3月	件数						1							1	9	125
	人員						17							17	136	8,230
合計	件数	18	14	0	1	3	27	0	0	33		10		106		
	人員	1024	301	0	19	54	238	0	0	53	43	55	23	1810		

※防災展示、体験者数月平均

151 人

防災センター月平均利用者

686 人

四日市市防災指導員制度

阪神・淡路大震災は、私たちに数多くの防災対策に関する教訓を残しましたが、その教訓のひとつが高齢者等の災害時要援護者の人たちへの防火・防災対策です。

そこで、四日市市消防本部では平成8年度から地域に密着したきめ細やかな、災害に強いまちづくりを実施するために防災指導員制度を創設しました。また、平成23年3月に発生した関東東北大震災はその重要性を大きくクローズアップさせました。

指導員は、防災に関し豊富な知識と経験を有した人を防災指導員として任命し、ひとり暮らしの高齢者宅などの防災診断として家の中の危険な箇所や地震が発生した場合における注意点などを指導しています。

防災診断は、平成8年からスタートし、平成23年度までに全市域の高齢者宅を5巡実施しております。

また、平成18、19年度には、特別防災診断して住宅用火災警報器の設置を完了させ、平成23年度から6巡目をスタートさせ、高齢者の安全、安心に努めています。

防災診断実施状況

平成24年度

診断対象区分		第1～4回 (H8.6～H19.3)	特別 (H19.4～H20.3)	第5回 (H20.4～H23.3)	第6回 (H23年度)	第6回 (H24年度)	総合計
対象世帯数	合計	13,621	3,256	5,766	1,567	1,918	26,128
ひとり暮らし高齢者		12,934	3,092	5,462	1,470	1,850	24,808
寝たきりの高齢者世帯等		475	136	218	59	36	924
障害者等		212	28	86	38	32	396
診断世帯数	合計	10,919	3,235	3,752	743	907	19,556
ひとり暮らし高齢者		10,306	3,071	3,536	694	863	18,470
寝たきりの高齢者世帯等		419	136	148	25	24	752
障害者等		194	28	68	24	20	334

防災指導員による指導状況

指導内容		件数
防火管理	暖房器具の性能、設置場所及び取扱等により問題があり火災予防上危険である。	
	調理器具の性能、設置場所及び取扱等により問題があり火災予防上危険である。	
	風呂釜の性能、設置場所及び取扱等により問題があり火災予防上危険である。	
	たばこの始末及びマッチ、ライター、ロウソク等の火気の管理が適切でない。	2
	ガス器具、ガスボンベ及びガス警報機等管理及び付近の整理が適切でない。	
	屋内に灯油等の危険物が放置され、その管理が適切でない。	
	電気配線が適切でない。	
	屋内の整理整頓が必要である。	11
住宅用火災警報器が未設置	151	
地震対策	建物の構造等に問題があり、地震が発生した場合に危険である。	
	就寝場所に家具があるため、地震が発生した場合、家具が転倒し負傷する危険がある。	86
	地震や風水害の発生により避難の必要があるときに、自力で避難することができない。	
	燃焼器具等の燃料タンクが屋内で地震が発生した場合、転倒の危険がある。	
指導件数合計		250

防火・防災教室の経緯と現状

平成25年3月31日

<p>1. 防災教育の目的</p>	<p>阪神・淡路大震災を教訓とした、「災害に強い人づくり」事業として、小・中学校の防災教育をとおり、災害時における行動等について理解を深め、防災意識の高揚を図ります。</p>
<p>2. 活動実績</p> <p>(1)防災教室 (原則として中学1年生を対象として1学期に実施)</p>	<p>管内の中学1年生を対象として平成8年度からモデル校を指定して試行的に実施。</p> <p>平成13年度から管内の中学校（私立中を含む）28校で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度実施校（28校・3,327人） ・平成21年度実施校（28校・3,315人） ・平成22年度実施校（28校・3,472人） ・平成23年度実施校（27校・3,468人） ・平成24年度実施校（28校・3,494人）
<p>(2)防火教室 (原則として小学5年生を対象として2学期に実施)</p>	<p>管内の小学5年生（一部の小学校では4年生）を対象として昭和56年度より管内の小学校を対象として実施。</p> <p>平成13年度から管内の小学校（私立小を含む）45校で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度実施校（45校・3,708人） ・平成21年度実施校（45校・3,488人） ・平成22年度実施校（45校・3,606人） ・平成23年度実施校（45校・3,982人） ・平成24年度実施校（45校・3,501人）
<p>3. 標準カリキュラム</p> <p>(1)防災教室（中学生） (全体3時限、分割有)</p>	<p>(ア) 避難訓練及び教諭の講話（学校主体）</p> <p>(イ) スライド等を活用した防災講話 (阪神淡路大震災、新潟中越地震、東海豪雨等)</p> <p>(ウ) 応急手当の実技指導（止血、固定、搬送法）等</p> <p>(エ) 防災啓発車による地震体験</p>
<p>(2)防火教室（小学生） (全体2時限、連続)</p>	<p>(ア) テキスト「みんなで防火」を用いた防火講話</p> <p>(イ) 体験実技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水消火器による模擬消火体験 ・スモークマシンによる煙体験 ・天ぷら油火災シミュレーション

救急 ・ 救助

一 目 統 計

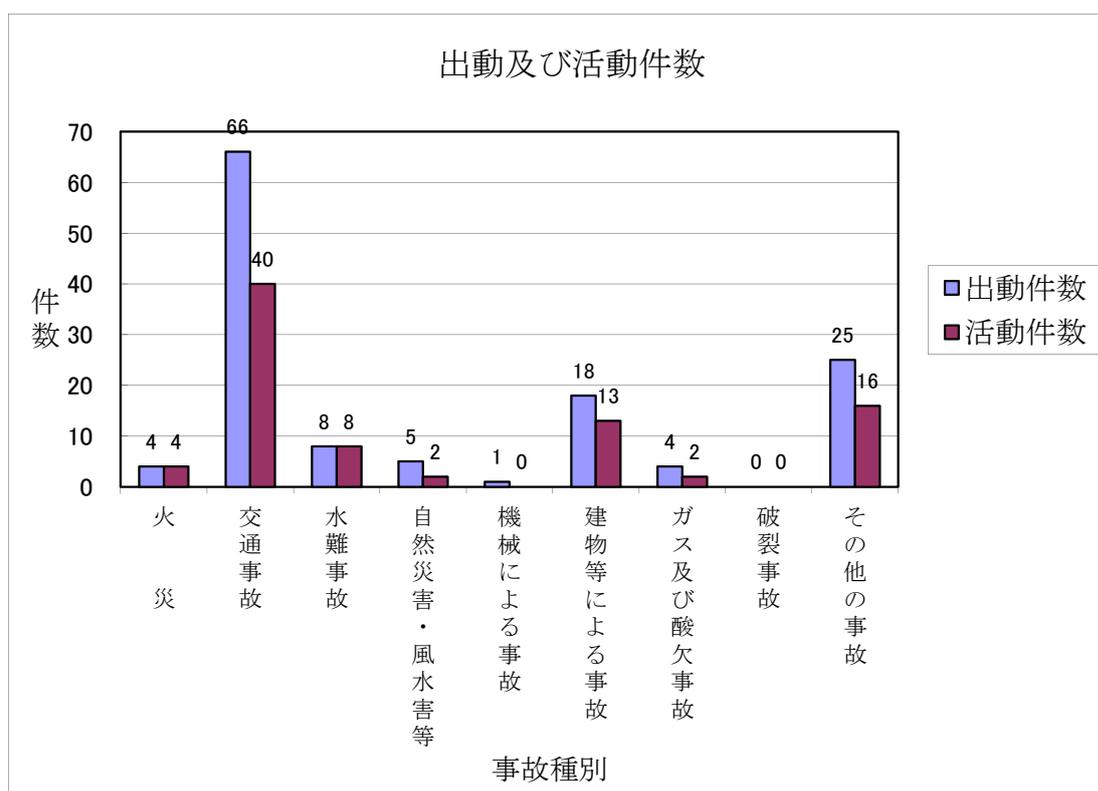
平 成 2 4 年 中

救 助 出 動 件 数		1 3 1 件
	(うち 高度救助隊 出動件数	9 5 件)
救 助 活 動 件 数		8 5 件
	(うち 高度救助隊 活動件数	4 5 件)
活 動 割 合		6 4 . 9 %
出 動 延 べ 隊 数		5 2 3 隊
救 助 人 員		8 8 人
1 日あたりの平均出動件数		0 . 3 6 件
活動1回あたりの平均救助人員		1 . 0 4 人
出 動 件 数 の 多 か っ た 月	7 月	1 7 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 月	5 月	5 件
出 動 件 数 の 多 か っ た 曜 日	日、月、金曜日	2 2 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 曜 日	土曜日	1 5 件
出 動 件 数 の 多 か っ た 地 区	日永地区	1 2 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 地 区	同和、水沢地区	0 件
出 動 件 数 の 多 か っ た 時 間 帯	17時～18時、18時～19時	1 4 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 時 間 帯	2 3 時～2 4 時	0 件
出 動 の 多 か っ た 事 故 種 別	交通	6 6 件
出 動 件 数 の 1 番 多 っ た 日	9 月 3 0 日	5 件

救出・救助活動状況

(平成24年中)

	火災	交通事故	水難事故	自然災害・風水害等	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
出動件数	4	66	8	5	1	18	4	0	25	131
出動隊数	44	271	56	8	1	42	23	0	75	520
出動延べ人員	239	988	177	29	4	146	79	0	277	1,939
活動件数	4	40	8	2	0	13	2	0	16	85
救助人員	2	46	6	4	0	12	2	0	16	88



水難救助隊の災害出動概要

四日市港内、河川などで発生する乗用車の転落、レジャー中の事故等、早期に救助の必要がある水難救助事案に対応するため、平成15年4月に「水難救助隊」が発足し、平成25年4月1日現在、21名の水難救助隊員で活動しています。

水難救助隊は、水中での困難な救助活動を円滑に遂行するため、「潜水」という特殊技能を身に付け、更なる水難救助の知識・技術の向上を目指して日々錬成訓練を実施しています。

水難救助隊の出動回数及び訓練・研修回数

年 別	月別 種別	合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
20 年 中	災害出動 水難救助	5			1			1		2		1		
	水難訓練	48	2	2	2	1	2	8	5	7	6	5	6	2
	新人研修	26	2	2	3		1	2	2	1	4	4	3	2
21 年 中	災害出動 水難救助	5					1	1			1			2
	水難訓練	29	2	2	2		2	2	2	4	3	3	4	3
	新人研修	27	2	2	2			4	2	3	1	4	5	2
22 年 中	災害出動 水難救助	8		2		1		1		2		1	1	
	水難訓練	30	2	1	2		3	3	5	3	4	4	2	1
	新人研修	18						3	2	2	2	2	5	2
23 年 中	災害出動 水難救助	5		1		1	1			2				
	水難訓練	37	1	2	2		3	3	5	6	4	7	3	1
	新人研修	23	2	1	1			5		2	2	4	4	2
24 年 中	災害出動 水難救助	7	1	1					2	1		2		
	水難訓練	41	1	1	3	3	3	3	7	5	4	8	3	1
	新人研修	28	2	2	2			5	3	3	3	2	4	2

一 目 統 計

平成24年中

救 急 出 動 件 数		14,088件
搬 送 件 数		12,508件
不 搬 送 件 数		1,580件
搬 送 人 員		12,695人
	男	6,764人
	女	5,931人
一日あたりの平均出動件数		38.5件
一日あたりの平均搬送人員		34.7人
救 急 告 示 医 療 機 関 数		12施設
	四日市市消防本部管内 (四日市市、三重郡川越町、朝日町)	
出 動 件 数 の 多 か っ た 月	7月	1,304件
出 動 件 数 の 少 な か っ た 月	6月	1,016件
出 動 件 数 の 多 か っ た 曜 日	月曜日	2,200件
出 動 件 数 の 少 な か っ た 曜 日	水曜日	1,896件
出 動 件 数 の 多 か っ た 地 区	常磐地区	1,138件
出 動 件 数 の 少 な か っ た 地 区	同和地区	30件
出 動 件 数 の 多 か っ た 時 間 帯	9時～10時	908件
出 動 件 数 の 少 な か っ た 時 間 帯	3時～4時	232件
出 動 の 多 か っ た 事 故 種 別	急 病	9,122件
出 動 件 数 の 一 番 多 か っ た 日	2月3日	64件
出 動 件 数 の 一 番 少 な か っ た 日	2月1日,5月24日	21件

平成24年中の救急業務の概要

平成24年中の救急出動件数は14,088件で、前年に比べ521件の増加で過去最多となりました。また、搬送人員は12,695人で前年と比べ256人の増加となりました。

救急出動件数を事故種別構成比で見ると、「急病」が9,122件(64.8%)で最も多く、続いて「一般負傷」が1,753件(12.4%)、「交通事故」が1,645件(11.7%)、「転院搬送」が969件(6.9%)となりました。「急病」は昭和47年以降から毎年連続して事故種別のトップを占めております。

救急車の利用状況については、管内の住民約24人に1人が救急車を利用したことになり、1日あたり、38.5件出動したことになります。

以下に救急搬送した傷病者について、『年齢層別』『傷病程度別』『地区別』などの観点から眺めた特徴的な傾向について示します。

『年齢層別』の傾向については、前年と比較して「高齢者」「成人」「少年」「新生児」は増加していますが、「乳幼児」はやや減少しています。「高齢者」の搬送比率は52.2%となっており、年々増加しています。

『傷病程度別』の傾向については、「軽症」の割合が一番多く、その比率は61.6%となっています。前年と比較し、「中等症」の比率は増加していますが、「死亡」と「重症」の比率は減少しています。

『地区別』の傾向については、「中部」「常磐」「日永」「三重」「四郷」「浜田」の各地区が救急需要の多い6地区となっています。これらの地区は人口も多い地区であることから必然的に救急需要が多くなっています。

このように、増加し続ける救急需要に対して、本市では、3消防署に5台の救急車を、また中央地域、西部地域、北西地域、西南地域と消防事務を受託している朝日町・川越町地域にそれぞれ1台ずつ、計10台の救急車を配置しています。

今後も都市整備や救急需要の動向などを踏まえて、署所配置などの検討を行いながら、“5分救急”施策の実現を目指します。

◎ 現場到着時間(出動指令から現場到着までの平均時間)

年 中	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
現場到着時間	5分54秒	5分42秒	5分45秒	5分42秒	5分49秒

◎ 医療機関到着時間(出動指令から医療機関到着までの平均時間)

年 中	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
医療機関到着時間	27分06秒	27分42秒	28分12秒	28分42秒	29分27秒

また、全ての救急車に少なくとも1名以上の救急救命士を配置できるよう、救急救命士の養成を継続していきます。

加えて、平成24年12月現在、市内の公的施設にAED(自動体外式除細動器)が255台配備され、さらに一般事業所等への設置も進んでおり、それらの事業所等で勤務する職員に対するAEDの取扱いを含めた応急手当講習を計画的に進めていきます。

◎ 救急救命士による特定行為の処置実績

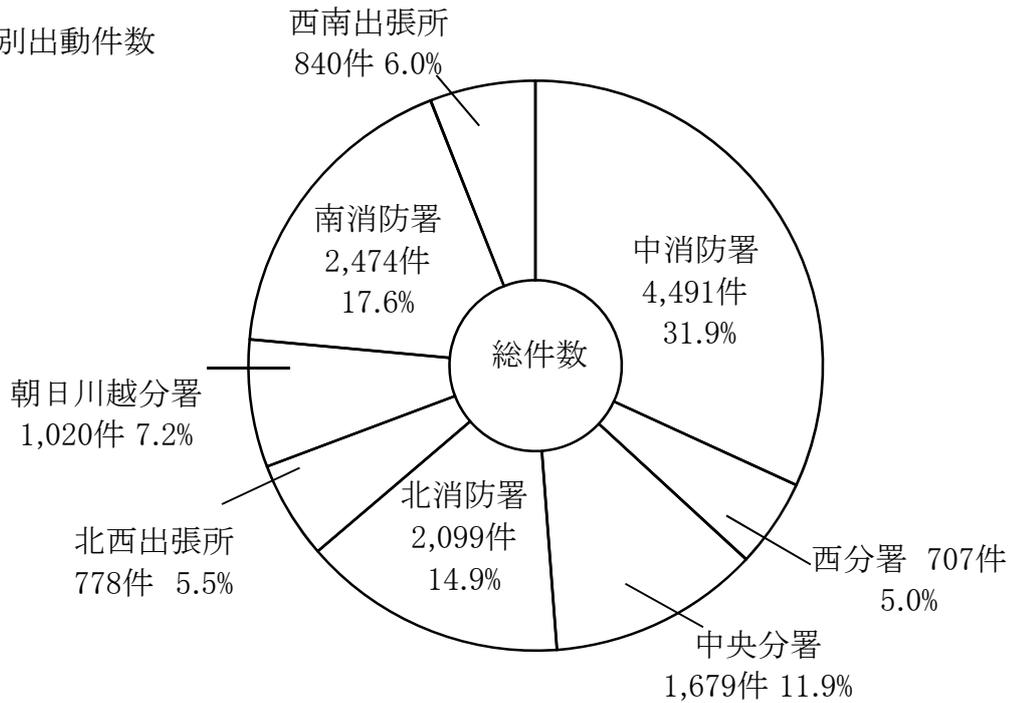
処置内容		気道確保	静脈路確保	薬剤投与
処 置 実 績	平成20年中	42	61	12
	平成21年中	39	57	9
	平成22年中	61	64	20
	平成23年中	66	127	22
	平成24年中	44	92	27

救急概要

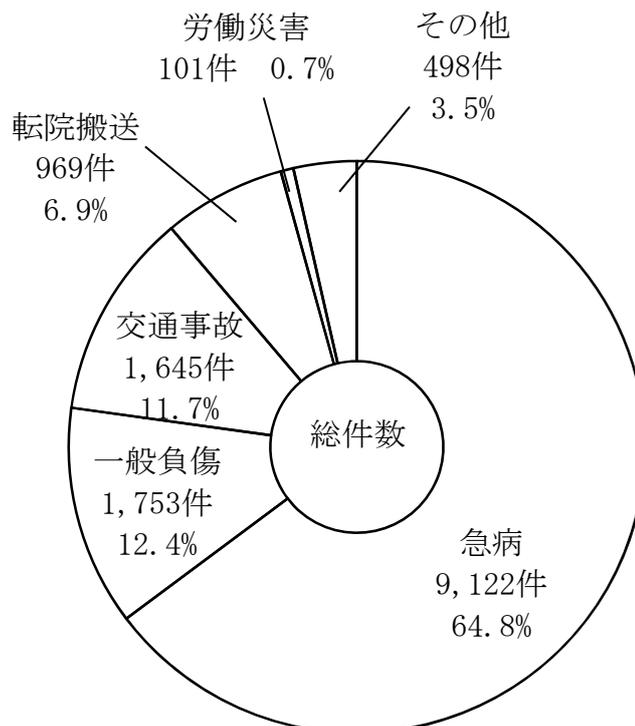
(平成24年中)

区分	件数・人員	一日平均
救急出動件数	14,088件	38.5件
搬送件数	12,508件	34.2件
搬送人員	12,695人	34.7人

救急隊別出動件数



事故別出動件数



救急発生状況比較

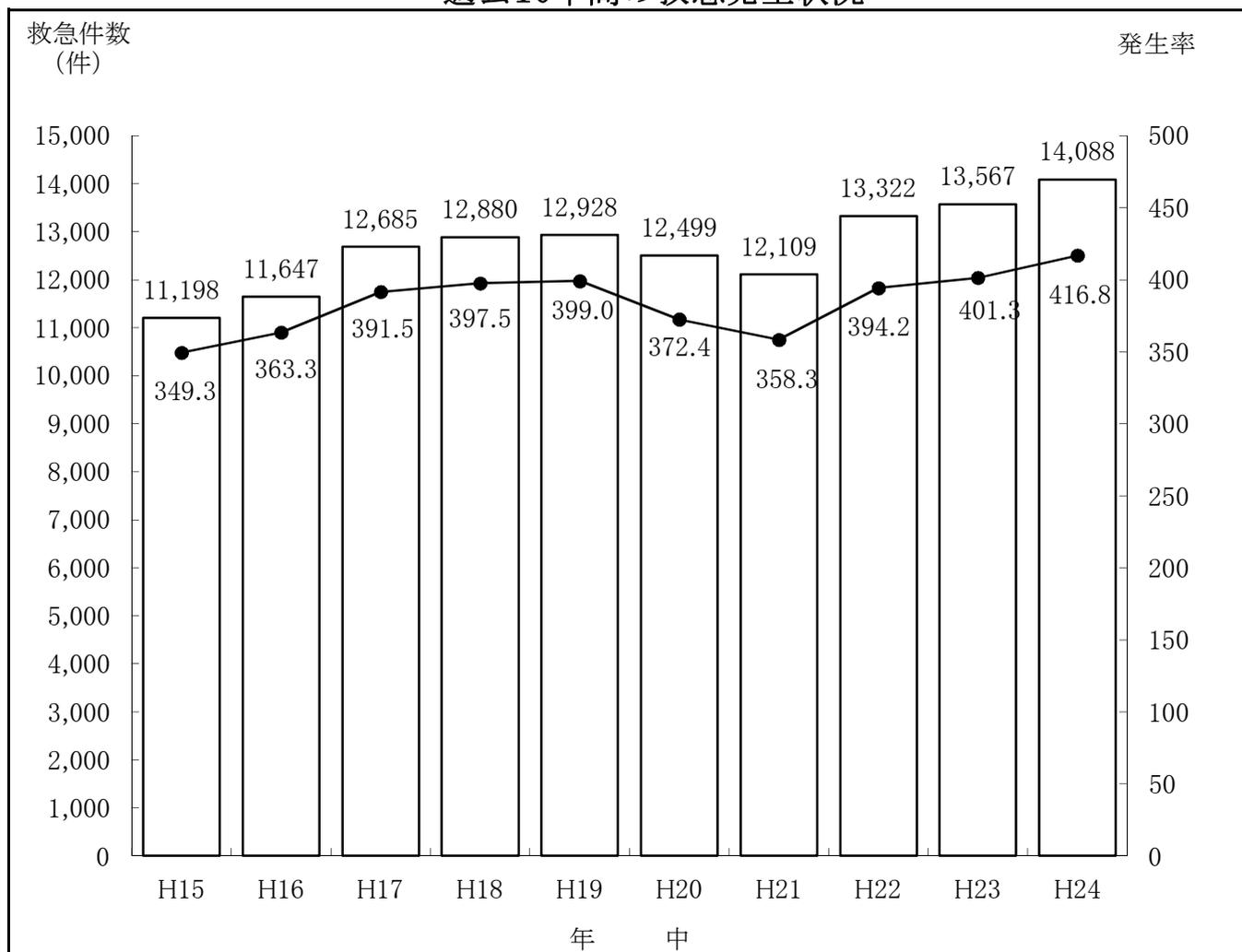
区 分		年 別				
		平成20年中	平成21年中	平成22年中	平成23年中	平成24年中
全 国	救急件数	5,097,094件	5,122,226件	5,463,682件	5,707,655件	5,802,455件
	発生率	399.3件	401.2件	427.0件	446.1件	453.5件
三重県	救急件数	72,553件	73,963件	78,971件	83,223件	87,076件
	発生率	388.6件	396.2件	425.8件	448.7件	473.1件
四日市市 (朝日、川越 町含)	救急件数	12,499件	12,109件	13,322件	13,567件	14,088件
	発生率	372.4件	358.3件	394.2件	401.3件	416.8件

※救急自動車による救急出動件数

$$\text{発生率} = \frac{\text{救急件数}}{\text{人 口}} \times 10,000$$

(人口1万人あたりの発生件数)

過去10年間の救急発生状況



平成24年

地区別救急出場状況

地区別		区分		出場件数		搬送件数		搬送人員	
		合計							
		14,088 件	100 %	12,508 件	100 %	12,695 件	100 %		
中 消 防 署	小計	6,164	43.75	5,438	43.48	5,512	43.42		
	共同	758	5.38	595	4.76	599	4.72		
	同和	30	0.21	24	0.19	24	0.19		
	中央	146	1.04	129	1.03	131	1.03		
	港	171	1.21	154	1.23	155	1.22		
	浜田	769	5.46	653	5.22	661	5.21		
	橋北	329	2.34	298	2.38	300	2.36		
	海蔵	511	3.63	443	3.54	455	3.58		
	常磐	1,138	8.08	1,025	8.19	1,029	8.11		
	川島	356	2.53	326	2.61	328	2.58		
	神前	296	2.10	275	2.20	282	2.22		
	桜	550	3.90	512	4.09	526	4.14		
	県	210	1.49	188	1.50	193	1.52		
	三重	900	6.39	816	6.52	829	6.53		
北 消 防 署	小計	3,165	22.47	2,845	22.75	2,872	22.62		
	羽津	671	4.76	590	4.72	600	4.73		
	富田	581	4.12	520	4.16	522	4.11		
	富洲原	416	2.95	377	3.01	380	2.99		
	大矢知	569	4.04	515	4.12	518	4.08		
	八郷	399	2.83	359	2.87	366	2.88		
	下野	304	2.16	281	2.25	282	2.22		
	保々	225	1.60	203	1.62	204	1.61		
南 消 防 署	小計	3,765	26.72	3,351	26.79	3,407	26.84		
	塩浜	369	2.62	334	2.67	340	2.68		
	日永	1,044	7.41	923	7.38	939	7.40		
	四郷	815	5.79	721	5.76	727	5.73		
	内部	549	3.90	477	3.81	487	3.84		
	河原田	210	1.49	191	1.53	198	1.56		
	小山田	215	1.53	195	1.56	197	1.55		
	水沢	131	0.93	115	0.92	118	0.93		
楠	432	3.07	395	3.16	401	3.16			
高速自動車道		74	0.53	55	0.44	68	0.54		
市 外	小計	920	6.53	819	6.55	836	6.59		
	朝日町	365	2.59	327	2.61	333	2.62		
	川越町	553	3.93	490	3.92	501	3.95		
	その他	2	0.01	2	0.02	2	0.02		

平成24年

月別救急出場状況

事故別	区分	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		合計												
合計	出場件数	14,088	1,259	1,112	1,200	1,102	1,119	1,016	1,304	1,252	1,119	1,136	1,167	1,302
	搬送人員	12,695	1,141	990	1,061	1,003	1,021	928	1,187	1,146	1,033	1,034	1,017	1,134
火災	出場件数	62	4	7	8	7	5	3	3	5	3	3	6	8
	搬送人員	23	0	1	3	9	1	0	1	1	1	4	2	0
自然災害	出場件数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難	出場件数	10	1	1	1	0	0	0	3	1	0	3	0	0
	搬送人員	4	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0
交通	出場件数	1,645	105	120	116	138	139	139	134	151	144	164	152	143
	搬送人員	1,603	100	108	109	134	137	139	131	163	140	160	148	134
労働災害	出場件数	101	11	6	7	9	8	12	9	7	11	9	7	5
	搬送人員	100	10	6	7	9	8	13	9	7	11	9	6	5
運動競技	出場件数	107	9	6	6	3	13	11	18	12	7	10	9	3
	搬送人員	106	10	6	6	3	12	11	17	12	7	11	8	3
一般負傷	出場件数	1,753	144	158	148	146	131	117	156	142	132	150	156	173
	搬送人員	1,587	134	141	135	134	122	107	141	133	123	130	136	151
加害	出場件数	99	11	7	8	8	3	8	11	9	6	11	5	12
	搬送人員	77	10	6	5	8	3	6	7	8	4	6	5	9
自損行為	出場件数	170	16	14	11	12	21	20	20	12	11	12	9	12
	搬送人員	104	9	9	7	9	14	13	12	7	10	5	4	5
急病	出場件数	9,122	862	715	797	698	703	636	874	824	725	691	739	858
	搬送人員	8,108	776	637	692	617	629	572	793	731	661	631	627	742
転院搬送	出場件数	969	89	76	92	79	94	67	72	83	75	78	79	85
	搬送人員	964	88	74	92	79	94	67	72	82	75	77	79	85
その他	出場件数	49	7	2	6	2	2	3	4	6	4	5	5	3
	搬送人員	19	4	2	4	1	1	0	2	2	1	0	2	0

応急手当の普及計画

大切な人の命は、救急隊が到着するまでの間に、傷病者の近くに居合わせた住民の方が適切な応急手当を実施することによって、救われるものといっても過言ではありません。

本市では、平成6年から本格的に住民に対する応急手当の普及啓発活動を開始し、各自治会や各種団体を対象にした普通救命講習や上級救命講習などを年間約290回程度開催しています。

また、毎月1回、第2土曜日に一般公募による定期普通救命講習を開催し、個人での受講希望者への対応も行っています。さらに事業所や各種団体等において、応急手当の普及啓発活動の中心的な役割を担ってもらえるよう、指導者養成コースである普及員講習や指導員講習なども計画的に開催しており、現在、管内には約1,500名の応急手当普及員及び指導者がいます。

なお、平成24年中の心肺停止傷病者に対する家族等による応急手当実施率は35.1%となっています。

応急手当普及啓発活動の状況

○普通救命講習の実績 (283回) 5,322人 (平成24年中)

講習 実施 月	講習 回数	男女別		修了 者数 合計	消 防 防 災 団 隊	自 治 会	公 務 員	P T A	事 業 所 等	福 祉 関 係	学 校 関 係	そ の 他 (定期 含む)
		男	女									
合 計	283	3050	2272	5322	167	393	357	792	2036	503	559	515
1月	19	161	92	253	0	28	36	0	152	0	17	20
2月	19	208	125	333	0	52	33	0	120	23	40	65
3月	18	323	38	361	0	0	0	0	342	15	0	4
4月	21	129	81	210	1	0	77	0	72	24	12	24
5月	51	509	244	753	21	0	0	0	475	150	80	27
6月	28	297	568	865	58	93	0	419	123	84	33	55
7月	19	283	561	844	37	52	21	351	48	71	117	147
8月	22	223	132	355	0	0	0	0	177	0	108	70
9月	24	291	133	424	0	0	10	0	235	104	27	48
10月	16	164	71	235	0	0	116	11	52	32	24	0
11月	32	333	147	480	20	155	64	11	168	0	32	30
12月	14	129	80	209	30	13	0	0	72	0	69	24

※ 応急手当普及員にて66回実施、受講者1252人含む。

○上級救命講習の実績

一般公募・学校関係・事業所等	実施回数 6回 135名(男59名・女76名)
----------------	----------------------------

○応急手当指導員講習の実績

消防団員・消防職員	新規講習 4回・再講習 1回 40名(男37名・女3名)
-----------	---------------------------------

○応急手当普及員講習の実績

事業所・市職員・教職員・一般公募等	新規講習 3回・再講習 16回 292名(男215名・女77名)
-------------------	-------------------------------------

○救命入門コース(90分)の実績： 時間的な制約や年齢により、従来型の講習への参加が難しい市民を対象に、平成24年4月1日から実施。併せて普通救命講習へ繋げるための講習とする。

一般・学校関係・事業所等	実施回数 9回 210名(男62名・女148名)
--------------	-----------------------------

心肺機能停止傷病者の救命率

- ◎ 救命率とは、救急搬送した心肺停止傷病者の1ヵ月後の生存率です。
ただし、調査の条件としては、心臓に原因があり、かつ一般市民等により心肺機能停止の時点が目撃された傷病者を対象としています。

年別	区 分	四日市市 (朝日、川越町含む)	全 国
平成 20 年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	318人	113,827人
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	73人	20,769人
	1ヵ月後の生存者数	9人	2,169人
	救命率	12.3%	10.4%
平成 21 年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	276人	115,250人
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	58人	21,112人
	1ヵ月後の生存者数	10人	2,417人
	救命率	17.2%	11.4%
平成 22 年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	342人	123,095人
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	71人	22,463人
	1ヵ月後の生存者数	9人	2,561人
	救命率	12.7%	11.4%
平成 23 年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	322人	127,109人
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	74人	23,296人
	1ヵ月後の生存者数	14人	2,655人
	救命率	18.9%	11.4%
平成 24 年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	268人	未確定
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	65人	未確定
	1ヵ月後の生存者数	5人	未確定
	救命率	7.7%	未確定

$$\text{※救命率} = \frac{\text{1ヵ月後の生存者数}}{\text{心臓に原因があるもので一般市民に目撃された傷病者数}}$$

通信 ・ 気象

一 目 統 計

平成24年中

119番通報取扱状況

受 信 総 件 数	20,168件
携 帯 電 話 受 信 件 数	8,122件
一日あたりの平均受信件数	55.1件
一日あたりの携帯電話による平均受信件数	22.2件
通 報 件 数 の 多 か っ た 月	12月 1,909件
通 報 件 数 の 少 な っ た 月	4月 1,553件

気 象 状 況

最 高 気 温	7月26日	37.7℃
最 低 気 温	2月19日	-3.1℃
最 大 瞬 間 風 速	6月19日	24.4m/s
年 間 総 雨 量		1,920.0mm
時間あたりの最大降雨量	9月30日(17時~18時)	53.5mm
一日あたりの最大降雨量	9月30日	143.5mm
最 多 風 向		西北西
最 少 風 向		南南西

指令事務の共同運用

四日市市と桑名市は、「四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会」を設置して、平成19年4月1日から指令事務の共同運用を開始しました。

- 1 四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会の目的
地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の2第1項の規定に基づき、複雑多様化する消防需要に広域的に対応し、住民の期待と信頼に応えられる消防サービスの高度化を図るため、消防通信指令施設において行う消防通信指令に関する事務を共同して管理し、及び執行する。
- 2 四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会の担当事務
 - ・ 災害通報の受信
 - ・ 出動指令
 - ・ 通信統制
 - ・ 情報の収集伝達
- 3 担当事務を執行する施設の名称
消防指令センター
- 4 消防指令センターの設置場所
桑名市消防本部内
- 5 共同運用部分の経費の負担割合
経費の2分の1を国勢調査人口比率、残りの2分の1を消防費基準財政需要額比率とする。
- 6 消防指令センターの管内人口及び面積
管内人口約56万人・面積約614km²
- 7 消防指令センター管内署所数
17署所
- 8 消防指令センター員の構成状況
総員 27名
内訳 四日市市消防本部職員 15名
桑名市消防本部職員 12名

消防通信施設の概要

高機能消防通信指令システムには次の機能を備え、119番通報受付から出動指令までの時間短縮及び消防車・救急車が災害場所に到着するまでの時間短縮を図っています。

- 1 NTT発信地表示システム
NTTからの119番通報時に、通報者の住所を瞬時に特定し、地図上に通報場所を表示します。
- 2 携帯電話・IP電話の発信者位置情報通知システム
携帯電話・IP電話からの119番緊急通報時に、音声通話と併せて通報者の発信位置に関する情報が自動的に消防本部に通知され、地図上に表示します。
- 3 車両位置管理システム
GPS（衛星利用測位システム）機能により、出向している消防車や救急車の走行している位置を把握して、災害場所に速い消防車・救急車に対して出動を指令（直近車両の隊編成）します。
- 4 Eメール・FAX119番緊急通報システム
音声による119番通報が困難な聴覚障害や言語障害のある方が、携帯電話機やインターネット接続端末機からEメール、又はFAXを利用して火災・救急事案等の緊急通報を受信します。
- 5 消防団への出動指令
消防団への出動指令は、出動対象分団車庫へファックスによる指令書を送信するとともに、出動対象団員へ電話音声による順次指令とEメール指令を送信します。

119番通報受付取扱状況

(四日市市消防本部管内)

(平成24年中)

月	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	FAX 119	その他	合計
1	20	1259	6	13	53	81	70	130	16	3	147	1798
2	17	1077	5	12	52	69	75	121	13	0	116	1557
3	32	1176	2	8	118	82	105	107	13	0	122	1765
4	22	1106	7	7	49	90	39	113	11	0	109	1553
5	11	1120	4	14	47	74	65	132	10	1	109	1587
6	9	1011	5	18	50	78	98	124	12	0	154	1559
7	7	1246	9	20	29	66	74	149	8	0	160	1768
8	12	1199	8	7	26	71	92	138	11	0	169	1733
9	14	1084	10	42	29	55	140	121	8	0	150	1653
10	6	1121	8	13	39	85	97	113	11	0	131	1624
11	15	1122	8	19	43	60	147	112	18	1	117	1662
12	27	1238	10	32	81	94	113	152	26	1	135	1909
合計	192	13759	82	205	616	905	1115	1512	157	6	1619	20168

※災害通報には重複通報含む。

119番通報（回線別）受付取扱状況

(四日市市消防本部管内)

(平成24年中)

回線種別	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	FAX 119	その他	合計
固定電話	46	5556	17	40	310	242	785	405	10	5	487	7903
IP電話	34	3270	8	40	13	129	181	295	3	1	169	4143
携帯電話	112	4933	57	125	293	534	149	812	144	0	963	8122
合計	192	13759	82	205	616	905	1115	1512	157	6	1619	20168

119番通報（消防本部別）受付取扱状況

(四日市市消防本部・桑名市消防本部管内別)

(平成24年中)

消防本部	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	FAX 119	その他	合計
四日市市	192	13759	82	205	616	905	1115	1512	157	6	1619	20168
桑名市	154	7944	51	81	215	579	1103	923	59	18	966	12093
合計	346	21703	133	286	831	1484	2218	2435	216	24	2585	32261

通 信 施 設 保 有 状 況

(平成25年4月1日現在)

所属別 区分	消 防 緊 急 通 信 指 令 施 設 Ⅲ 型	火 災 報 知 電 話	ホ ッ ト ラ イ ン	指 令 電 話	公 電 機	加 入 電 話 (回 線)	テ レ フ ォ ン ガ イ ド (回 線)	消 防 無 線 電 話			救 急 無 線 電 話		消 防 団 無 線 電 話		県 防 災 無 線 電 話		市 防 災 行 政 用 無 線 電 話	フ ァ ク シ ミ リ	無 線 フ ァ ク シ ミ リ	携 帯 電 話		
								基 地	移 動		基 地	移 動 (車 載)	車 載	携 帯	地 上 ・ 衛 星	防 災 相 互 波						
									消 防 車	そ の 他 車											携 帯	
																						消 防 車
合 計	1	12		9	1	1	36	15	1	26	24	70	1	12	25	6	3	15	11	39	1	22
消防本部	1	12			1	1	18	15	1		9	8	1				3	7	2	2	1	4
中消防署				1			4			8	2	15		3				2	1	1		5
中央分署				1			1			3	3	6		1				2	1	1		2
西分署				1			2			2	1	3		1					1	1		2
港分署				1			1				2	2						2	1	1		
北消防署				1			2			5	3	13		2				1	1	1		2
朝日川越分署				1			2			1	1	6		1					1	1		2
北西出張所				1			1			1		2		1					1	1		1
南消防署				1			4			5	3	13		2				1	1	1		3
西南出張所				1			1			1		2		1					1	1		1
消 防 団	団本部														2							
	消防団														23	4						
	水防対応班														2						28	

◎県防災行政無線電話には、衛星可搬型地球局含む。

- * 四日市市デジタル防災行政無線 各署に設置、今年度中の運用開始
- * ホットラインについては、平成24年10月末日で全撤去、MCA無線を配置した。
- * 中消防署の化学車(8号車)については、25年中廃車になります。

無 線 配 置 状 況

消 防 本 部	
○車載無線 (よっかいち)	
指揮車	51
広報車	61. 68. 69. 73. 78
トラック	82
都道府県隊指揮車 (指揮1、指揮2)	
○携帯無線 (よっかいち)	
800. 801. 802. 803. 804	
805 810. 820	
○基地局	
よっかいちしょうぼう	
きゅうきゅうよっかいち	
三重県防災行政無線	
(固定局)	
四日市市防災行政無線	
(固定局)	

四日市市消防団	
(よっかいちしょうぼうだん)	
○消防団本部	1. 2. 3. 4
ポンプ車	他27

港 分 署	
○車載無線 (よっかいち)	
広報車	71
水難救助車	45
○携帯無線 (よっかいちみなど)	
601. 602	

中 消 防 署	
○車載無線 (よっかいち)	
ポンプ車	1
水槽付ポンプ車	5
化学車	8
はしご車	31
高所放水車	35
救助工作車 (Ⅲ型)	41
広報車	62. 72
泡原液搬送車	74
原液運搬車	76
○携帯無線 (よっかいちなか)	
100. 101. 103. 105. 106	
108. 141. 142. 143. 144	
145. 190. 191. 192. 193	
○救急無線 (きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	1. 7. 9

中 央 分 署	
○車載無線 (よっかいち)	
ポンプ車	4
水槽車	11
水槽付ポンプ車	12
広報車	66
トラック	84
支援車	1
○携帯無線 (よっかいちちゅうおう)	
700. 701. 702. 703. 704	
790	
○救急無線 (きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	12

西 分 署	
○車載無線 (よっかいち)	
水槽付ポンプ車	7. 14
広報車	70
○携帯無線 (よっかいちにし)	
401. 403. 491	
○救急無線 (きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	6

北 消 防 署	
○車載無線 (よっかいち)	
ポンプ車	2
水槽付ポンプ車	6
化学車	9
屈折はしご車	32
救助工作車 (Ⅱ型)	43
広報車	63. 65
トラック	81
○携帯無線 (よっかいちきた)	
200. 201. 202. 203. 204	
205. 206. 207. 208. 241	
242. 292. 295	
○救急無線 (きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	5. 11

北西出張所	
○車載無線 (よっかいち)	
ポンプ車	17
○救急無線 (きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	4
○携帯無線 (よっかいちほくせい)	
290. 291	

朝 日 川 越 分 署	
○車載無線 (よっかいち)	
水槽付ポンプ車	16
広報車	79
○携帯無線 (よっかいちあさかわ)	
501. 502. 503. 504. 590	
591	
○救急無線 (きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	8

南 消 防 署	
○車載無線 (よっかいち)	
ポンプ車	3
水槽付ポンプ車	15
化学車	10
高所放水車	34
泡原液搬送車	36
広報車	64. 80
トラック	83
○携帯無線 (よっかいちみなみ)	
300. 301. 302. 303. 305	
306. 307. 308. 309. 390	
391. 392. 393	
○救急無線 (きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	2. 3

西南出張所	
○車載無線 (よっかいち)	
ポンプ車	18
○救急無線 (きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	10
○携帯無線 (よっかいちせいなん)	
304. 395	

警報・注意報・情報等の発表状況(四日市)

(平成 24年中)

種別	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	発表回数 計
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
警報	暴風警報	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
	暴風雪警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大雨警報	0	0	0	0	0	2	1	1	6	0	0	0	10
	大雪警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	洪水警報	0	0	0	0	0	0	1	1	6	0	0	0	8
	波浪警報	0	0	0	0	0	1	0	0	10	0	0	0	2
	高潮警報	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0
注意報	大雨注意報	0	0	0	2	2	4	6	10	0	1	0	0	42
	大雪注意報	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6
	風雪注意報	2	2	1	0	0	0	0	0	8	0	0	2	7
	雷 注意報	0	3	4	11	10	6	16	13	3	4	8	6	90
	強風注意報	4	7	9	5	5	3	1	0	0	3	6	11	57
	融雪注意報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	濃霧注意報	0	1	4	3	3	0	2	0	0	0	0	1	14
	乾燥注意報	0	2	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	8
	なだれ注意報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	低温注意報	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	12
	霜注意報	0	0	12	6	0	0	0	0	0	0	0	0	18
	着氷注意報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	着雪注意報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	洪水注意報	0	0	0	2	1	2	3	10	12	1	0	0	31
	波浪注意報	0	0	3	3	2	3	1	1	3	1	1	0	18
高潮注意報	0	0	0	0	0	2	0	0	4	4	0	0	10	
計		12	22	37	33	25	24	31	36	62	14	15	24	335
火災気象通報		0	5	10	3	5	0	0	0	0	1	0	1	25
土砂災害警戒情報	四日市市	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
	朝日町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
竜巻注意情報		0	0	0	1	3	0	1	4	2	2	3	1	17
津波警報	大津波	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津波	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津波注意報		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1)火災気象通報は三重県北部を対象に発表された回数を示す。

注2)同一種類の注意報・警報を継続する場合に発表された注意報・警報は回数に含めない。

注3)土砂災害警戒情報について、川越町は発表対象外です。

注4)竜巻注意情報は、三重県北部地域を対象に発表された回数を示す。

気 象 状 況

風速・湿度・気温・風向・降雨量

(平成24年中)

区分		月別	年間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		年間													
風速(m/s)	平均	2.6	2.6	3.1	3.1	2.7	2.8	2.2	2.0	2.2	2.3	2.6	2.7	2.9	
	最大瞬間	24.4	19.9	17.9	21.9	24.0	21.3	24.4	17.4	15.6	23.8	16.7	23.1	21.3	
湿度(%)	平均	67.0	61.7	60.5	62.8	66.7	64.2	73.9	76.3	73.0	73.1	63.7	64.6	63.4	
	最低	19.3	29.6	25.2	19.3	19.6	25.1	35.8	36.7	37.6	35.9	32.0	24.9	28.9	
気温(°C)	平均	16.3	5.1	5.1	8.8	14.6	19.2	22.4	27.4	29.0	26.2	19.6	12.1	6.3	
	最高	37.7	13.7	15.9	19.4	27.3	27.7	29.8	37.7	36.3	34.1	30.8	21.9	14.3	
	最低	-3.1	-1.1	-3.1	-0.5	3.1	10.8	17.4	20.7	23.6	18.1	10.0	1.6	-2.4	
気圧(hPa)	平均	1011.8	1016.4	1015.7	1014.0	1012.8	1008.0	1006.3	1006.0	1009.6	1010.5	1012.7	1013.4	1015.8	
	最高	1029.8	1029.1	1026.6	1026.3	1025.0	1017.2	1014.7	1013.4	1016.1	1018.2	1023.6	1024.5	1029.8	
	最低	975.4	1004.0	999.0	994.1	985.7	990.2	975.4	992.3	1000.5	986.1	998.5	996.4	996.1	
風向頻度(%)	東	2.1	1.1	1.1	1.9	3.0	2.5	3.0	2.9	3.4	2.2	1.0	1.4	1.2	
	東南東	5.6	0.8	0.9	2.0	11.1	6.2	7.8	11.2	12.5	9.4	2.0	1.3	1.2	
	南東	11.5	0.7	1.6	3.4	16.0	12.9	17.8	25.1	31.5	20.2	6.1	1.3	1.2	
	南南東	4.7	0.5	0.6	1.4	6.1	6.5	9.5	9.5	11.5	6.7	2.2	0.6	0.8	
	南	3.8	0.6	0.6	1.2	3.0	4.2	10.4	8.1	7.1	5.9	2.9	0.7	1.2	
	南南西	1.6	10.0	0.9	1.0	0.9	2.0	2.7	2.6	1.7	1.9	1.1	1.0	2.0	
	南西	1.8	2.0	1.6	1.8	1.0	1.7	2.4	2.3	1.2	2.0	1.2	1.8	2.2	
	西南西	4.3	6.9	6.1	4.6	3.0	2.9	4.1	3.0	0.8	3.2	2.7	7.0	7.4	
	西	7.9	14.9	13.5	7.1	5.3	4.7	4.6	4.3	1.4	4.0	7.1	12.3	15.8	
	西北西	22.9	29.4	31.9	29.4	18.1	25.2	13.9	10.5	8.3	17.1	32.1	33.1	26.2	
	北西	14.2	19.6	18.7	21.1	13.5	14.5	8.6	6.3	6.0	9.3	20.6	16.0	18.0	
	北北西	5.1	6.5	6.2	6.7	5.1	3.9	3.3	3.9	2.3	3.8	7.2	6.2	6.3	
	北	4.4	5.5	5.2	5.8	4.0	3.8	2.6	2.6	2.8	3.5	5.6	5.4	5.4	
	北北東	4.4	5.1	6.1	4.7	3.7	3.2	3.9	3.1	4.2	4.1	4.2	5.8	5.2	
	北東	3.8	3.9	3.4	5.0	3.3	4.0	3.1	2.5	3.4	4.9	3.0	4.4	4.2	
東北東	1.9	1.5	1.3	2.9	2.9	1.8	2.3	2.1	1.9	1.8	1.0	1.7	1.7		
静穏	1.1	1.3	1.3	1.5	0.9	0.9	1.5	1.6	0.3	0.5	0.9	1.0	1.2		
降雨量(mm)	日数	122	8	11	12	11	11	11	12	8	13	6	10	9	
	時間最長	53.5	4.0	7.5	7.0	15.5	12.5	22.2	17.5	26.5	53.5	9.5	9.0	7.0	
	1日最大	143.5	19.5	31.0	46.0	64.0	41.5	78.0	90.0	33.5	143.5	36.5	35.0	34.0	
	合計	1920.0	44.0	107.0	167.5	164.5	117.0	300.0	240.5	96.5	410.0	80.5	86.0	106.5	

予 防

一 目 統 計

平成24年度

広報活動		550件
広報催事に対する参加者数		57,738人
立入検査数		4,166件
建築同意数		569件
防火対象物		15,165棟
中高層ビル	4階以上	1,515棟
危険物関係事務処理件数		4,487件
危険物施設数		4,132施設
火災条例に基づく届出件数		6,693件

広 報 活 動 状 況

(平成24年度)

種 別	回数／人員	合 計	消 防 本 部	中 署	北 署	朝 川 分 署	南 署
広報車等による宣伝活動	回 数	3	0	3	0	0	0
	人 員	12	0	12	0	0	0
防 火 講 演 会 座 談 会	回 数	23	6	3	6	6	2
	人 員	1093	316	83	330	244	120
防 火 映 画 会	回 数	15	0	4	0	11	0
	人 員	1507	0	519	0	988	0
自衛消防隊等訓練指導	回 数	228	1	101	38	36	52
	人 員	22836	2	8730	6739	916	6449
庁 舎 見 学	回 数	87	0	49	33	4	1
	人 員	4310	0	2285	1692	321	12
防 火 展	回 数	23	3	10	3	2	3
	人 員	15668	5212	5156	1600	1200	2500
防 火 教 室	回 数	44	0	17	10	3	14
	人 員	3447	0	1289	917	321	920
防 災 教 室	回 数	28	0	11	7	2	8
	人 員	3391	0	1310	949	223	909
地 震 体 験 車	回 数	25	1	6	7	3	8
	人 員	5283	38	1848	940	1325	1087
火 災 予 防 相 談	回 数	74	6	26	24	7	11
	人 員	191	7	77	63	7	37
合 計	回 数	550	17	232	128	74	99
	人 員	57738	5575	21354	13230	5545	12034

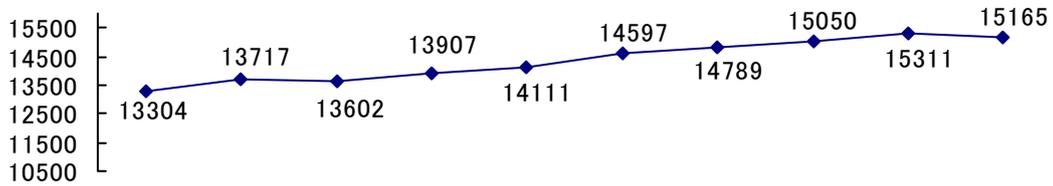
広 報 用 印 刷 物

(平成24年度)

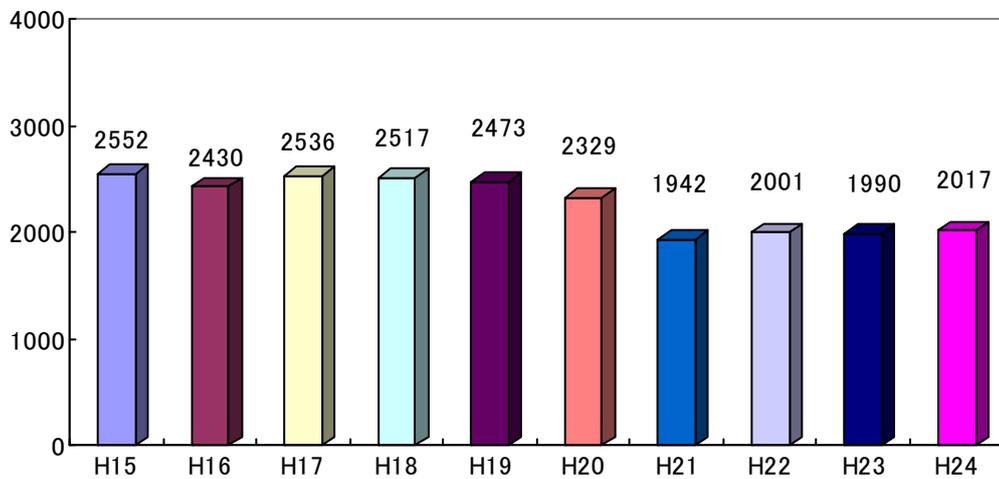
種 別	回数／部数	合 計	消 防 本 部	中 署	北 署	朝 川 分 署	南 署
チ ラ シ	回 数	21	1	11	7	0	2
	部 数	8970	5000	2530	740	0	700
ポ ス タ ー	回 数	5	3	1	0	0	1
	部 数	5308	5300	2	0	0	6
ス テ ッ カ ー	回 数	1	0	1	0	0	0
	部 数	100	0	100	0	0	0
防 火 だ よ り	回 数	2	0	0	0	0	0
	部 数	285600	285600	0	0	0	0
そ の 他	回 数	31	0	26	1	0	4
	部 数	5782	230	3352	500	0	1700
合 計	回 数	60	4	39	8	0	7
	部 数	305760	296130	5984	1240	0	2406

年別建築同意状況及び防火対象物の推移

防火対象物



建築同意件数



建築同意件数

(平成 24 年度)

区分 項目	件 数	
	同 意	不同意
新 築	394	0
増 築	155	0
改 築	1	0
移 築	1	0
用途変更	16	0
そ の 他	2	0
小 計	569	0
消防通知	1448	0
合 計	2017	0

消防用設備等届出状況

(平成 24 年度)

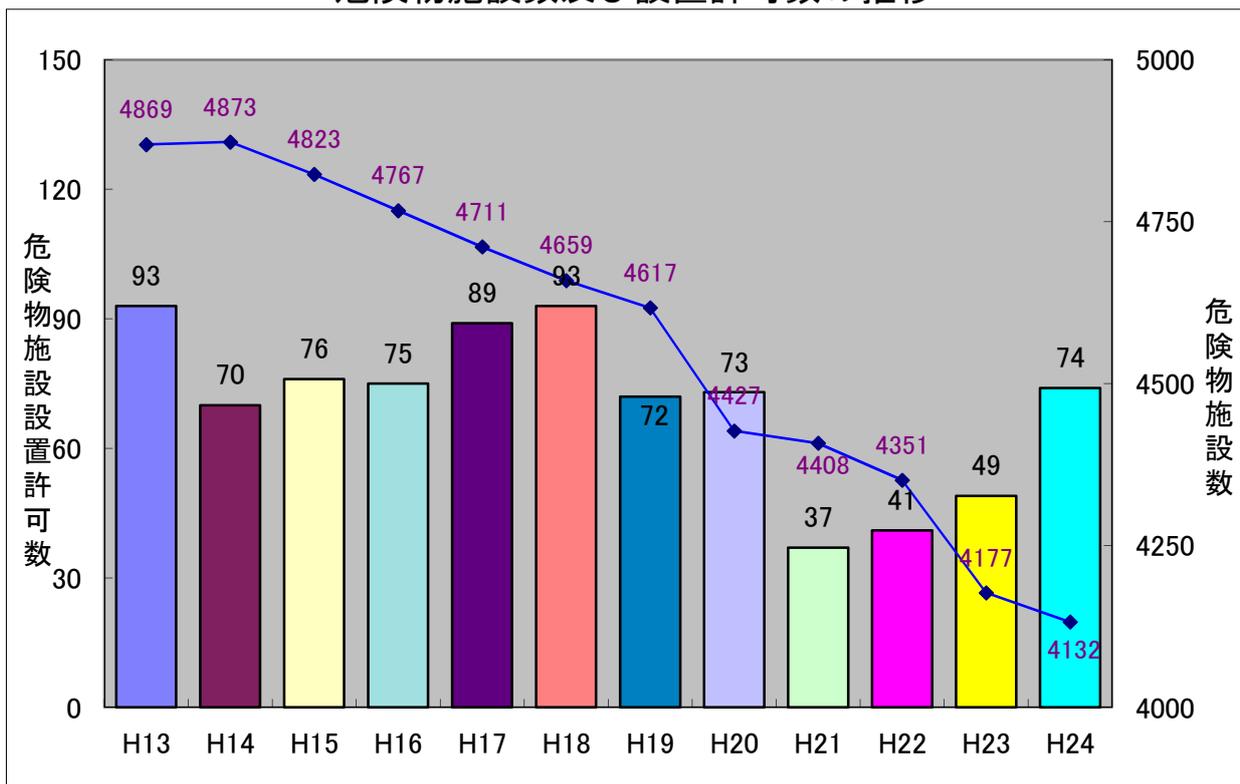
工事計画書	着工届出	設置届出
82件	467件	503件

危険物仮貯蔵・仮取扱申請承認状況

(平成 24 年度)

署別 区分	合計	中署	北署	南署
仮 貯 蔵	75	7	68	0
仮 取 扱	33	4	17	12

危険物施設数及び設置許可数の推移



危険物関係事務処理状況

(平成24年度)

	許可		完成検査	
	設置	変更	設置	変更
製造所	1	163	3	162
屋内貯蔵所	6	16	7	17
屋外タンク貯蔵所	10	237	17	224
屋内タンク貯蔵所	1	1	0	1
地下タンク貯蔵所	2	9	2	9
簡易タンク貯蔵所	0	0	0	0
移動タンク貯蔵所	37	25	37	23
屋外貯蔵所	5	1	4	1
給油取扱所	1	36	2	37
販売取扱所	0	0	0	0
移送取扱所	0	43	0	41
一般取扱所	11	169	10	176
合計	74	700	82	691

完成検査前検査	188
水張検査	127
水圧検査	41
溶接部検査	20
基礎地盤検査	0
保安検査(定期・臨時)	6

予防規程認可	94
--------	----

仮使用	528
仮貯蔵・仮取扱	108

変更届出(軽微な変更工事等)	902
廃止届出	121
その他届出	993

平成24年度

火災予防条例に基づく届出事務処理状況

区分	署別	合計	本部	中署	西分署	中央分署	港分署	北署	朝川分署	南署
防火対象物使用開始届		234	0	67	2	31	0	50	17	67
防火管理者選解任届		558	0	193	14	66	0	102	46	137
消防計画作成(変更)届		642	0	203	19	76	0	122	52	170
共同防火管理協議事項作成(変更)届		9	0	6	0	0	0	1	2	0
消火・避難訓練実施計画書		741	0	249	26	70	0	146	93	157
工事中の消防計画届		0	0	0	0	0	0	0	0	0
防火対象物定期点検報告		157	0	62	2	15	0	22	21	35
防火対象物点検報告特例認定申請		6	0	3	0	0	0	0	1	2
消防用設備等設置届		503	31	132	7	46	0	75	25	187
消防用設備等着工届		467	83	133	2	35	0	61	22	131
消防用設備等の特例適用願い		8	4	0	0	0	0	2	0	2
消防用設備等点検結果報告		2691	0	907	64	248	0	567	226	679
炉		5	0	0	0	0	0	4	0	1
厨房設備		0	0	0	0	0	0	0	0	0
温風暖房機		0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボイラー		8	0	1	1	1	0	3	0	2
給湯湯沸設備		11	0	1	0	4	0	3	2	1
乾燥設備		5	0	1	0	2	0	0	0	2
サウナ設備		0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒートポンプ冷暖房機		0	0	0	0	0	0	0	0	0
火花を生じる設備		0	0	0	0	0	0	0	0	0
放電加工機		1	0	0	0	0	0	1	0	0
発電設備		24	0	10	0	1	0	4	2	7
変電設備		95	0	16	0	14	0	10	15	40
蓄電池設備		35	0	7	0	2	0	9	4	13
ネオン管灯設備		0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定洞道		0	0	0	0	0	0	0	0	0
水素ガス気球届		0	0	0	0	0	0	0	0	0
熱風炉		0	0	0	0	0	0	0	0	0
少量危険物		186	0	29	3	57	0	25	11	61
指定可燃物		122	0	21	4	13	0	24	5	55
圧縮アセチレンガス		33	0	2	2	3	0	3	7	16
液化石油ガス		63	0	7	1	5	0	25	5	20
無水硫酸		1	0	0	0	1	0	0	0	0
生石灰		0	0	0	0	0	0	0	0	0
毒物		8	0	8	0	0	0	0	0	0
劇物		6	0	1	0	0	0	1	1	3
火薬類		3	0	1	0	0	0	0	0	2
高压ガス		2	0	0	0	0	0	0	0	2
喫煙届		1	0	1	0	0	0	0	0	0
裸火		36	0	26	0	0	0	9	0	1
危険物品持込		32	0	28	0	0	0	1	2	1

平成24年度

防火対象物状況(階層別)

平成25年4月1日現在

階層の別	政令別表項目別 合計	1		2				3		4	5				6				7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		16	16	17	18
		イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	百貨店・マーケット	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	イ	ロ	自動車庫・駐車場	神社・寺院	イ	ロ	イ	ロ	倉庫	その他	イ	ロ	二	三	文	延長50m以上のアーケード
		劇場・映画館	公会堂・集会場	キャバレー・カフェ	遊技場等	風営法規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗等	カラオケ等	待合・料理店	飲食店		旅館・ホテル	寄宿舎・下宿・共同住宅	老人短期入所・特別養護老人ホーム	老人デイサービス等	幼稚園・盲学校等	学校	図書館・美術館	蒸気・熱気浴場	イに掲げる以外の公衆浴場							工場・作業場	映画・テレビスタジオ	自動車庫・駐車場	飛行機等の格納庫		その他の事業所	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨イが存する複合用途防火対象物	イ以外の複合用途防火対象物	二地	三街	文財
合計	15165	20	298	0	35	0	12	14	507	661	61	3742	215	89	253	72	441	6	6	15	12	321	2974	0	169	0	2003	2148	811	256	0	0	5	19		
地上階	1階	5528	0	167	0	13	0	4	3	227	389	4	244	38	29	141	36	159	0	2	11	7	248	1469	0	117	0	1372	765	43	19	0	0	2	19	
	2階	6281	11	115	0	19	0	6	9	191	207	16	2191	118	32	86	29	83	3	3	3	4	64	1222	0	36	0	541	902	280	107	0	0	3	0	
	3階	1841	6	13	0	2	0	0	1	47	48	12	606	34	15	16	6	140	2	1	1	1	8	194	0	6	0	67	328	238	49	0	0	0	0	
	4階	707	2	1	0	1	0	1	0	27	11	2	299	11	10	2	1	39	0	0	0	0	0	49	0	5	0	16	89	117	24	0	0	0	0	
	5階	369	0	1	0	0	0	0	1	10	6	4	198	6	1	4	0	12	0	0	0	0	1	22	0	1	0	6	28	42	26	0	0	0	0	
	6階	124	0	0	0	0	0	1	0	3	0	7	39	3	2	3	0	4	1	0	0	0	0	12	0	0	0	1	12	25	11	0	0	0	0	
	7階	88	1	0	0	0	0	0	0	1	0	4	30	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4	0	2	0	0	9	24	8	0	0	0	0	
	8階	75	0	1	0	0	0	0	0	1	0	4	32	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	9	16	4	0	0	0	0	
	9階	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	7	5	0	0	0	0	
	10階	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10	2	0	0	0	0
	11階	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0
	12階	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	13階	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14階	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0
	15階	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
16階以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
上記のうち地階を有するもの	地下1階	256	2	5	0	0	1	0	8	4	8	32	12	4	2	4	5	1	1	0	1	1	16	0	1	0	4	91	49	4	0	0	0	0		
	地下2階	18	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	10	1	0	0	0	0	0		

防火対象物状況(消防用設備別)

設備等の別	政令別表項目別	合計	1		2			3		4	5		6				7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		17	18				
			イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ		ロ	イ	ロ	イ	ロ	ハ			ニ	イ			ロ	イ	ロ	イ			ロ	イ			ロ	イ	ロ	イ
			劇場・映画館	公会堂・集会場	キャバレー・カフェ	遊技場等	風営法規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗等	カラオケ等	待合・料理店	飲食店	百貨店・マーケット	旅館・ホテル	寄宿舎・下宿・共同住宅	病院・診療所	老人短期入所・特別養護老人ホーム等	老人デイサービス等	幼稚園・盲学校等	学校	図書館・美術館	蒸気・熱気浴場	イに掲げる以外の公衆浴場	車両の停車場	神社・寺院	工場・作業場	映画・テレビスタジオ	自動車庫・駐車庫	飛行機等の格納庫	倉庫	その他	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨が存する複合用途防火対象物	イ以外の複合用途防火対象物	二地	三	文	延長50m以上のアーケード	
防火対象物合計			15165	20	298	0	35	0	12	14	507	661	61	3742	215	89	253	72	441	6	6	15	12	321	2974	0	169	0	2003	2148	811	256	0	0	5	19
消防用設備等を要する防火対象物の別	屋内消火栓設備を要するもの	1270	13	14	0	7	0	1	0	5	42	21	126	14	22	11	9	136	1	1	0	1	1	402	0	5	0	248	122	59	9	0	0	0	0	
	スプリンクラー設備を要するもの	177	5	0	0	1	0	0	0	2	22	3	29	9	58	1	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	10	3	22	0	0	0	0	0	0	
	水噴霧等消火設備を要するもの	205	1	1	0	1	0	1	0	0	25	4	10	3	2	0	0	0	1	0	0	0	47	0	56	0	6	29	14	4	0	0	0	0	0	
	屋外消火栓設備を要するもの	342	4	0	0	0	0	0	0	2	0	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	173	0	1	0	132	21	1	0	0	0	0	0	0	
	動力消防ポンプを要するもの	84	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	0	0	0	27	7	2	1	0	0	0	0	0	
	自動火災報知設備を要するもの	4437	16	68	0	21	0	9	4	113	264	40	823	94	75	119	41	239	4	3	2	2	6	1015	0	40	0	635	386	345	69	0	0	4	0	
	ガス漏れ火災警報設備を要するもの	10	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	
	漏電火災警報器を要するもの	18	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	0	0	2	4	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
	消防機関へ通報する火災報知設備を要するもの	612	3	7	0	5	0	5	0	4	30	36	60	51	75	84	13	9	0	1	1	0	0	57	0	4	0	27	30	97	13	0	0	0	0	
	非常警報設備を要するもの	1479	12	145	0	20	0	6	1	164	152	17	206	60	22	46	18	175	2	3	4	0	29	43	0	3	0	7	194	133	17	0	0	0	0	
	避難器具を要するもの	1134	4	24	0	6	0	3	1	61	14	19	459	24	25	30	20	133	2	1	0	0	4	9	0	1	0	4	109	138	43	0	0	0	0	
	誘導灯を要するもの	2977	17	155	0	24	0	11	6	317	461	42	118	172	74	158	40	63	3	5	6	1	19	265	0	23	0	171	387	391	47	0	0	1	0	
	消防用水を要するもの	85	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	2	0	0	3	0	0	0	0	0	52	0	0	0	11	6	6	0	0	0	0	0	0	
	排煙設備を要するもの	26	2	0	0	1	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	
連結散水設備を要するもの	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0		
連結送水管を要するもの	306	1	1	0	0	0	0	0	1	2	13	147	9	1	1	0	4	1	0	0	0	5	0	6	0	2	27	49	18	0	0	0	0	18		
非常コンセント設備を要するもの	72	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7	1	0	0	0	0	0		
無線通信補助設備を要するもの	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
甲種防火対象物	2177	8	70	0	20	0	6	4	121	223	37	329	40	56	108	29	92	4	3	2	2	18	196	0	54	0	157	308	249	40	0	0	1	0		
乙種防火対象物	529	0	96	0	2	0	3	1	167	55	1	12	4	0	6	3	8	0	0	1	0	13	5	0	3	0	2	25	110	12	0	0	0	0		
共同防火管理を要するもの	158	0	1	0	0	0	0	0	14	5	1	14	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	8	0	0	9	90	13	0	0	0	0	0		

防火対象物状況(地区別)

政令別表項目別 地区の別	合計	1		2				3		4	5				6				7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		17	18	
		イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ		イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	ハ	ニ			イ	ロ			イ	ロ	イ	ロ			イ	ロ			イ
		劇場・映画館	公会堂・集会場	キャバレー・カフェー等	遊技場等	風営法規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗等	カラオケ等	待合・料理店	飲食店	百貨店・マーケット	旅館・ホテル	寄宿舎・下宿・共同住宅	病院	ホ老人短期入所・特別養護老人	ハ老人デイサービス等	ニ幼稚園・盲学校等	学	図書館・美術館	蒸気・熱気浴場	イに掲げる以外の公衆浴場	車両の停車場	神社・寺院	工場・作業場	映画・テレビスタジオ	自動車車庫・駐車場	飛行機等の格納庫	倉庫	その他の事業所	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨イが存する複合用途防火対象物	イ以外の複合用途防火対象物	二地下街	三地下街	文庫	延長50m以上のアーケード	
		館	場	ー	場	等	等	店	店	ト	ル	宅	所	等	等	校	館	場	場	場	院	場	オ	場	庫	庫	所	物	物	街	街	財	ド		
合計	15165	20	298	0	35	0	12	14	507	661	61	3742	215	89	253	72	441	6	6	15	12	321	2974	0	169	0	2003	2148	811	256	0	0	5	19	
中消防署管内	小計	5762	1	109	0	17	0	7	13	301	319	39	1534	104	28	90	27	148	2	3	4	4	94	698	0	96	0	628	806	539	132	0	0	0	19
	共同	700	0	3	0	2	0	1	1	109	56	11	76	6	1	3	2	9	0	1	3	0	11	16	0	22	0	26	77	220	29	0	0	0	15
	同和	19	0	1	0	0	0	0	1	1	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	5	1	0	0	0	0	0	0
	中央	150	0	1	0	0	0	0	9	6	6	2	12	6	0	1	0	3	0	0	1	1	7	7	0	3	0	8	40	29	4	0	0	0	4
	港	334	0	9	0	0	0	0	0	5	3	2	20	1	1	3	0	0	0	0	0	0	63	0	4	0	126	88	3	6	0	0	0	0	0
	浜田	1056	1	5	0	3	0	0	0	24	43	11	227	12	2	9	1	21	1	0	0	9	122	0	42	0	153	190	132	48	0	0	0	0	0
	常磐	1139	0	23	0	3	0	2	0	58	81	6	572	23	7	19	5	12	1	0	0	1	15	59	0	8	0	55	97	74	18	0	0	0	0
	橋北	330	0	3	0	0	0	0	0	6	10	1	50	5	2	4	1	9	0	0	0	2	79	0	3	0	77	57	13	8	0	0	0	0	0
	海蔵	545	0	3	0	3	0	1	0	11	21	0	179	6	1	11	1	9	0	1	0	1	8	139	0	1	0	88	41	15	5	0	0	0	0
	三重	640	0	17	0	2	0	1	1	43	42	4	207	19	3	18	5	22	0	1	0	0	15	81	0	2	0	44	84	24	5	0	0	0	0
	神前	170	0	10	0	1	0	0	0	9	13	1	22	6	2	4	1	31	0	0	0	0	6	24	0	3	0	11	19	6	1	0	0	0	0
川島	168	0	5	0	1	0	0	0	6	11	0	78	8	2	6	3	5	0	0	0	0	8	8	0	0	0	3	13	8	3	0	0	0	0	
県	232	0	10	0	1	0	0	0	7	5	0	42	4	3	4	3	12	0	0	0	0	6	58	0	2	0	22	45	5	3	0	0	0	0	
桜	279	0	19	0	1	0	2	1	16	26	1	45	8	4	8	5	15	0	0	0	1	7	40	0	6	0	13	50	9	2	0	0	0	0	
北消防署管内	小計	4583	14	93	0	7	0	3	0	109	169	8	1259	52	23	62	25	147	4	1	9	4	93	1150	0	33	0	602	508	148	60	0	0	0	0
	富田	457	0	9	0	0	0	0	3	22	1	154	7	5	5	2	23	0	1	4	1	10	62	0	3	0	50	55	31	9	0	0	0	0	
	羽津	1102	8	10	0	3	0	1	0	24	49	1	242	14	3	14	4	19	0	0	0	1	12	366	0	5	0	158	127	30	11	0	0	0	0
	富洲原	340	0	8	0	2	0	1	0	18	12	4	62	5	2	5	4	10	0	0	2	1	4	98	0	7	0	47	29	15	4	0	0	0	0
	大矢知	589	0	12	0	0	0	0	0	12	22	0	305	8	2	2	4	7	0	0	0	0	17	75	0	1	0	69	30	20	3	0	0	0	0
	八郷	408	0	13	0	0	0	0	0	7	12	0	75	4	2	8	6	37	1	0	0	0	10	124	0	3	0	39	47	14	6	0	0	0	0
	下野	198	0	9	0	0	0	0	0	9	9	0	72	2	1	6	1	10	0	0	0	0	4	35	0	0	0	15	15	6	4	0	0	0	0
	保々	215	1	9	0	0	0	0	0	3	3	0	41	0	0	3	2	15	0	0	0	0	10	59	0	0	0	34	29	4	2	0	0	0	0
	川越町	924	5	11	0	2	0	1	0	18	21	1	239	4	5	14	2	17	1	0	2	1	15	244	0	14	0	151	124	17	15	0	0	0	0
朝日町	350	0	12	0	0	0	0	0	15	19	1	69	8	3	5	0	9	2	0	1	0	11	87	0	0	0	39	52	11	6	0	0	0	0	
南消防署管内	小計	4820	5	96	0	11	0	2	1	97	173	14	949	59	38	101	20	146	0	2	2	4	134	1126	0	40	0	773	834	124	64	0	0	5	0
	塩浜	955	0	7	0	1	0	0	0	8	17	2	63	1	2	14	0	15	0	0	1	2	14	330	0	9	0	187	253	18	11	0	0	0	0
	日永	1077	4	16	0	6	0	2	0	40	84	1	325	24	5	24	1	43	0	0	0	1	22	159	0	11	0	132	137	29	11	0	0	0	0
	河原田	636	0	5	0	2	0	0	1	4	18	1	62	0	4	4	0	16	0	0	0	0	12	193	0	5	0	161	136	7	5	0	0	0	0
	四郷	521	0	17	0	0	0	0	0	22	16	1	240	12	8	24	13	38	0	0	0	0	22	20	0	0	0	16	29	28	14	0	0	1	0
	内都	505	0	11	0	2	0	0	0	11	17	2	106	9	10	19	4	12	0	1	0	0	25	100	0	8	0	83	66	11	8	0	0	0	0
	小山田	229	0	12	0	0	0	0	0	8	6	0	7	0	4	7	0	8	0	1	1	0	23	87	0	1	0	17	39	5	3	0	0	0	0
水沢	231	0	9	0	0	0	0	0	2	2	6	8	6	3	4	0	3	0	0	0	0	4	63	0	0	0	41	77	3	0	0	0	0	0	
楠	666	1	19	0	0	0	0	0	2	13	1	138	7	2	5	2	11	0	0	0	1	12	174	0	6	0	136	97	23	12	0	0	4	0	

数量・類別危険物施設設置状況

平成25年4月1日現在

区分	製造所等の別	合計	製造所	貯蔵所									取扱所						事業所数			
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	特定屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	14ℓを超える被率引車型	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	移送取扱所		特定移送取扱所	一般取扱所	
合計		4132	128	3223	367	1715	329	60	153	15	789	232	124	781	214	4	0	62	0	501	725	
数量別	5倍以下	555	7	449	114	110	0	37	66	15	81	2	26	99	5	1	0	0	0	93		
	5倍を越え10倍以下	483	11	347	64	132	0	7	32	0	74	6	38	125	23	2	0	0	0	100		
	10倍～50倍 "	965	17	751	85	436	0	16	40	0	126	12	48	197	89	1	0	2	0	105		
	50倍～100倍 "	726	15	629	24	175	0	0	5	0	422	143	3	82	12	0	0	1	0	69		
	100倍～150倍 "	263	6	227	29	122	0	0	4	0	72	62	0	30	15	0	0	2	0	13		
	150倍～200倍 "	106	5	70	8	49	3	0	2	0	4	2	7	31	17	0	0	2	0	12		
	200倍～1,000倍 "	519	36	360	25	319	60	0	4	0	10	5	2	123	51	0	0	7	0	65		
	1,000倍～5,000倍 "	224	16	170	6	164	75	0	0	0	0	0	0	0	38	2	0	0	12	0	24	
	5,000倍～10,000倍 "	79	3	67	7	60	52	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	3	0	6	
10,000倍を超えるもの	212	12	153	5	148	139	0	0	0	0	0	0	0	47	0	0	0	33	0	14		
類別	単独	第1類	6	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	
		第2類	20	1	16	5	11	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	2	
		第3類	48	6	34	3	31	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	8	
		第4類	3871	98	3064	297	1641	327	60	153	15	775	232	123	709	214	2	0	57	0	436	
		第5類	13	0	11	8	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	
		第6類	47	0	44	1	29	2	0	0	0	14	0	0	3	0	0	0	1	0	2	
	混在	127	23	50	49	0	0	0	0	0	0	0	1	54	0	2	0	3	0	49		

地区別危険物施設設置状況

平成25年4月1日現在

地区別	区分	合計	製造所	貯 蔵 所								取 扱 所				
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
合計		4132	128	3223	367	1715	60	153	15	789	124	781	214	4	62	501
中消防署管内	小計	771	22	588	54	240	29	57	7	174	27	161	61	1	14	85
	共同	10	0	6	0	0	2	4	0	0	0	4	2	1	0	1
	同和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中央	15	0	14	5	0	0	2	0	7	0	1	1	0	0	0
	港	307	6	261	19	112	4	4	0	108	14	40	7	0	2	31
	浜田	96	3	76	6	4	4	17	1	39	5	17	11	0	0	6
	橋北	164	11	121	8	108	0	1	0	1	3	32	4	0	12	16
	海蔵	22	0	17	2	1	2	3	0	9	0	5	4	0	0	1
	常磐	23	0	13	2	3	0	8	0	0	0	10	3	0	0	7
	川島	4	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0
	神前	17	0	10	3	0	0	4	0	0	3	7	5	0	0	2
	桜	12	0	9	2	0	0	5	2	0	0	3	3	0	0	0
	県	28	0	16	2	5	1	5	1	1	1	12	5	0	0	7
	三重	73	2	44	5	6	16	4	3	9	1	27	13	0	0	14
北消防署管内	小計	1198	41	936	104	427	20	47	6	279	53	221	74	0	17	130
	羽津	489	27	367	40	252	1	6	0	50	18	95	11	0	16	68
	富田	43	0	36	7	0	3	8	2	10	6	7	7	0	0	0
	富洲原	67	2	54	7	3	3	4	0	30	7	11	8	0	0	3
	大矢知	40	0	26	14	4	3	3	0	1	1	14	5	0	0	9
	八郷	18	0	11	3	0	5	1	0	2	0	7	6	0	0	1
	下野	11	0	9	3	1	0	2	1	2	0	2	1	0	0	1
	保々	27	1	17	7	4	0	2	1	1	2	9	5	0	0	4
	朝日町	44	0	28	6	13	2	0	1	4	2	16	6	0	0	10
川越町	459	11	388	17	150	3	21	1	179	17	60	25	0	1	34	
南消防署管内	小計	2163	65	1699	209	1048	11	49	2	336	44	399	79	3	31	286
	塩浜	956	35	760	64	528	5	11	1	136	15	161	13	0	27	121
	日永	389	12	300	41	203	2	12	0	30	12	77	13	2	1	61
	四郷	13	0	7	3	2	0	0	0	2	0	6	5	0	0	1
	内部	66	1	38	8	6	0	6	0	18	0	27	17	0	0	10
	河原田	390	12	313	61	208	2	1	0	32	9	65	9	1	2	53
	小山田	95	1	73	5	28	1	8	1	28	2	21	10	0	0	11
	水沢	33	0	26	1	17	0	5	0	3	0	7	4	0	0	3
楠	221	4	182	26	56	1	6	0	87	6	35	8	0	1	26	

事業所等別危険物施設状況

平成25年4月1日現在

区 分		合 計	コ ン ビ ナ ー ト			そ の 他	
			小 計	第 1 コ ン ビ ナ ー ト	第 2 コ ン ビ ナ ー ト		第 3 コ ン ビ ナ ー ト
施 設							
合 計		4132	2048	1346	319	383	2084
製 造 所		128	97	53	17	27	31
貯 蔵 所	小 計	3223	1579	1050	249	280	1644
	屋 内 貯 蔵 所	367	160	117	16	27	207
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	1715	1356	895	218	243	359
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	60	4	4	0	0	56
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	153	6	4	2	0	147
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	15	0	0	0	0	15
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	789	0	0	0	0	789
	屋 外 貯 蔵 所	124	53	30	13	10	71
取 扱 所	小 計	781	372	243	53	76	409
	給 油 取 扱 所 (営 業 用)	88	0	0	0	0	88
	給 油 取 扱 所 (自 家 用)	126	3	2	0	1	123
	販 売 取 扱 所	4	0	0	0	0	4
	移 送 取 扱 所	62	61	31	14	16	1
	一 般 取 扱 所	501	308	210	39	59	193

コンビナート概要

事業所数

(平成25年4月1日現在)

事業所種別	第1コンビナート	第2コンビナート	第3コンビナート	コンビナート全体
第1種事業所	5社6事業所	2社3事業所	7社7事業所	41社50事業所
第2種事業所	12社14事業所	2社2事業所	3社3事業所	
その他事業所	6社6事業所	5社5事業所	4社4事業所	
計	23社26事業所	9社10事業所	14社14事業所	

※同一社において事業者別又はコンビナート地区が異なるときは、各該当欄へ記載しているため、合計数としての社数とは一致しない。

石油等の貯蔵取扱量及び高圧ガス処理量

石油等区分	第1コンビナート	第2コンビナート	第3コンビナート	計
石油貯蔵量	3,504,179 kℓ	1,418,310 kℓ	189,996 kℓ	5,112,485 kℓ
石油取扱量	877,996 kℓ	1,126,903 kℓ	70,782 kℓ	2,075,681 kℓ
石油合計量	4,382,175 kℓ	2,545,213 kℓ	260,778 kℓ	7,188,166 kℓ
高圧ガス処理量	297,498,027 m ³ /D	89,490,418 m ³ /D	219,009,623 m ³ /D	605,998,068 m ³ /D

特定防災施設

消火用屋外給水施設設置状況

種別	消火栓単独施設	貯水単独槽施設	合計
設置事業所数	23		23

流出油等防止堤設置状況

事業所数 及びブロック数	対象タンク 数及び 合計容量	ブロックの 最大収容 容量	収容タ ンク数	収容タンク の総容量	法定堤 内容量	堤内容量	堤の総延長
3社 10ブロック	98基 4,292,690 kl	648,930 kl	241 基	4,816,501 kl	639,978 kl	891,684.3 kl	15.346 km

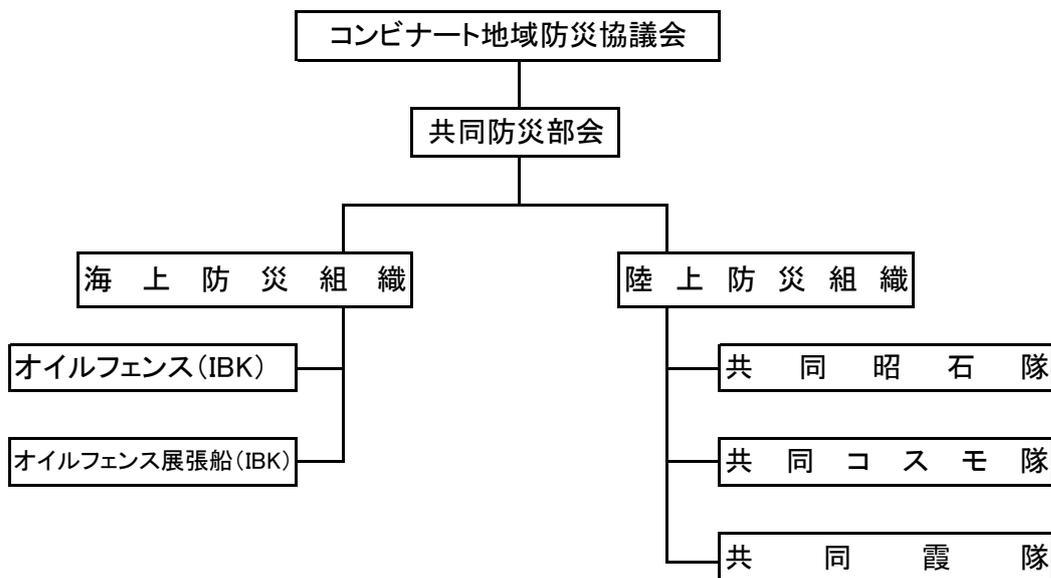
非常通報設備(MCA無線機)導入事業者

区分	全体事業所数	加入事業所数
第1種事業所	16	14
第2種事業所	19	17
その他種事業所	15	9
合計	50	40

コンビナート防災体制

(共同防災体制)

(平成25年4月1日現在)



(1) 海上防災組織防災隊員(計)

総数	8人
船舶乗組員	4人
その他の防災要員	4人

(1) 陸上防災組織防災隊員(計)

総数	67人
指揮者・機関員	30人
その他の防災要員	37人

(2) 防災資機材(計)

オイルフェンス:	B型 1,080m
オイルフェンス展張船:	1隻

(2) 防災資機材(計)

2点セット	3セット
消火原液	33.5kℓ

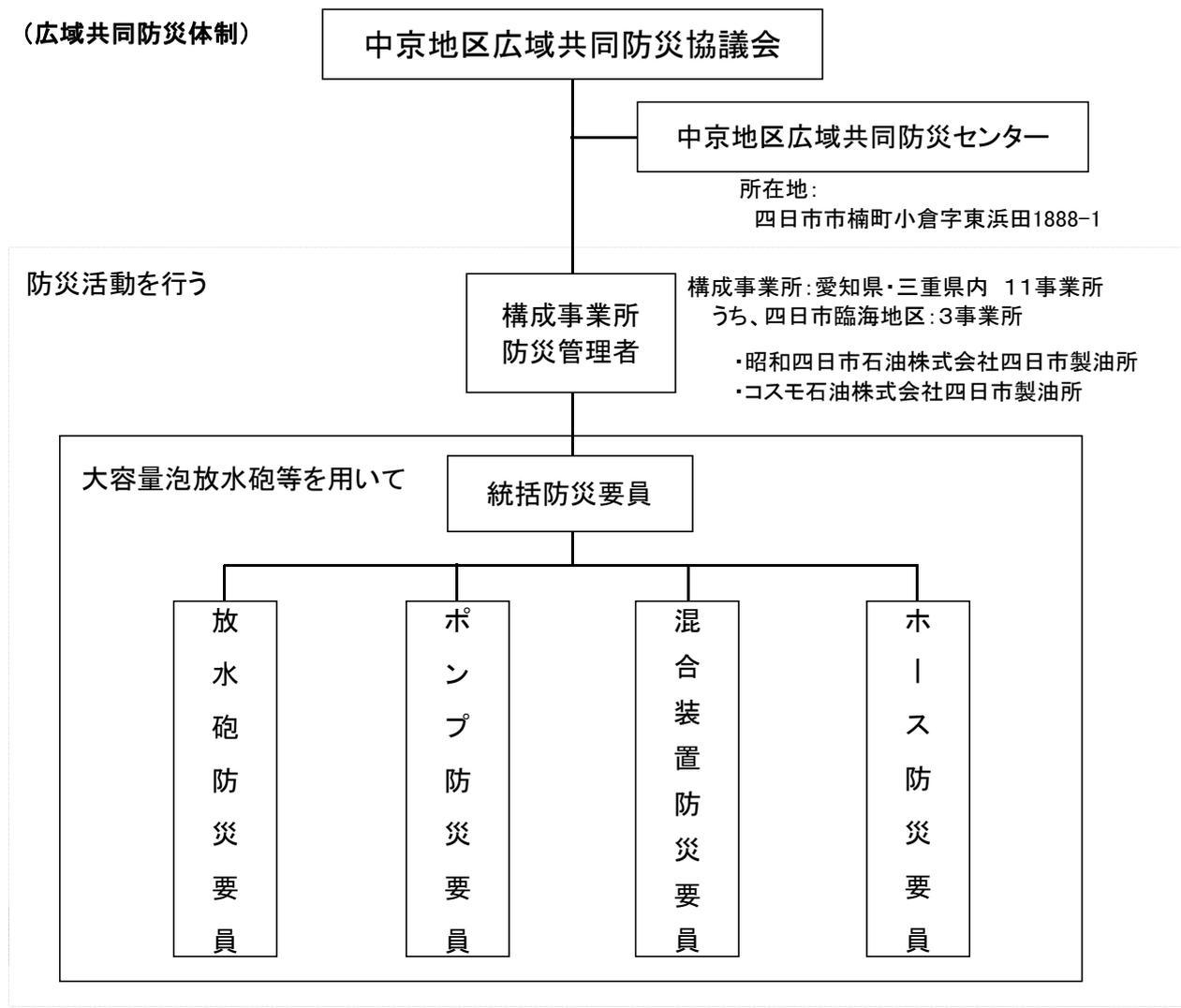
(自衛消防体制)

(1) 防災隊員(計)

総数	1,301人
専任	156人
兼任	1,116人
船舶隊員	29人

海上陸上	オイルフェンス展張船:	3隻	
	油回収船・油回収装置付:	2隻	
	オイルフェンス:	17894m	
	油理処剤	乳化分散型:	33.8kℓ
		吸着マット:	17143kg
	化学消防車(3点セット除く):	12台	
その他消防車(上記除く):	5台		
泡原液:	386kℓ		

(広域共同防災体制)

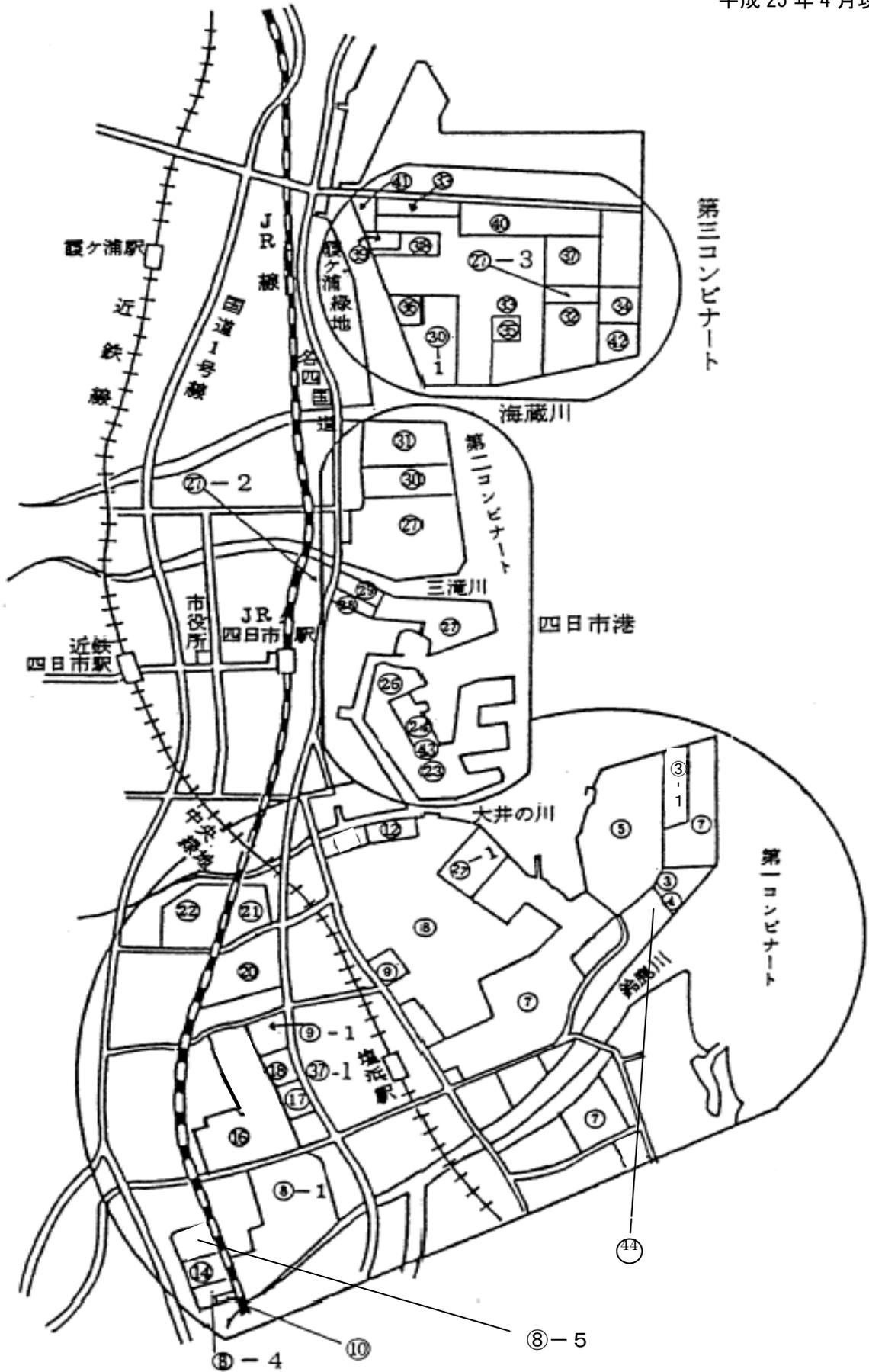


防災資機材の備付状況

項 目	数 量	要 目	備 付 場 所
放水砲	2砲	ノンアスピレート型 10,000～30,000L/min 可変ノズル2基	中京地区広域 共同防災センター
水中ポンプ	2ユニット	水中ポンプ(4台/1ユニット) 公称能力30,000L/min(1ユニット)	中京地区広域 共同防災センター
加圧ポンプ	4台	公称能力30,000L/min/台	中京地区広域 共同防災センター
ホース	2730m	12B・リール式 150m×14セット (150m未満のホース含む)	中京地区広域 共同防災センター
耐熱服	4着	KA-2000 東消型フードエプロンタイプ 呼吸器内蔵型	中京地区広域 共同防災センター
空気呼吸器	4個	A1F(CX)-815FZ ゲージ内蔵型	中京地区広域 共同防災センター
泡消火薬剤	74kl	メガフォームCV-1 (AR-AFFF 1%型)	中京地区広域 共同防災センター
消火薬剤用 仮設タンク	2個	ET-20 20KL	中京地区広域 共同防災センター

四日市臨海地区事業所配置図

平成 25 年 4 月現在



四日市臨海地区事業所

〔第3コンビナート〕

27-3	コスモ石油(株)四日市霞発電所
32	四日市エルピージー基地(株)霞事業所
33	東ソー(株)四日市事業所
34	中部電力(株)四日市LNGセンター
30-1	KHネオケム(株)四日市工場 霞ヶ浦製造所
35	日本ポリプロ(株)四日市工場
36	上野製薬(株)四日市工場
37	BASFジャパン(株)四日市事業所
38	丸善石油化学(株)四日市工場
39	四日市オキシトン(株)四日市工場
40	DIC(株)四日市工場
41	霞共同事業(株)
42	東邦ガス(株)四日市工場

〔第2コンビナート〕

23	第一工業製薬(株)四日市事業所
24	日本板硝子(株)四日市工場
26	宮木(株)四日市油槽所
27	コスモ石油(株)四日市製油所
27-2	コスモ石油(株)第一陸上出荷場
28	コスモ石油販売(株)三重カンパニー
29	昭和電工ガスプロダクツ(株)四日市工場
30	KHネオケム(株)四日市工場 午起製造所
31	中部電力(株)四日市火力発電所
43	Avan Strate(株)四日市工場

〔第1コンビナート〕

3	三菱マテリアル(株)四日市工場
3-1	三菱マテリアル(株)四日市工場 第2プラント
4	日本アエロジル(株)四日市工場
5	石原産業(株)四日市工場
7	昭和四日市石油(株)四日市製油所
27-1	コスモ石油(株)塩浜油槽所
8	三菱化学(株)四日市事業所 塩浜地区
8-1	三菱化学(株)四日市事業所 川尻地区
8-4	三菱化学(株)四日市事業所 大治田地区
8-5	三菱化学(株)四日市事業所 北大治田地区
9	四日市合成(株) 四日市工場
9-1	四日市合成(株) 六呂見工場
10	(株)ロンビック大治田工場

12	日本トランスシティ(株) 東邦町タンクヤード
14	ライオンアクゾ(株)四日市工場
16	JSR(株)四日市工場
37-1	BASFジャパン(株)六呂見工場
17	東邦化学工業(株)四日市工場
18	(株)JSP四日市第一工場
20	味の素(株)東海事業所
21	パナソニック(株)四日市工場
22	三菱ガス化学(株)四日市工場
44	エボニックモノシランジャパン(株)

消 防 団

四 日 市 市 消 防 団 の 沿 革

江戸時代	各村に火の番所が設けられ、五人組という自治制度のもとに防火、消防活動が行われていた。また、江戸や城下町には町火消が組織されていた
明治19年	四日市に初めて火防組が組織される 消防夫59人
明治20年	火防組12組消防夫864 人となる
明治24年	火防組が消防組と改名される
明治25年	消防組23組消防夫1,309 人となる
明治27年 2月	勅令をもって消防規制が公布される 消防組規制により、消防組の全国的な統一が行われる
明治28年 12月26日	各町自警消防組を統一し、新たに四日市消防組として発足 四日市町消防組 第1番組川原町、末永、浜一色（橋北地区） 第2番組西町、久六町、比丘尻町、堅町 南町、北町、上新町（共同地区） 第3番組中町、境町、八幡町、中新町 四ツ谷新町、南新町、（同和地区） 第4番組浜町、北条町、下新町、新町（同盟地区） 第5番組蔵町、北納屋町、中納屋町 桶ノ町、袋町、高砂町、稲葉町、南納屋町（港地区） 第6番組浜田、赤堀（浜田地区） 配置人員 組頭1人 小頭6人 消防手193人 合計200人 配備器具 ポンプ6 大水桶12 小水桶64 梯子6 鷹口31 刺又6 釣13 斧6 大縄6 纏 6 旗6 高張提灯6 弓張提灯62 消口札6
明治30年	市政実施とともに四日市消防組も市に引き継がれる
大正6年 10月	第5番組（港地区）に初めてガソリンポンプを配置
大正12年 1月	全ての組にガソリンポンプを配置
大正15年	初めて自動車ポンプを購入し、組頭直属のもとに自動車隊が登場
昭和5年	市域の拡大に伴って第7番組（海蔵地区）第8番組（塩浜地区）が本市消防組に編入
昭和7年	本市上水道が完成し、消火栓355基を設置
昭和14年 1月	政府は準戦時体制から戦時体制に切り換えを強行し、警防団令を發布した
昭和14年 4月1日	昭和6年頃に結成され、防空活動を行っていた防護団と消防組を合体し、四日市警防団を設置した 警防団は消防組と同一区画の8分団とした 定員 622人（内本部消防部16人） 分団に警護、消防、救護の3部を置く 初代警防団長 九鬼紋七氏
昭和16年	本市が富田町等2町3村を併合
昭和16年 10月3日	富田、富洲原両町の警防団を合体し、四日市北警防団を結成 四日市北警防団は、本部を富田警察署に置く 6分団 定員 363人 自動車ポンプ2台 ガソリンポンプ4台 腕用ポンプ3台 羽津、常磐、日永の各村警防団は四日市警防団の第9.10.11分団として本市に引き継がれた
昭和17年 8月	四日市警防団第5分団（港地区）に海上部を設置
昭和18年 6月	海上部を四日市警防団海上分団とし、発動機船2、消防艇1、短艇4を装備した
昭和18年	四郷、内部両村が併合され四日市市には2警防団20分団になる
昭和22年 9月	新消防団令に基づき、四日市市消防団と四日市市北消防団が組織され再発した 四日市市消防団 本部と7分団 725人編成 初代団長 九鬼紋十郎氏 四日市市北消防団 富田、富洲原地区を区域とする 6分団 225人編成 初代団長 大野正平氏
昭和23年 2月29日	消防組織法の施行により、四日市市消防団と四日市市北消防団を四日市市消防団として一本化した 初代消防団長 九鬼紋十郎氏

昭和24年 8月11日	2代目四日市市消防団長に大野正平氏就任
昭和26年 4月1日	四日市市消防団は消防団本部と橋北、港、中部、海蔵、塩浜、羽津、常磐、日永、四郷、内部、富田、富洲原、海上の13分団 四日市市消防団の定員 716名
昭和27年	四日市市消防団の定員 718名
昭和28年	四日市市消防団の定員 646名
昭和29年 3月	小山田村が合併され、小山田村消防団が四日市市消防団に編入
昭和29年 7月	市町村の合併により、河原田、神前、川島、桜、梶、三重、大矢知、八郷、下野の9分団が増加し、23分団 四日市市消防団の定員 1,156名
昭和32年	市町村の合併により、保々、水沢の2分団が増加し25分団とした
昭和35年	四日市市消防団の定員 1,258名とした
昭和39年	中部分団を廃止し、四日市市消防団の定員の見直しを実施24分団1,258名→427名
昭和53年 2月28日	大野正平氏消防団長を退任
昭和53年 3月1日	3代目消防団長に榊原孫七氏就任
昭和63年	海上分団に消防車両が配備され、全消防分団に消防車両が配備された
平成元年 1月31日	榊原孫七氏消防団長を退任
平成元年 2月1日	4代目消防団長に岩田忠兵衛氏就任
平成7年 3月3日	四日市市消防団・四日市市消防本部連名で、消防庁長官表彰を受章
平成9年 1月31日	岩田忠兵衛氏消防団長を退任
平成9年 2月1日	5代目消防団長に後藤正義氏就任
平成13年 7月31日	後藤正義氏消防団長を退任
平成13年 8月1日	6代目消防団長に堀善澄氏就任
平成17年 2月7日	四日市市と楠町の合併に伴い、四日市市消防団と四日市市楠消防団の2団制をとる
平成17年 9月1日	港分団を廃止し、女性消防団員15名による「サルビア分団」を結成
平成18年 2月24日	四日市市消防団が、消防庁長官から「消防団地域活動表彰」(団員確保功労)を受賞
平成22年 4月1日	四日市市消防団と四日市市楠消防団を四日市市消防団として一団化した 一団化に伴い、14分団で増員をするとともに機能別団員を採用し、定員を620名とした
平成22年 10月1日	7代目消防団長に稲垣貢氏就任

歴代四日市市消防団長

代	氏名	在職期間
初	九鬼 紋十郎	昭和23年 9月29日 ~ 昭和24年 8月10日
2	大野 正平	昭和24年 8月11日 ~ 昭和53年 2月28日
3	榊原 孫七	昭和53年 3月 1日 ~ 平成元年 1月31日
4	岩田 忠兵衛	平成元年 2月 1日 ~ 平成9年 1月31日
5	後藤 正義	平成9年 2月 1日 ~ 平成13年 7月31日
6	堀 善澄	平成13年 8月 1日 ~ 平成22年 8月29日
7	稲垣 貢	平成22年10月 1日 ~ 現在

歴代四日市市楠消防団長

代	氏名	在職期間
初	橋本 巳貴也	平成17年 2月 7日 ~ 平成22年3月31日

消 防 団 の 概 況

(平成25年4月1日現在)

分 団	区 分	人 員							消 防 車		
		合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長		団 員	
四 日 市 市 消 防 団	合 計	620	1	5	26	26	56	109	397	29	
	団 本 部	60	1	5			2	8	44	3	
	北 部	サルビア分団	15			1	1	1	2	10	
		羽津分団	22			1	1	2	4	14	1
		富田分団	22			1	1	2	4	14	1
		富洲原分団	22			1	1	2	4	14	1
		大矢知分団	22			1	1	2	4	14	1
		八郷分団	22			1	1	2	4	14	1
		下野分団	22			1	1	2	4	14	1
		保々分団	22			1	1	2	4	14	1
	中 部	橋北分団	17			1	1	2	3	10	1
		海蔵分団	17			1	1	2	3	10	1
		海上分団	17			1	1	2	3	10	1
		常磐分団	22			1	1	2	4	14	1
		三重分団	22			1	1	2	4	14	1
		神前分団	22			1	1	2	4	14	1
		川島分団	22			1	1	2	4	14	1
		県分団	22			1	1	2	4	14	1
		桜分団	22			1	1	2	4	14	1
	南 部	塩浜分団	17			1	1	2	3	10	1
		日永分団	22			1	1	2	4	14	1
		河原田分団	17			1	1	2	3	10	1
		内部分団	22			1	1	2	4	14	1
		四郷分団	22			1	1	2	4	14	1
		小山田分団	22			1	1	2	4	14	1
		水沢分団	22			1	1	2	4	14	1
		北楠分団	37			1	1	4	7	24	2
	南楠分団	27			1	1	3	5	17	1	

四 日 市 市 消 防 団 員 の 状 況

職業別消防団員数

(平成25年4月1日現在)

団員数 (人)	職業別	農業	建設業	製造業	電気	運輸	卸売	金融	サービス業	公務	その他
		林業			ガス	通信業	小売業	保険業	不動産業		
586		25	79	212	熱供給	水道業	飲食業	4	61	22	60

消防団員の年齢別状況

平均年齢 45才

(平成25年4月1日現在)

階級	区分 総数	18~20才	21~25才	26~30才	31~35才	36~40才	41~45才	46~50才	51~55才	56才以上
		総数	586	2	16	25	52	114	117	98
団長	1									1
副団長	4									4
分団長	26						1	1	5	19
副分団長	26					2	1	2	7	14
部長	56					2	8	16	9	21
班長	106					12	28	29	21	16
団員	367	2	16	25	52	98	79	50	20	25

消防団員の在職年数状況 平均勤続年数 12年

(平成25年4月1日現在)

階級	区分 総数	5年未満	5年以上 ~ 10年未満	10年以上 ~ 15年未満	15年以上 ~ 20年未満	20年以上 ~ 25年未満	25年以上 ~ 30年未満	30年以上
		総数	586	201	95	77	76	47

消 防 団 員 出 動 状 況

(平成24年度)

区分		月別											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計	回数	183	152	377	264	148	193	201	268	278	184	135	221
	人員	1,209	1,308	3,041	2,803	1,176	1,721	1,196	2,059	1,975	1,691	965	1,481
災 害 出 動	回数	0	0	0	0	0	29	1	0	0	0	0	1
	人員	0	0	0	0	0	495	3	0	0	0	0	52
災 害 出 動 (4時間未満)	回数	19	11	41	12	18	31	7	13	34	16	13	6
	人員	169	127	305	116	177	247	62	133	325	146	103	37
警 戒	回数	16	0	0	0	0	0	0	0	57	1	0	1
	人員	102	0	0	0	0	0	0	0	565	7	0	4
訓 練	回数	4	21	177	149	29	42	73	128	90	83	24	21
	人員	51	161	1,396	1,677	220	325	268	815	377	881	138	192
広 報 活 動	回数	3	4	3	3	5	2	6	50	1	4	9	50
	人員	32	42	25	28	47	20	55	420	9	44	66	360
警 防 調 査	回数	6	7	3	4	3	4	7	9	7	6	12	10
	人員	51	41	21	27	20	27	66	62	58	45	71	87
会 議	回数	22	8	25	7	9	28	27	7	6	1	13	41
	人員	74	24	62	22	21	45	50	42	23	14	25	91
研 修	回数	56	38	15	0	19	0	2	1	19	8	3	2
	人員	149	260	78	0	21	0	2	1	40	9	3	7
消 防 用 件	回数	6	14	66	43	16	7	29	13	12	15	8	37
	人員	51	125	650	406	143	31	186	105	94	52	57	169
ポ ン プ 点 検	回数	51	49	47	46	49	50	49	47	52	50	53	52
	人員	530	528	504	527	527	531	504	481	484	493	502	482

消 防 団 訓 練 ・ 研 修 実 施 状 況

種 別	実 施 機 関	期 間	参加人員
幹 部 科	消 防 本 部	4月10日	24名
初任科及び機関員科	各 消 防 署	4月22日、29日	84名
普 通 科	三重県消防学校	6月16日 ~ 6月17日	1名
指 導 員 科	三重県消防学校	9月8日 ~ 9月9日	1名
幹 部 科	三重県消防学校	11月10日 ~ 11月11日	1名
水 防 研 修	各 消 防 署	6月3日 ~ 10日	118名
応 急 手 当 指 導 員	各 消 防 署	5月、11月	27名
防 災 訓 練	四 日 市 市	8月26日	45名
規 律 訓 練	各 消 防 署	11月4日 ~ 11日	352名
春・秋の火災予防運動訓練	各 消 防 署	3月1日 ~ 3月7日	273名
		11月9日 ~ 11月15日	
文 化 財 防 火 デ ー	各 消 防 署	1月26日	23名

サルビア分団活動状況

四日市市消防団の女性消防分団（以下 サルビア分団）は、平成17年9月に、消防団の活性化対策の一助とするために結成されました。

主に火災予防啓発活動を行っており、具体的には、幼児を対象として行う大型紙芝居や小・中学生を対象として防火教室、防災教室、応急手当普及講習などの訓練指導を中心に活動しています。男性の団員とは違い、災害出動はしませんが、女性ならではの、きめ細かでソフトな対応能力を活用し創意工夫をしながら減災活動に取り組んでいます。

サルビア分団年間活動状況	平成24年度（回／年）
予防広報（大型紙芝居を含む）	20回

消防団防災支援隊の登録状況

「災害」への備えとしては、被害の発生を防ぐ「もの」の備えと、被害は出てもその拡大を防ぐ「ひと」・「こと」の備えが必要であるといわれています。特に大規模災害が発生した場合には、地域における消火・救助・避難誘導等の防災活動が被害の拡大を食い止めるために重要になってきます。

そのため、四日市市として安全で安心して暮らせるまちづくりの推進事業の一環として、四日市市消防団から退職されました団員の消火技術や防災の知識・技術・経験を活かし、消防分団及び自主防災隊が行う消防・防災活動をボランティアで支援する四日市市消防団防災支援者制度を創設したものです。

登録状況

平成25年4月1日現在 177名